

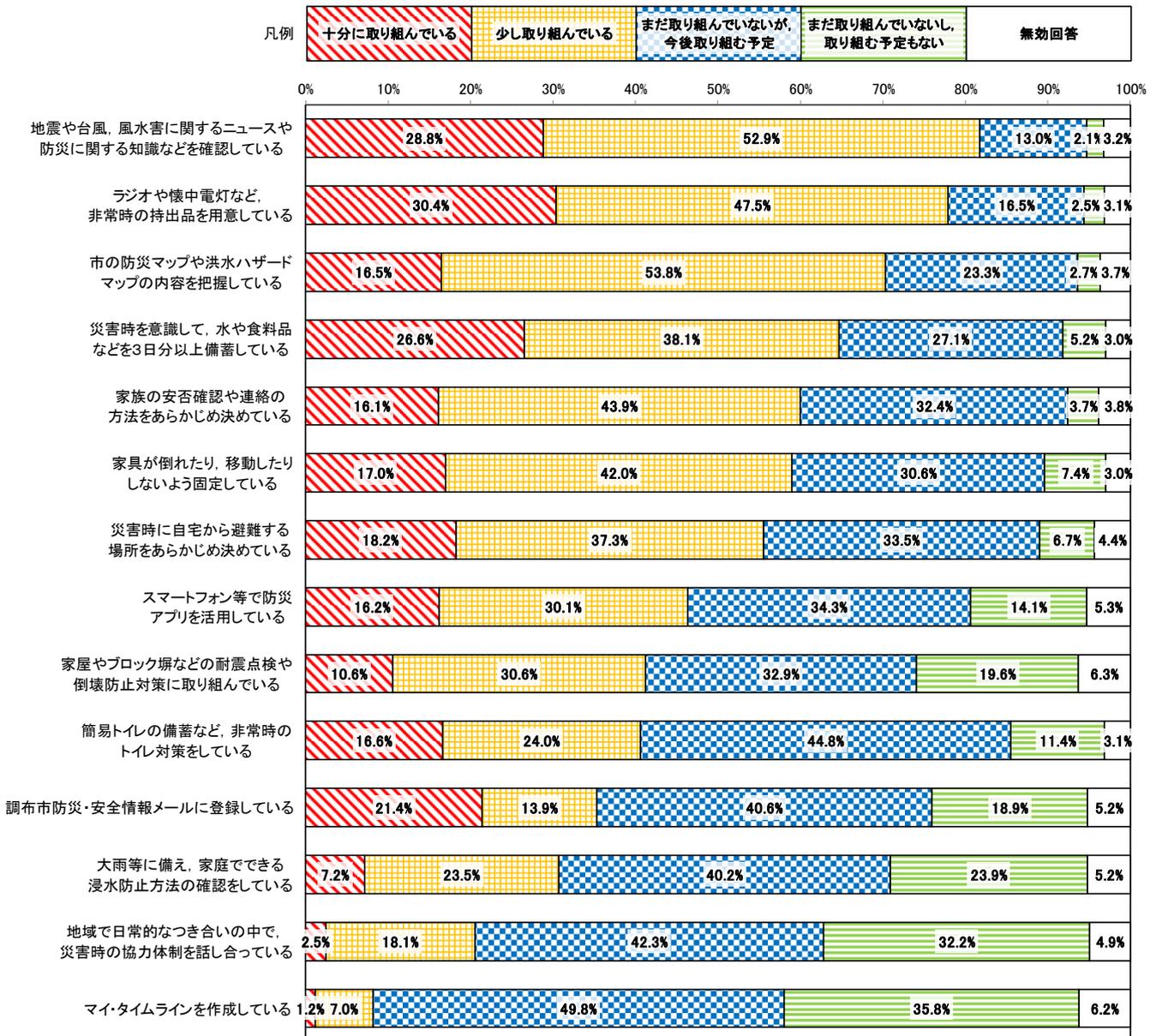
(4) 日ごろの意識や行動

【防災について】

問 21) あなたは、日ごろからどのような防災対策に取り組んでいますか。

<全体 (n=1378) >

○「十分に取り組んでいる」と「少し取り組んでいる」の合計は、「地震や台風、風水害など（テレビ・新聞・ラジオ・インターネット）の知識を確認している」が81.7%と最も高く、次いで「ラジオや懐中電灯など、非常時の持出品を用意している」が77.9%、「市の防災マップや洪水ハザードマップの内容を把握している」が70.3%の順となっています。



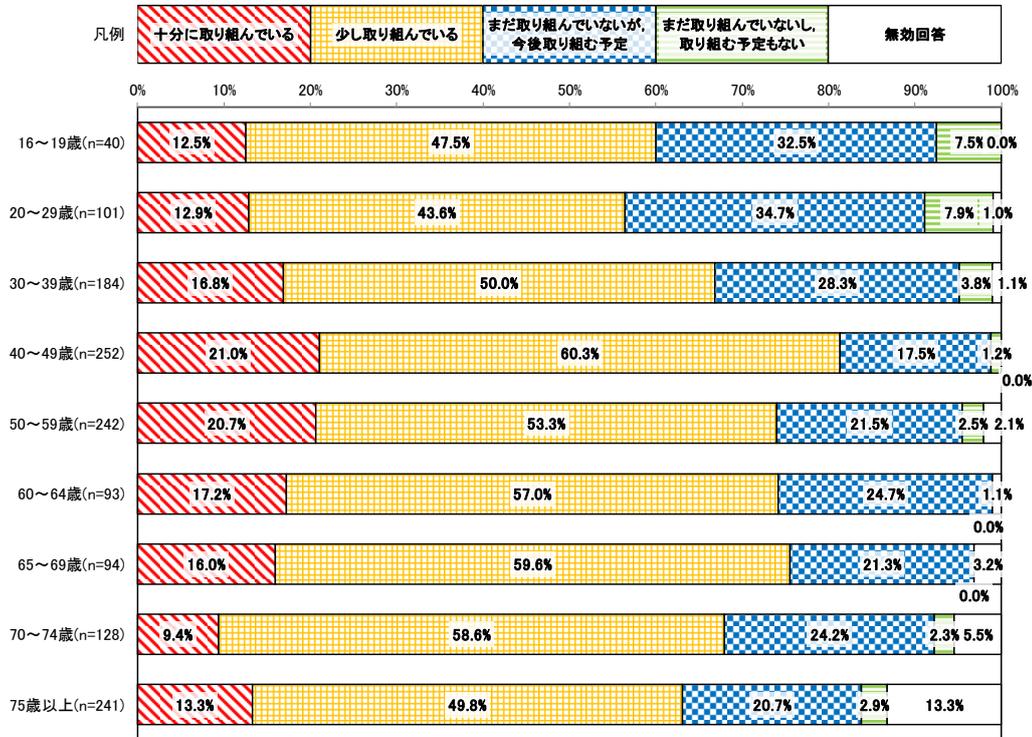
※ マイ・タイムラインとは、台風や大雨の水害等、これから起きるかもしれない災害に対し、一人一人の家族構成や生活環境に合わせて、「いつ」、「誰が」、「何をするのか」をあらかじめ時系列で整理した自分自身の防災行動計画のことです。

第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

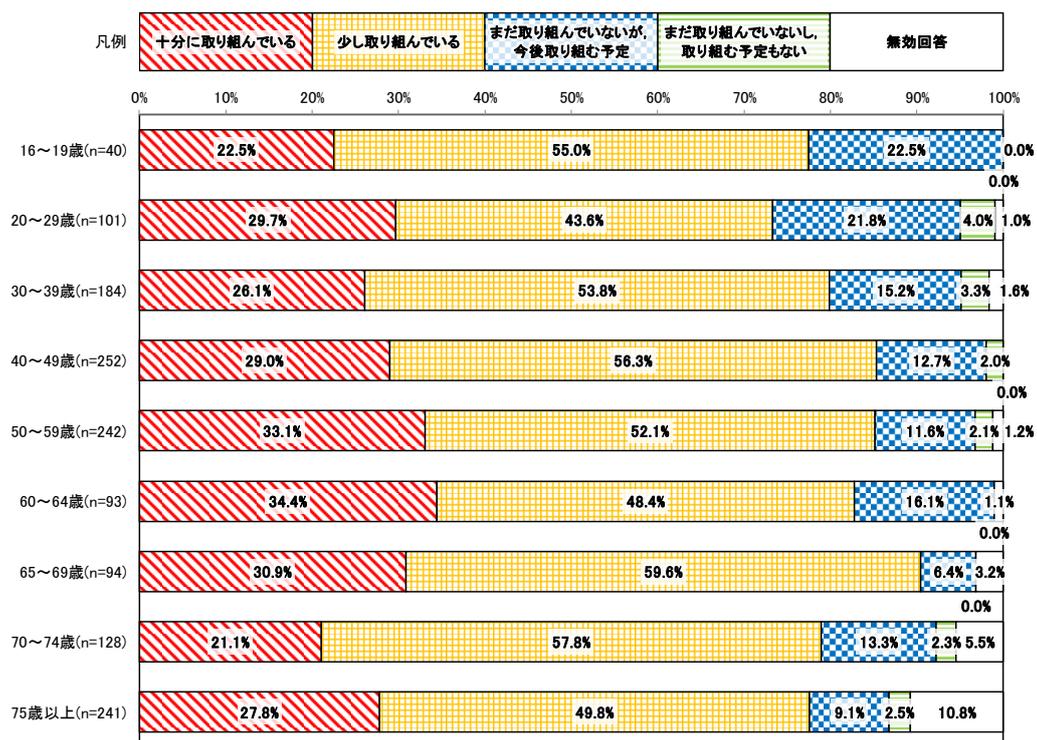
<年齢層別>

○「エ スマートフォン等で防災アプリを活用している」では、40～64歳が他の年齢層に比べ「十分に組み組んでいる」と「少し組み組んでいる」の合計が高くなっています。また、「オ 調布市防災・安全情報メールに登録している」では、16～19歳、30～59歳が他の年齢層に比べ高くなっています。

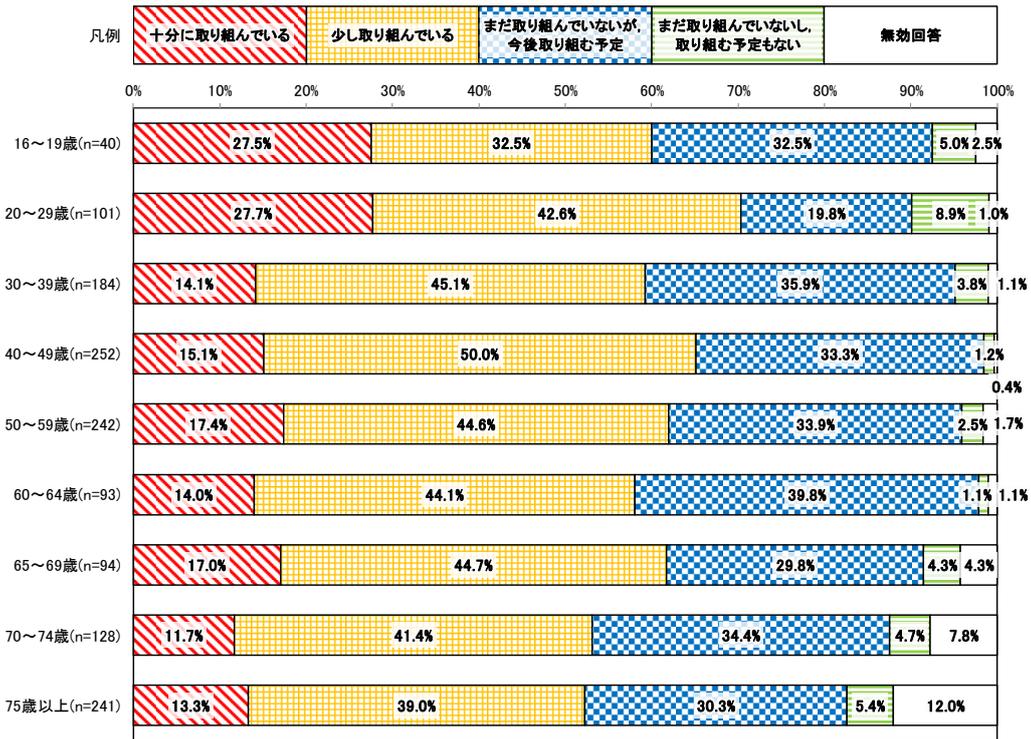
ア 市の防災マップや洪水ハザードマップの内容を把握している



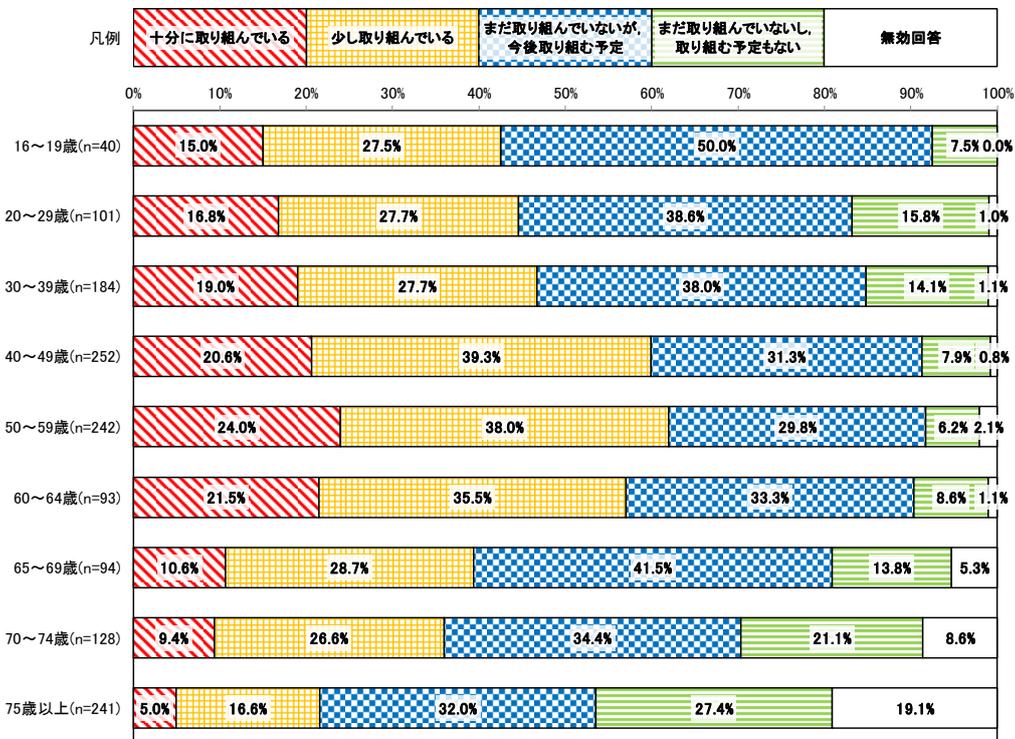
イ 地震や台風、風水害に関するニュースや防災に関する知識など（テレビ・新聞・ラジオ・インターネット）を確認している



ウ 家族の安否確認や連絡の方法をあらかじめ決めている

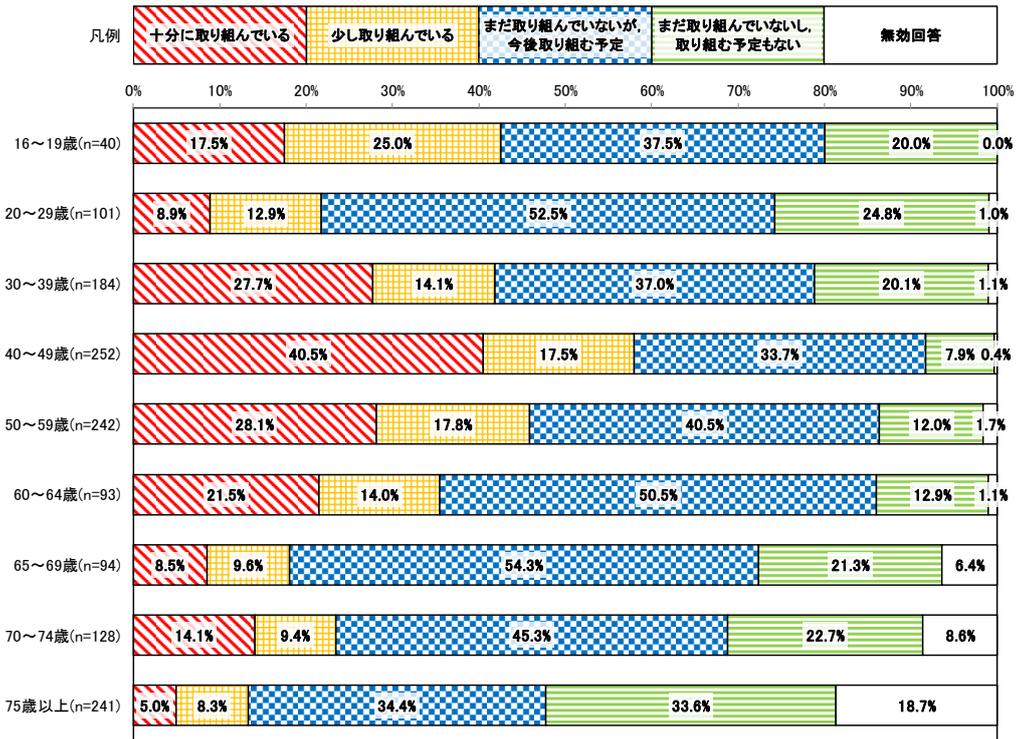


エ スマートフォン等で防災アプリを活用している

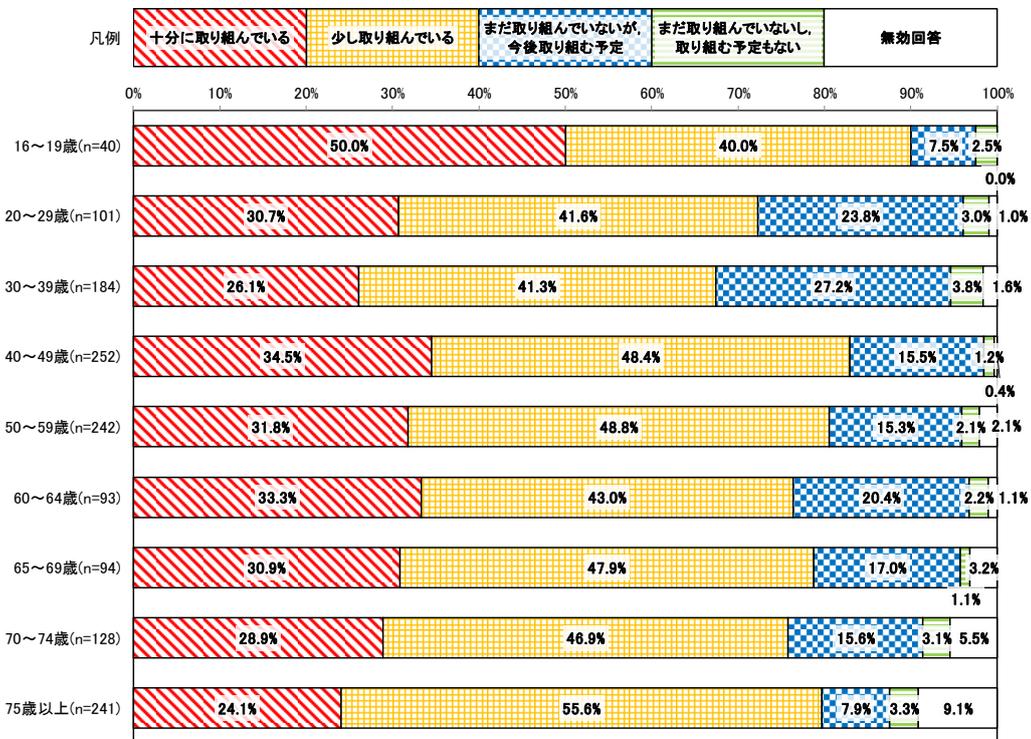


第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

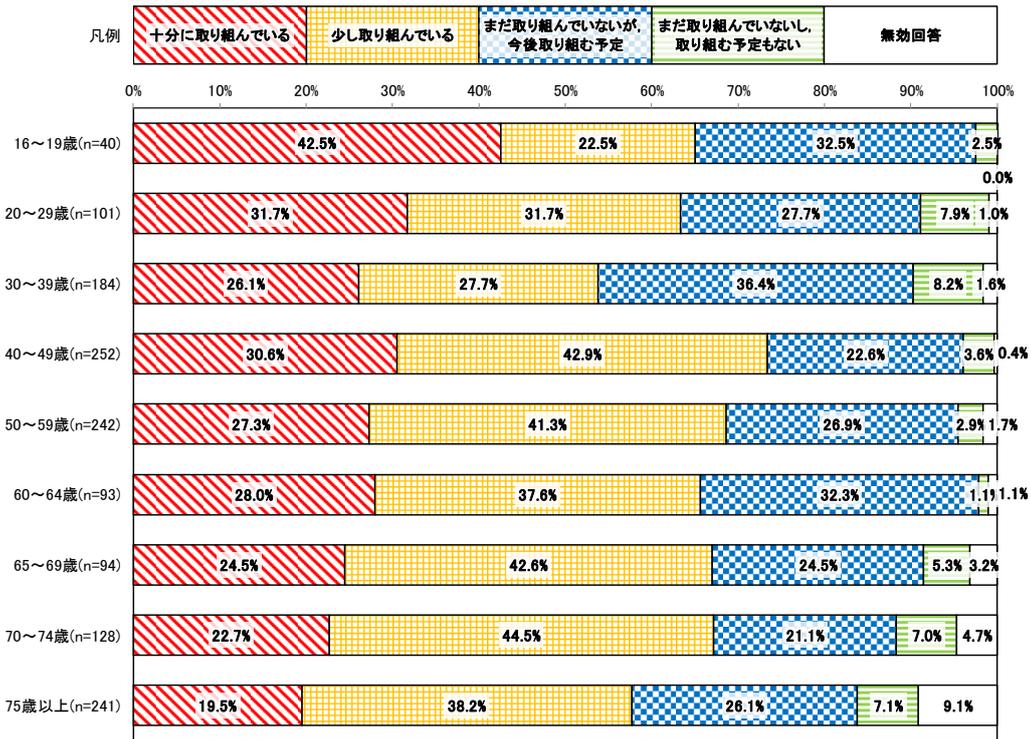
オ 調布市防災・安全情報メールに登録している



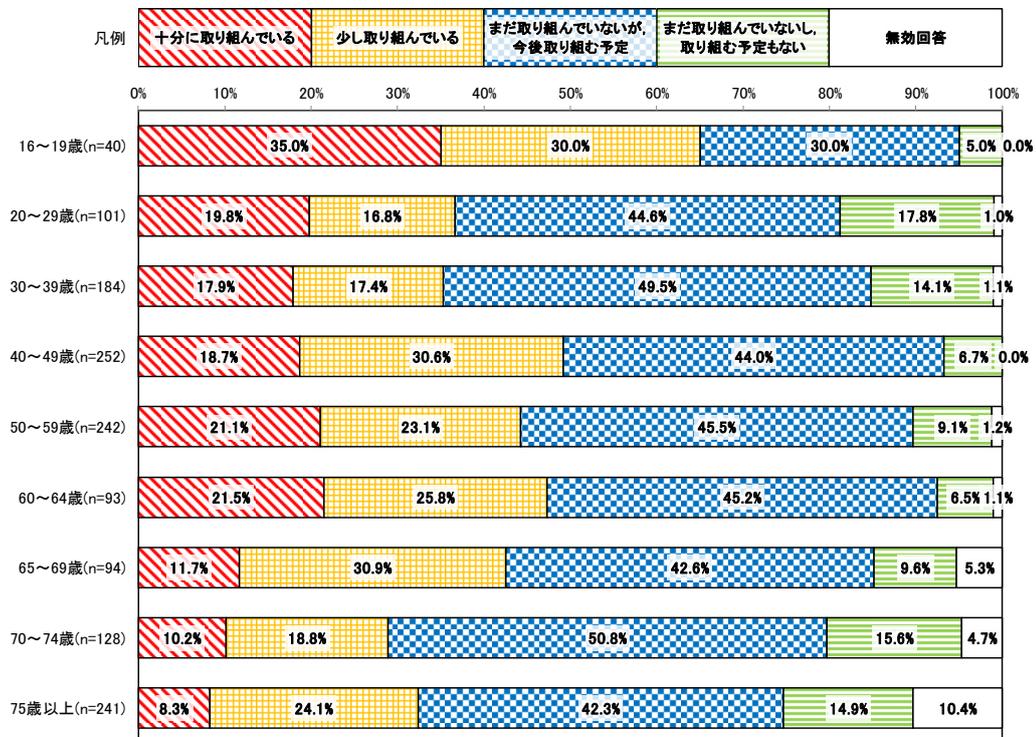
カ ラジオや懐中電灯など、非常時の持出品を用意している



キ 災害時を意識して、水や食料品などを3日以上備蓄している

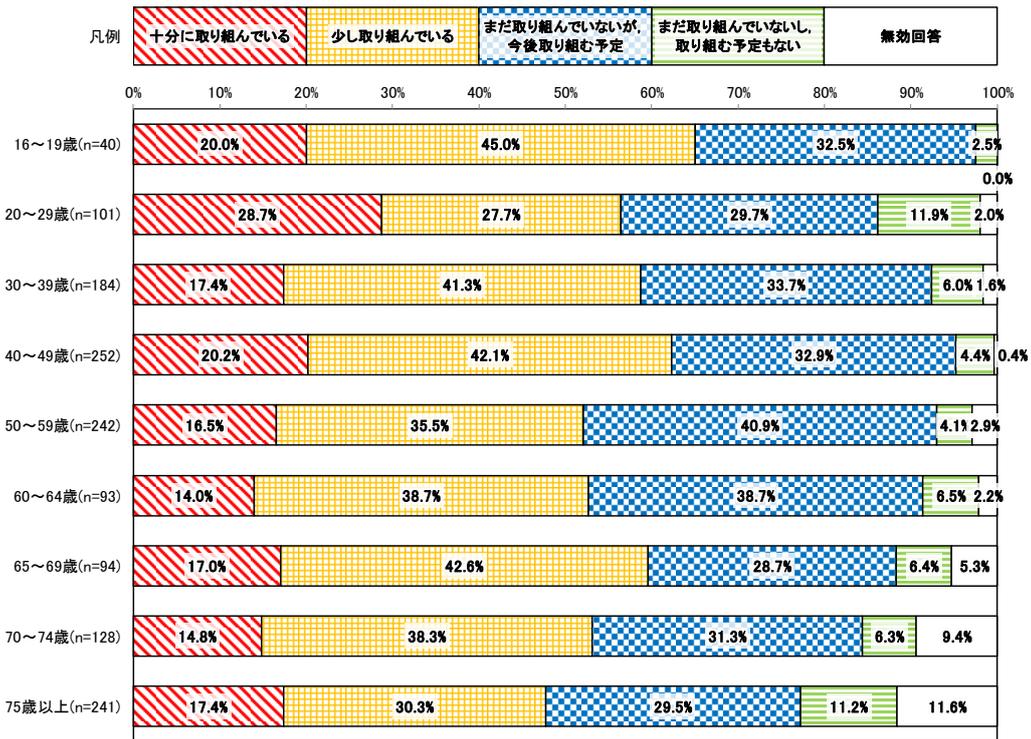


ク 簡易トイレの備蓄など、非常時のトイレ対策をしている

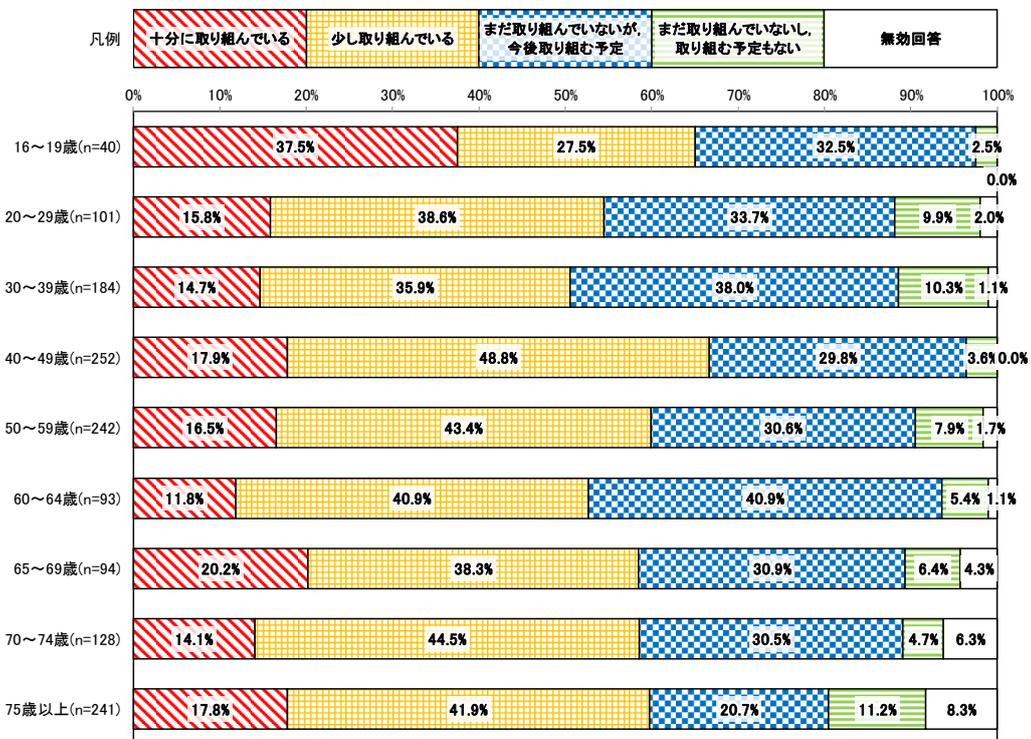


第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

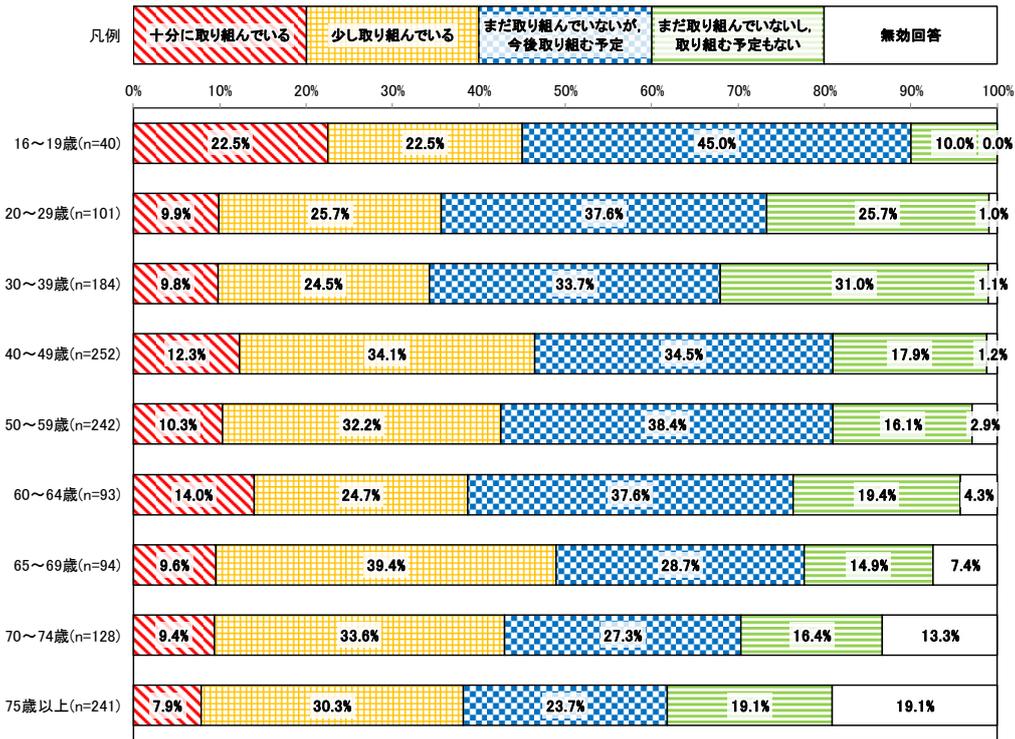
ケ 災害時に自宅から避難する場所（避難所・自宅の上層階・親族や友人、知人宅）をあらかじめ決めてい
る



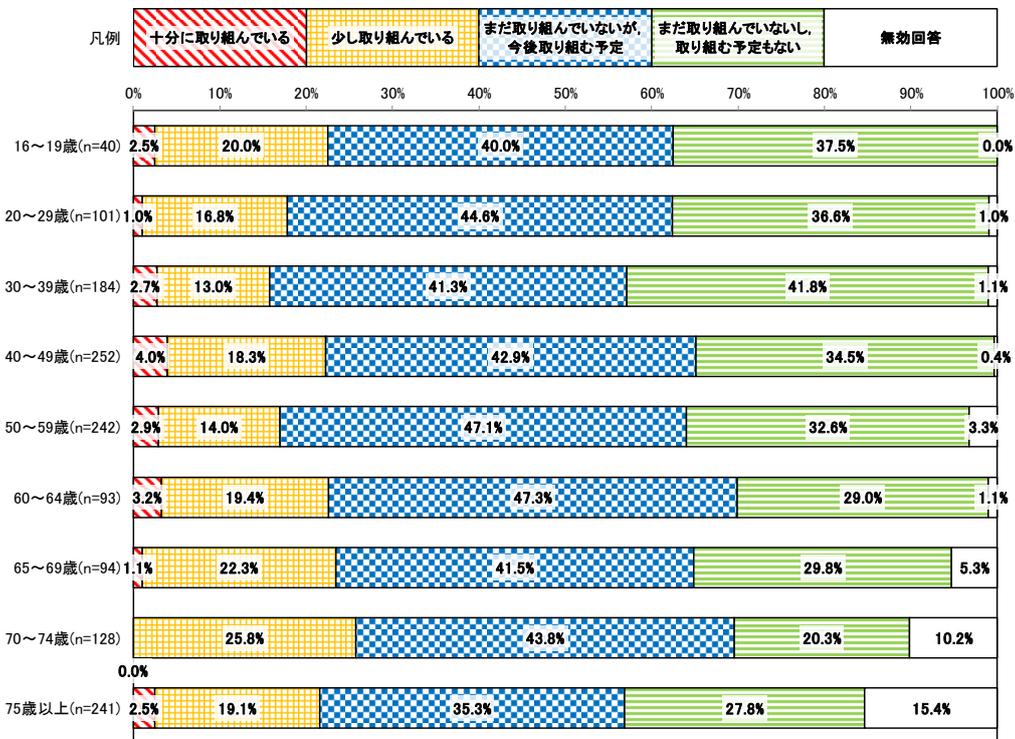
コ 家具が倒れたり、移動したりしないよう固定している



サ 家屋やブロック塀などの耐震点検や倒壊防止対策に取り組んでいる

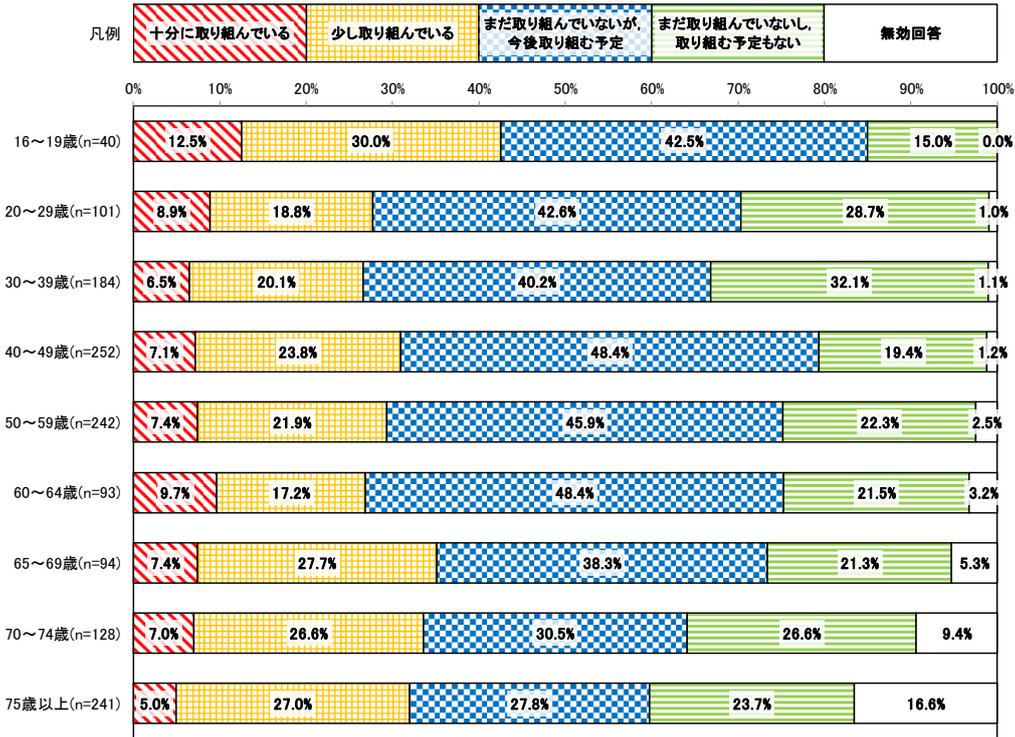


シ 地域で日常的なつき合いの中で、災害時の協力体制を話し合っている

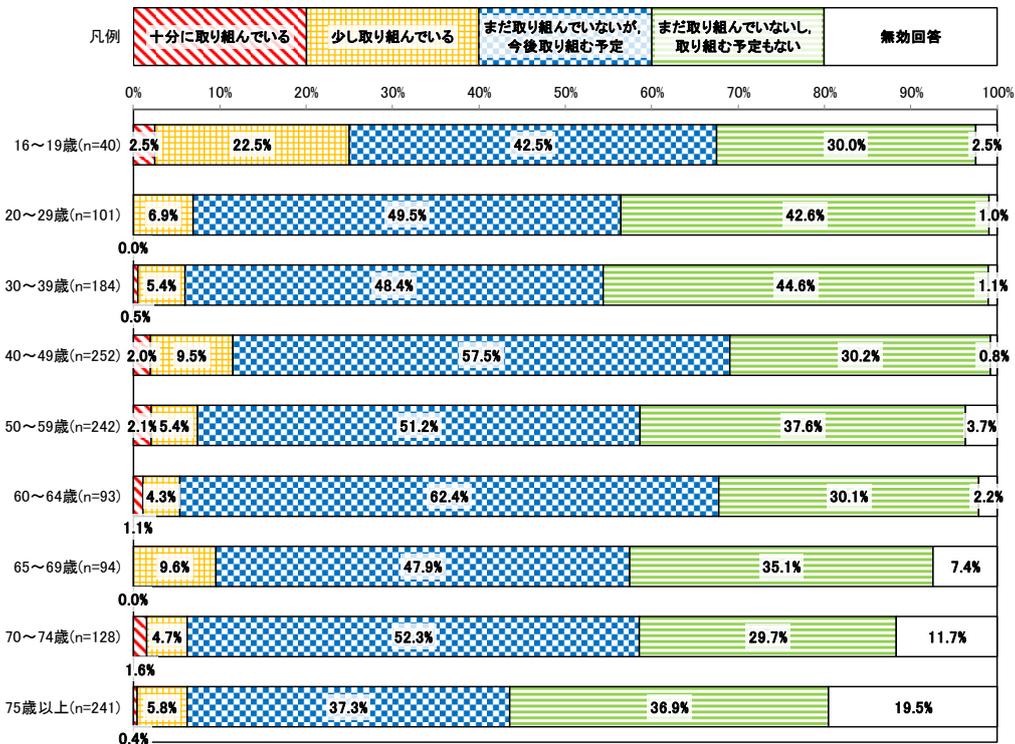


第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

ス 大雨等に備え、家庭でできる浸水防止方法の確認をしている



セ マイ・タイムラインを作成している



<自由記述>主な意見を原文のまま抜粋

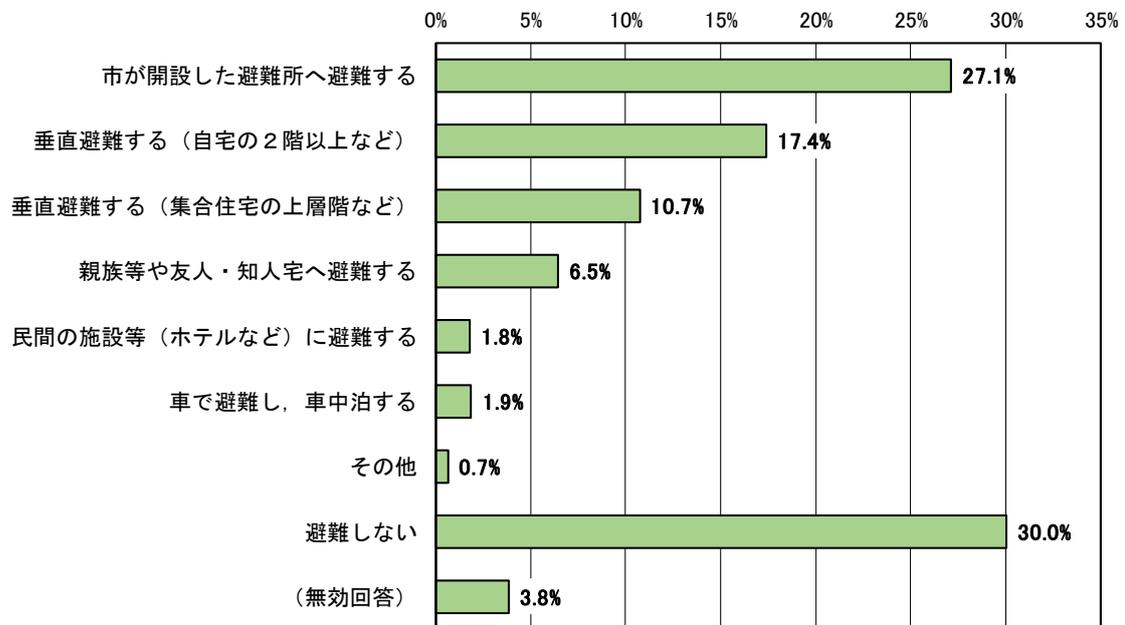
【図表 防災対策についてのご意見・ご提案】(77件)

- ・防災無線が自宅にいる時に聞こえるようにしてほしい。
- ・災害時の避難場所が少ない。必要とする人全員入れそうにない。
- ・令和元年台風19号のような（またはそれ以上の）大雨が今後も発生するのを大変心配しており、水害対策強化をぜひお願いします。
- ・東つつじヶ丘の地盤が心配です。

問22) あなたは、令和元年台風第19号のような風水害が予想されたとき、どのように行動することを考えていますか。

<全体 (n=1378) >

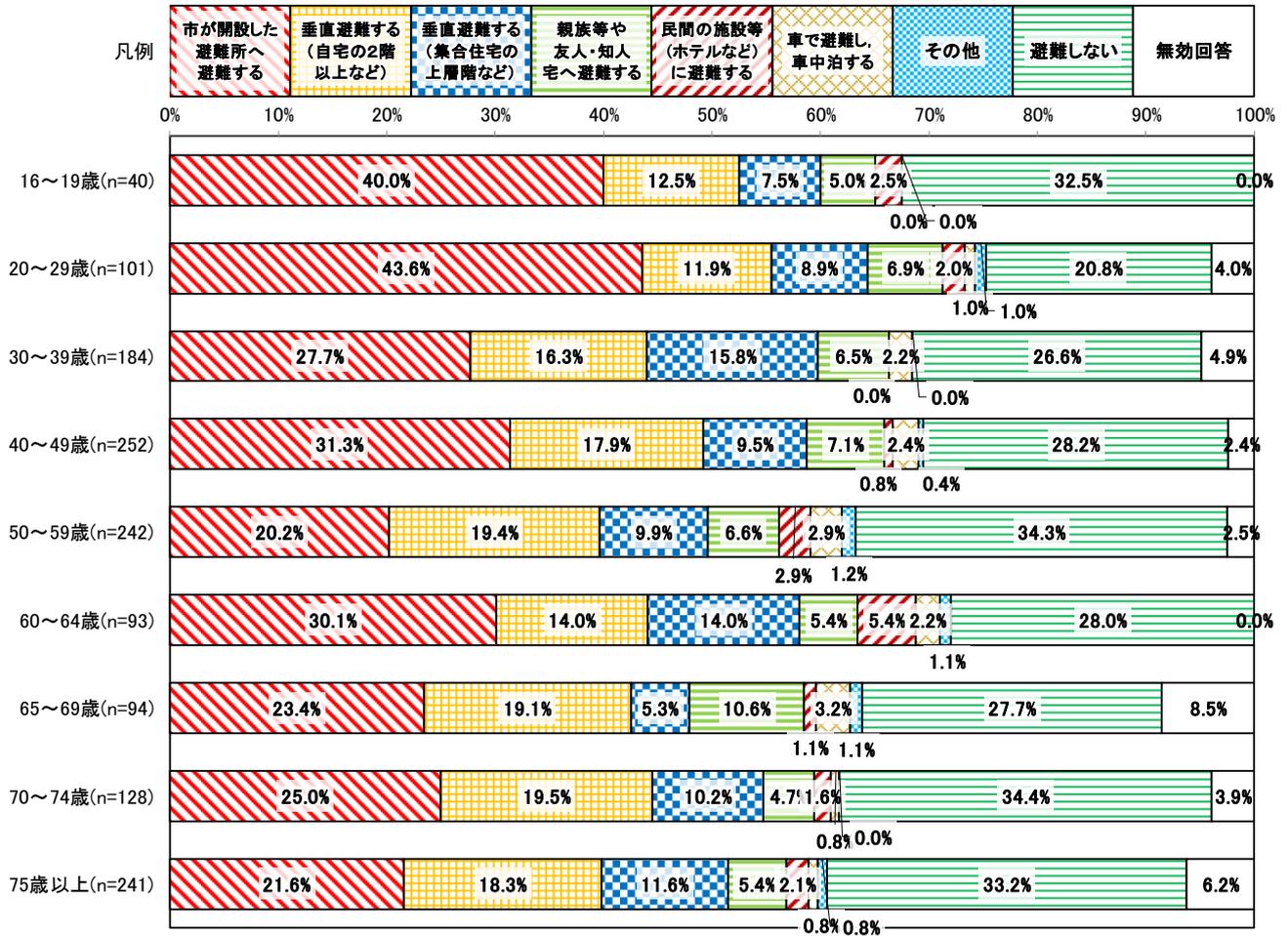
○「避難しない」が30.0%で最も高く、次いで「市が開設した避難所へ避難する」の27.1%、「垂直避難する（自宅の2階以上など）」の17.4%の順となっています。



第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

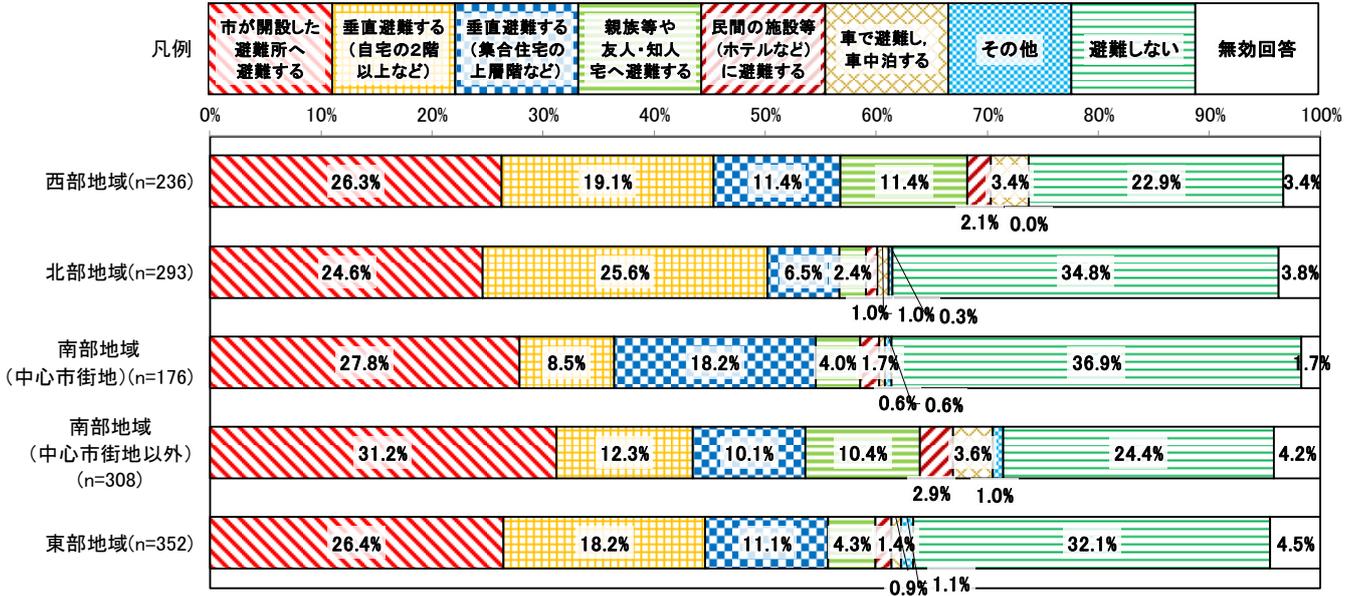
<年齢層別>

○風水害が予想されたときの行動は、50歳代、70歳以上で「避難しない」が最も高く、次いで「市が開設した避難所へ避難する」が高くなっていますが、16～49歳、60歳代では「市が開設した避難所へ避難する」が最も高く、次いで「避難しない」が高くなっています。



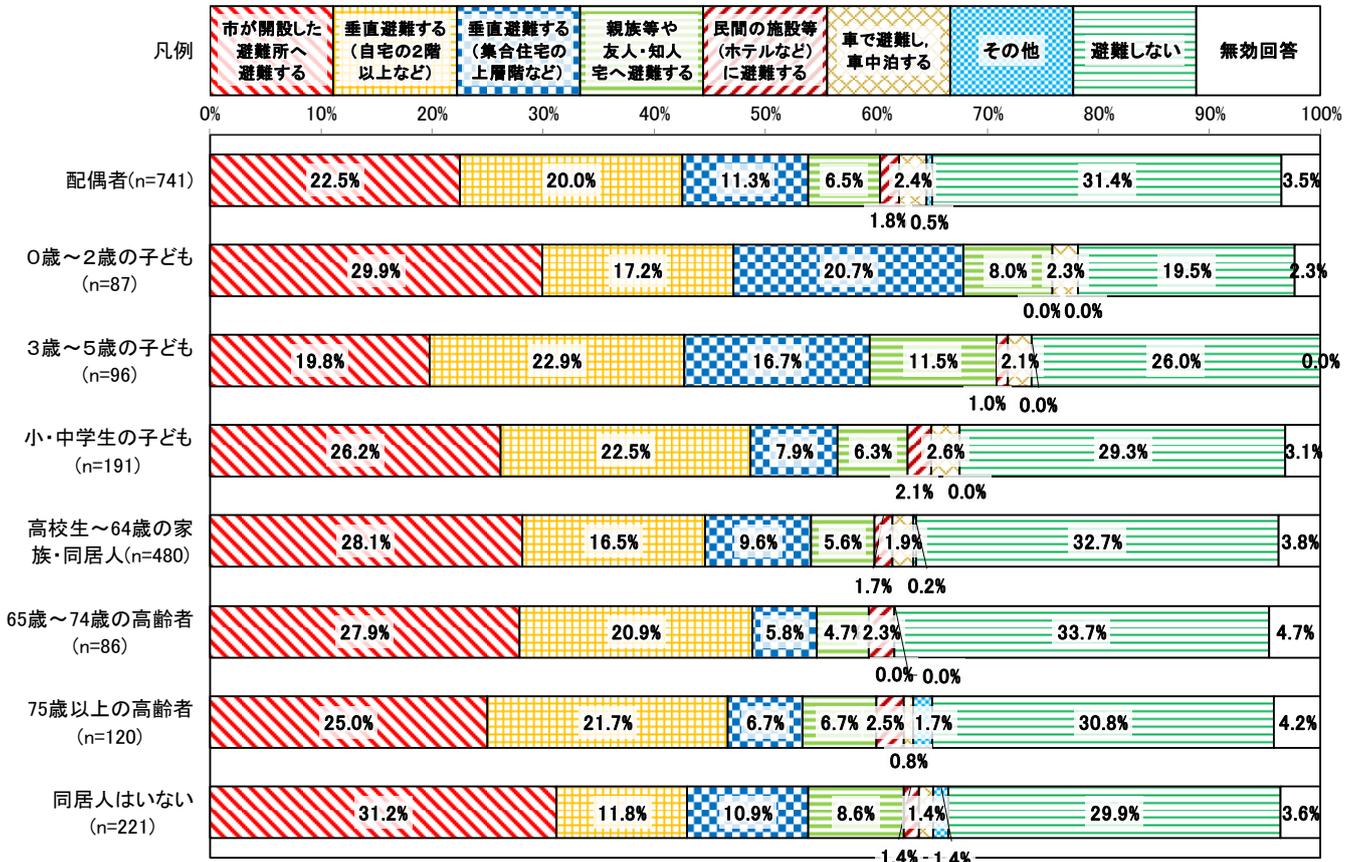
<地域別>

○北部地域、南部地域（中心市街地）、東部地域では「避難しない」、西部地域、南部地域（中心市街地以外）では「市が開設した避難所へ避難する」が最も高くなっています。



<同居人別>

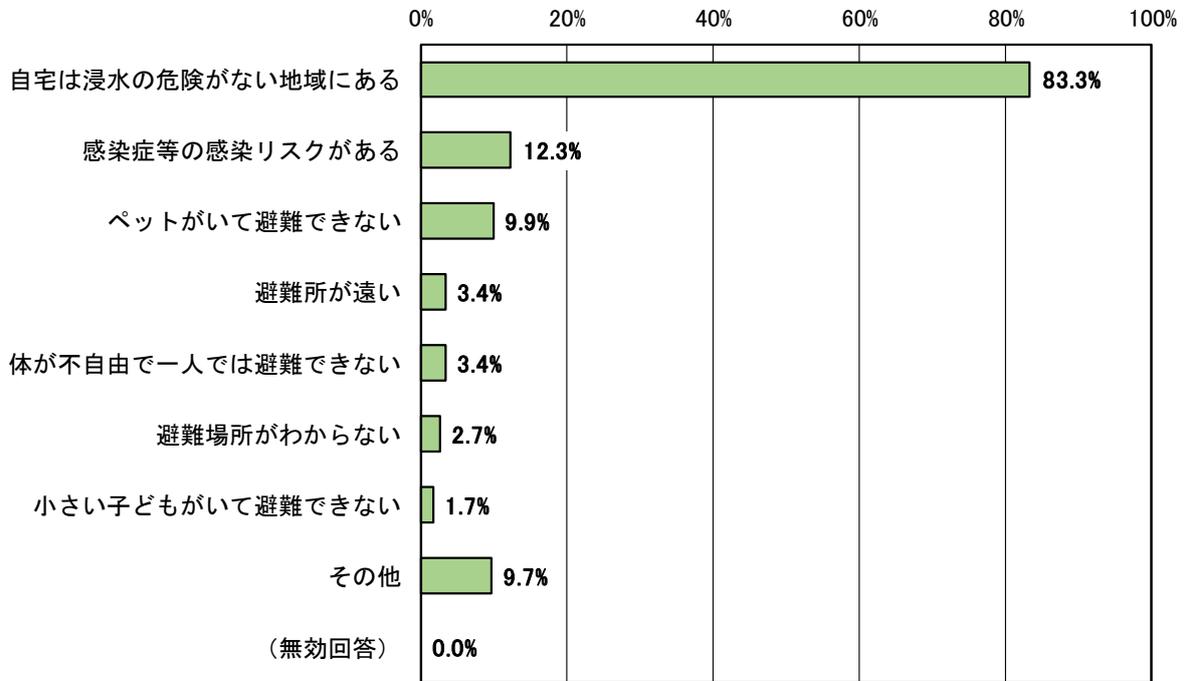
○「0歳～2歳の子ども」と同居している方、「同居人はいない」の方で「市が開設した避難所へ避難する」, その他では「避難しない」が最も高くなっています。



問 22-1) 「避難しない」とお考えの理由をお聞かせください。

<全体 (n=414)>

○避難しない理由は、「自宅は浸水の危険がない地域にある」が83.3%で最も高く、次いで「感染症等の感染リスクがある」の12.3%、「ペットがいて避難できない」の9.9%の順となっています。



<年齢層別>

○避難しない理由は、いずれの年齢層でも「自宅は浸水の危険がない地域にある」が最も高くなっています。また、多くの年齢層において「感染症等の感染リスクがある」が次いで高くなっていますが、16～19歳と50～59歳では「ペットがいて避難ができない」、75歳以上では「避難所が遠い」、「体が不自由で一人では避難できない」が高くなっています。

| 選択肢 | 合計 | 16～19歳 | 20～29歳 | 30～39歳 | 40～49歳 | 50～59歳 | 60～64歳 | 65～69歳 | 70～74歳 | 75歳以上 |
|------------------|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 全体 | 414 | 13 | 21 | 49 | 71 | 83 | 26 | 26 | 44 | 80 |
| 自宅は浸水の危険がない地域にある | 345 | 10 | 19 | 40 | 62 | 68 | 23 | 21 | 38 | 63 |
| 感染症等の感染リスクがある | 51 | 1 | 4 | 7 | 8 | 8 | 4 | 5 | 6 | 8 |
| ペットがいて避難できない | 41 | 3 | 0 | 6 | 7 | 13 | 3 | 2 | 3 | 4 |
| 避難所が遠い | 14 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 9 |
| 体が不自由で一人では避難できない | 14 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 | 1 | 9 |
| 避難場所がわからない | 11 | 0 | 0 | 4 | 0 | 1 | 0 | 2 | 1 | 3 |
| 小さい子どもがいて避難できない | 7 | 0 | 0 | 4 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他 | 40 | 2 | 3 | 5 | 8 | 8 | 1 | 3 | 2 | 8 |
| (無効回答) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

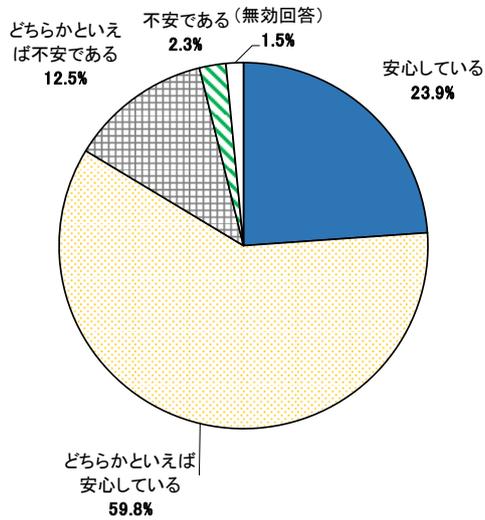
回答割合が最も高い: 0.0% (上段: 実数 (人), 下段: 構成比)
 回答割合が2番目に高い: 0.0%

【防犯対策について】

問23) あなたは、自分の住んでいる地域が治安の面で安心して暮らせると感じていますか。

<全体 (n=1378) >

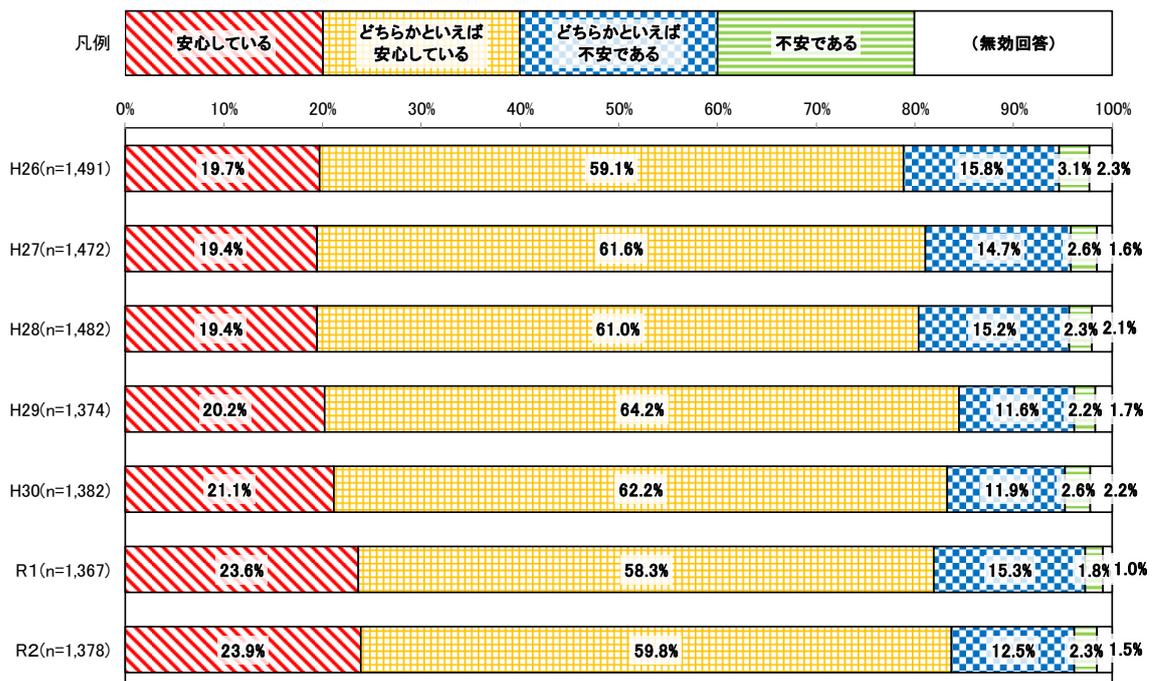
○「安心している」は23.9%、「どちらかといえば安心している」は59.8%であり、合計83.7%を占めています。



<経年比較>

○「安心している」、「どちらかといえば安心している」の合計 (83.7%) は、令和元年度 (81.9%) に比べ1.8ポイント増加しています。

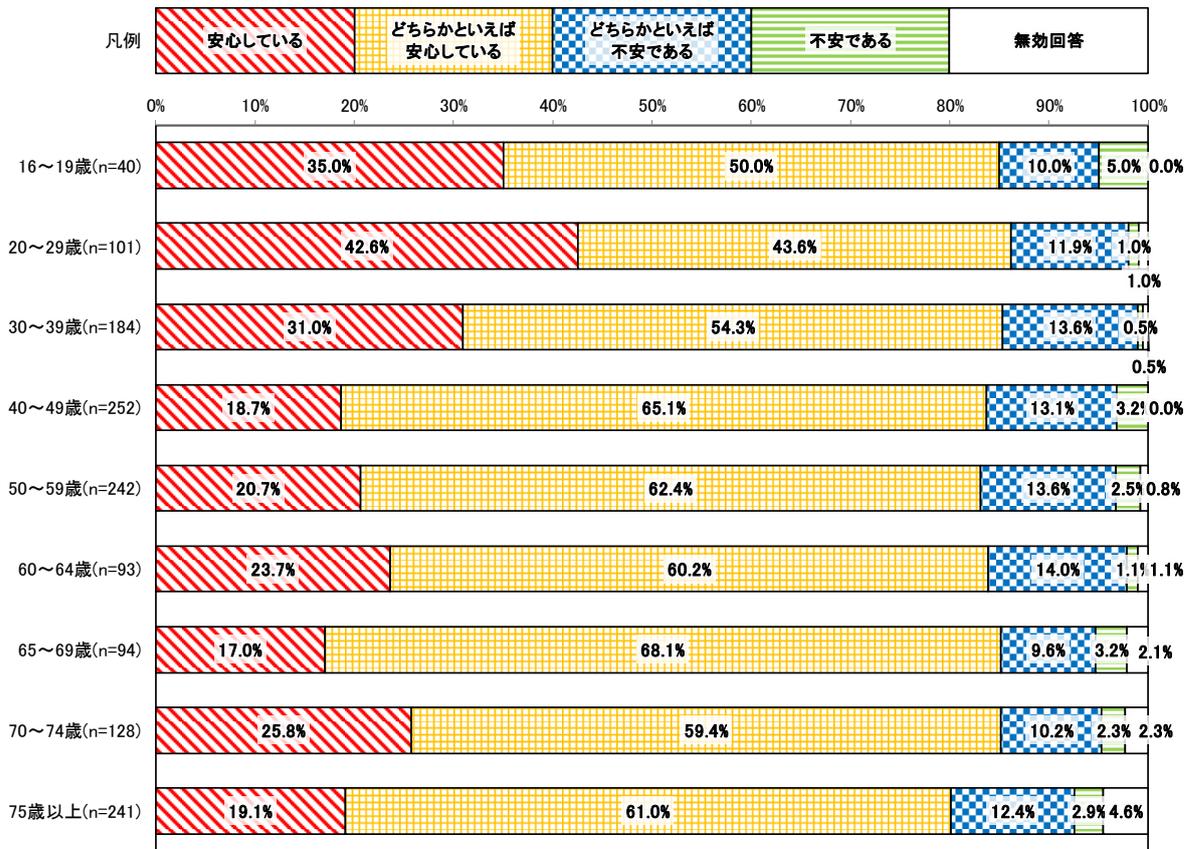
○一方、「不安である」、「どちらかといえば不安である」の合計 (14.8%) は、令和元年度 (17.1%) に比べ2.3ポイント減少しています。



第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

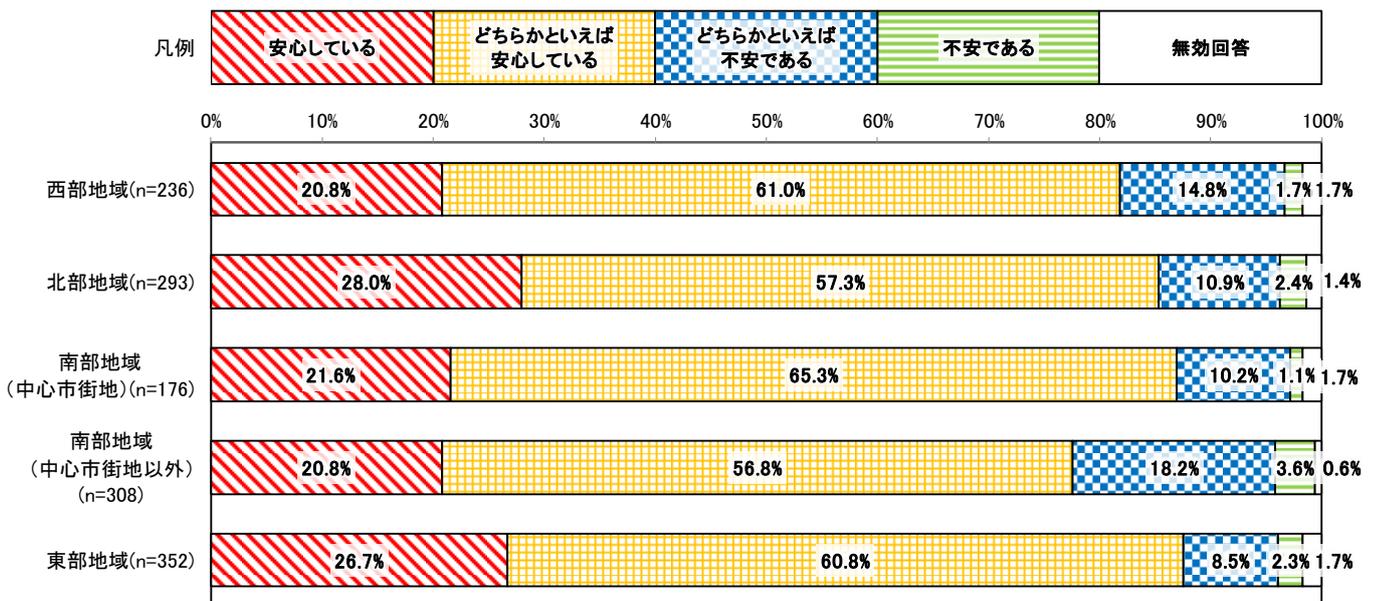
<年齢層別>

○いずれの年齢層でも、「安心している」と「どちらかといえば安心している」の合計が80%以上を占めています。



<地域別>

○いずれの地域でも、「安心している」と「どちらかといえば安心している」の合計が70%以上を占めています。



<自由記述>主な意見を原文のまま抜粋

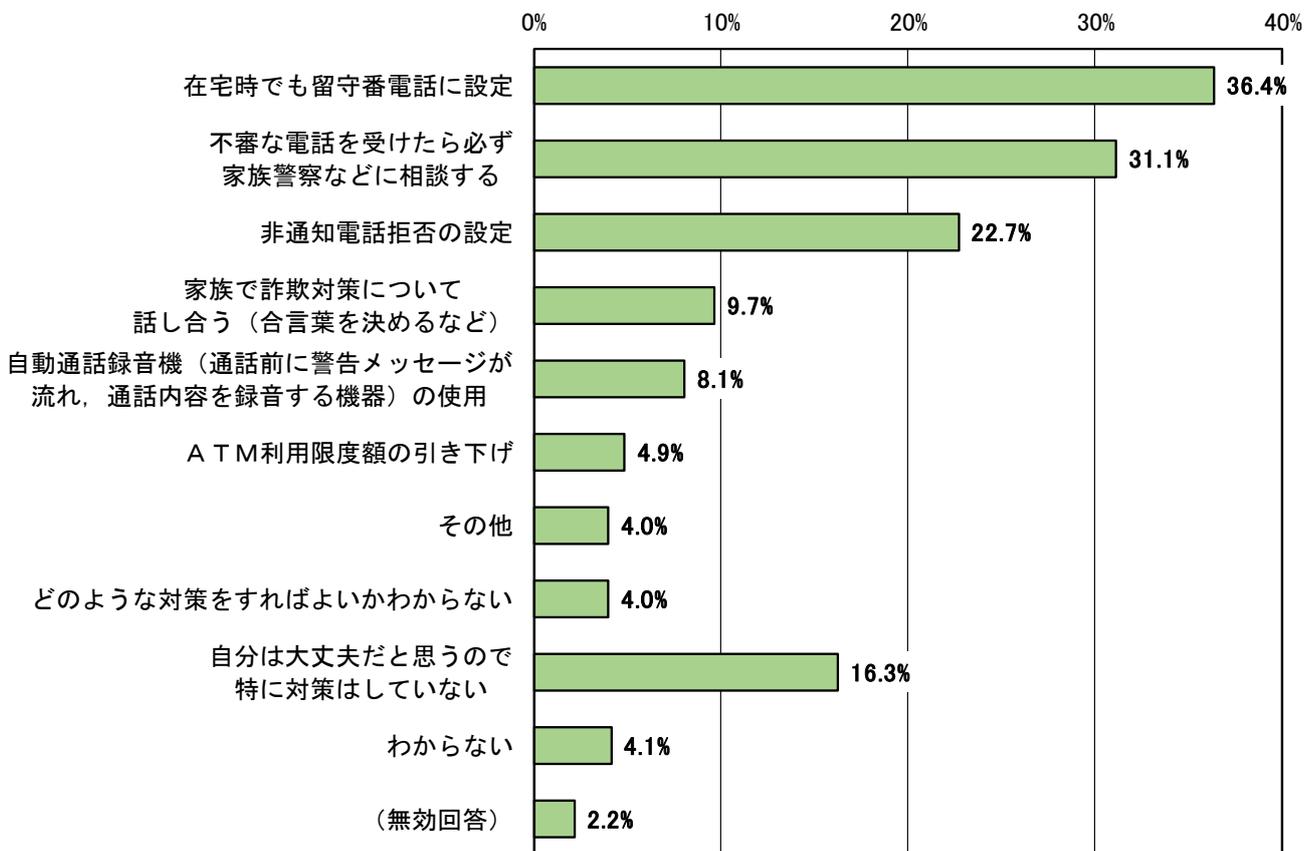
【図表 住んでいる地域が安心，不安と感じる理由】(77件)

| 「安心している」「どちらかといえば安心している」 | 「どちらかといえば不安である」「不安である」 |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・情報の発信があり，確認することができるので安心する。 ・大きな犯罪が無く，地域のつながりがあるため。 ・自治会の人の見回り，近所付き合いが濃い。 | <ul style="list-style-type: none"> ・住宅エリアで日中，人の目が少ない。防犯カメラ等を交通の要所に設置すべきではないか。 ・道が夜暗い。街灯が少ない，暗い。 ・空き巣が出たり，不審者が居る。 |

問 24) あなたは，特殊詐欺※被害防止のためにどのような対策をしていますか。

<全体 (n=1378) >

○特殊詐欺への対策は，「在宅時でも留守番電話に設定」が 36.4%で最も高く，「不審な電話を受けたら必ず家族，警察などに相談する」の 31.1%，「非通知電話拒否の設定」の 22.7%の順となっています。



※ 特殊詐欺とは，不特定の人に対して直接顔を合わせることなく，電話やメールなどを使い，嘘を言って信じこませ，犯人の銀行口座に現金を振り込ませたりする等，現金などをだまし取る犯罪のことです。

第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

<年齢層別>

○特殊詐欺への対策は、16～39歳、75歳以上で「不審な電話を受けたら必ず家族、警察などに相談する」、40～74歳では「在宅時でも留守番電話に設定」が最も高くなっています。

| 選択肢 | 合計 | 16～19歳 | 20～29歳 | 30～39歳 | 40～49歳 | 50～59歳 | 60～64歳 | 65～69歳 | 70～74歳 | 75歳以上 |
|--|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 全体 | 1,378 | 40 | 101 | 184 | 252 | 242 | 93 | 94 | 128 | 241 |
| | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
| 在宅時でも留守番電話に設定 | 501 | 5 | 13 | 26 | 87 | 112 | 48 | 50 | 58 | 102 |
| | 36.4% | 12.5% | 12.9% | 14.1% | 34.5% | 46.3% | 51.6% | 53.2% | 45.3% | 42.3% |
| 不審な電話を受けたら必ず家族、警察などに相談する | 429 | 11 | 30 | 51 | 79 | 50 | 24 | 30 | 43 | 109 |
| | 31.1% | 27.5% | 29.7% | 27.7% | 31.3% | 20.7% | 25.8% | 31.9% | 33.6% | 45.2% |
| 非通知電話拒否の設定 | 313 | 4 | 20 | 45 | 69 | 59 | 20 | 27 | 28 | 40 |
| | 22.7% | 10.0% | 19.8% | 24.5% | 27.4% | 24.4% | 21.5% | 28.7% | 21.9% | 16.6% |
| 家族で詐欺対策について話し合う（合言葉を決めるなど） | 133 | 6 | 7 | 12 | 27 | 26 | 11 | 5 | 11 | 28 |
| | 9.7% | 15.0% | 6.9% | 6.5% | 10.7% | 10.7% | 11.8% | 5.3% | 8.6% | 11.6% |
| 自動通話録音機（通話前に警告メッセージが流れ、通話内容を録音する機器）の使用 | 111 | 4 | 1 | 5 | 13 | 17 | 10 | 8 | 14 | 38 |
| | 8.1% | 10.0% | 1.0% | 2.7% | 5.2% | 7.0% | 10.8% | 8.5% | 10.9% | 15.8% |
| ATM利用限度額の引き下げ | 67 | 1 | 4 | 10 | 10 | 19 | 5 | 5 | 5 | 8 |
| | 4.9% | 2.5% | 4.0% | 5.4% | 4.0% | 7.9% | 5.4% | 5.3% | 3.9% | 3.3% |
| その他 | 55 | 1 | 4 | 8 | 10 | 13 | 0 | 5 | 3 | 11 |
| | 4.0% | 2.5% | 4.0% | 4.3% | 4.0% | 5.4% | 0.0% | 5.3% | 2.3% | 4.6% |
| どのような対策をすればよいかわからない | 55 | 3 | 10 | 14 | 6 | 10 | 3 | 1 | 5 | 3 |
| | 4.0% | 7.5% | 9.9% | 7.6% | 2.4% | 4.1% | 3.2% | 1.1% | 3.9% | 1.2% |
| 自分は大丈夫だと思うので特に対策はしていない | 224 | 11 | 28 | 49 | 44 | 33 | 15 | 12 | 15 | 17 |
| | 16.3% | 27.5% | 27.7% | 26.6% | 17.5% | 13.6% | 16.1% | 12.8% | 11.7% | 7.1% |
| わからない | 57 | 5 | 10 | 11 | 14 | 7 | 2 | 1 | 3 | 4 |
| | 4.1% | 12.5% | 9.9% | 6.0% | 5.6% | 2.9% | 2.2% | 1.1% | 2.3% | 1.7% |
| (無効回答) | 30 | 1 | 0 | 2 | 1 | 2 | 0 | 3 | 7 | 14 |
| | 2.2% | 2.5% | 0.0% | 1.1% | 0.4% | 0.8% | 0.0% | 3.2% | 5.5% | 5.8% |

(上段：実数(人)，下段：構成比)

回答割合が最も高い： 0.0%

回答割合が2番目に高い： 0.0%

<自由記述> 主な意見を原文のまま抜粋

【図表 防犯対策についてのご意見・ご提案】(57件)

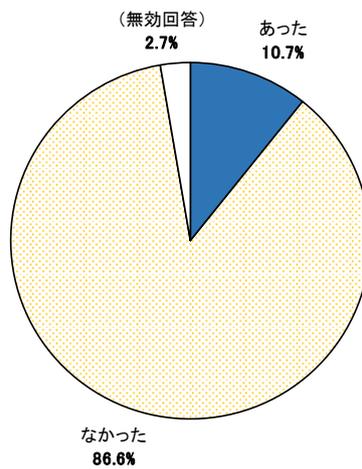
- ・注意しててもだまされることがあるので、実際にあった具体的な事例を教えてください。
- ・防犯カメラの設置とカメラがあるのですぐつかまるという周知活動の強化。

【各種相談について】

問 25) あなたは、この1年間に日常生活の中で、身に覚えのない請求や、しつこい勧誘など、消費生活に関するトラブルに巻き込まれそうになった経験がありますか。

<全体 (n=1378) >

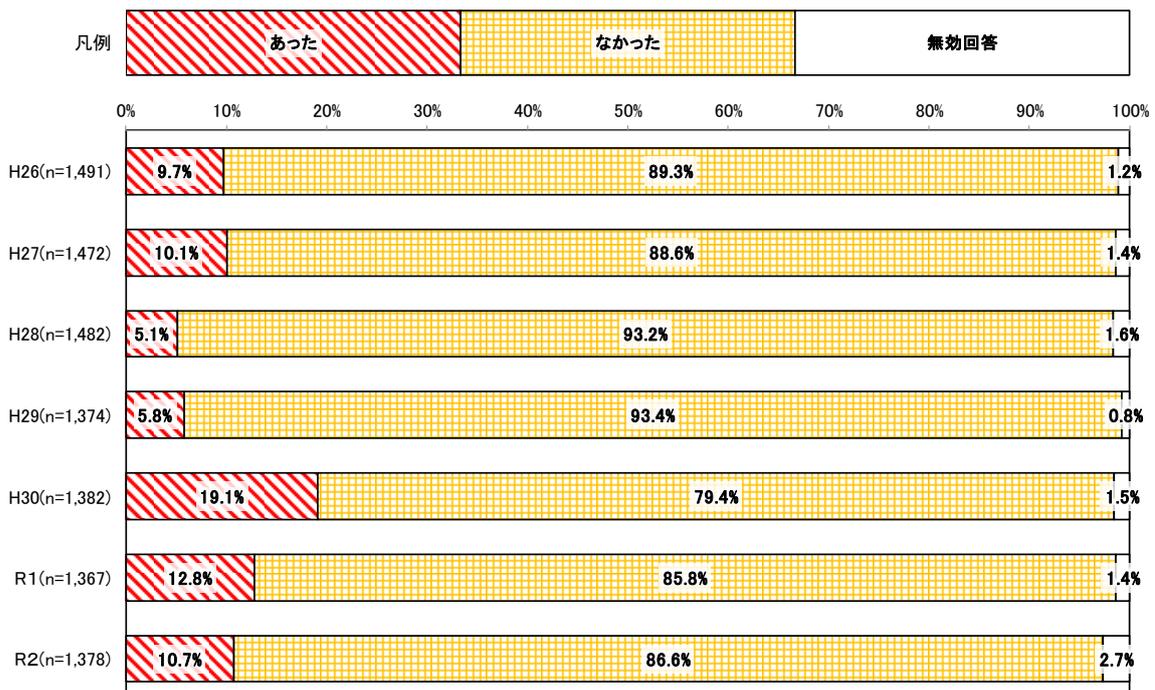
○消費生活上のトラブルに巻き込まれそうになった経験が「あった」は10.7%、「なかった」は86.6%となっています。



<経年比較>

○消費生活上のトラブルに「あった」は、平成30年度以降、減少傾向にあり、令和2年度は、令和元年度(12.8%)に比べ2.1ポイント減少しています。

○一方、「なかった」は令和元年度(85.8%)に比べ、0.8ポイント増加しています。

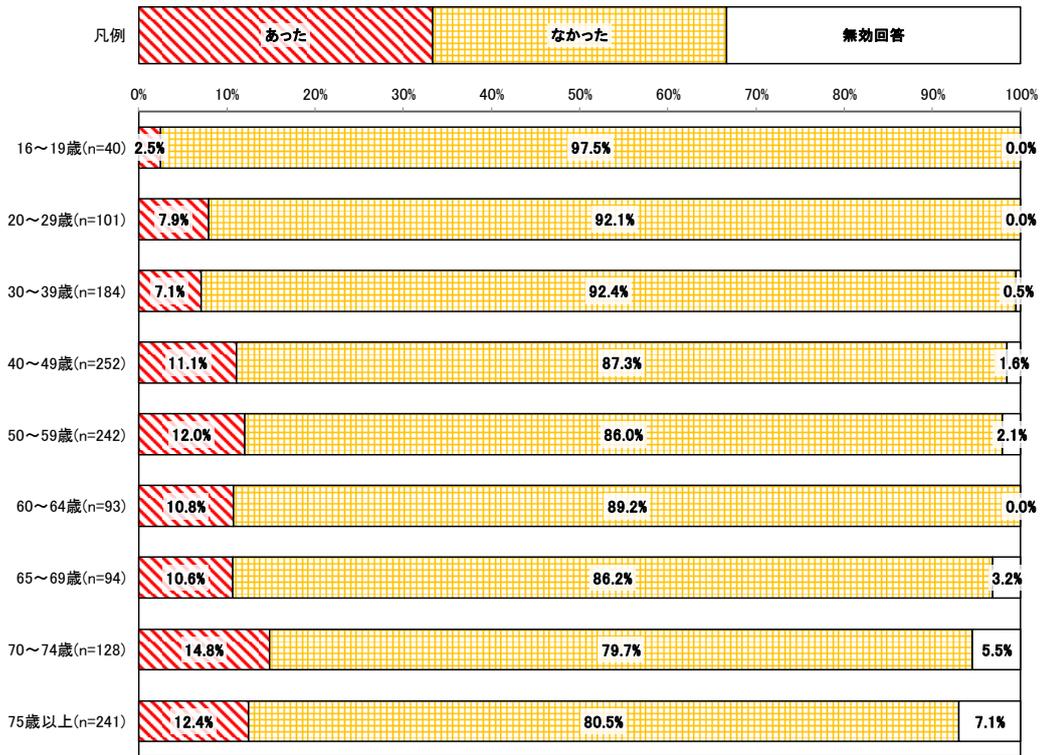


第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

<年齢層別>

○40代の方の10%以上が、消費生活上のトラブルに「あった」と回答しています。

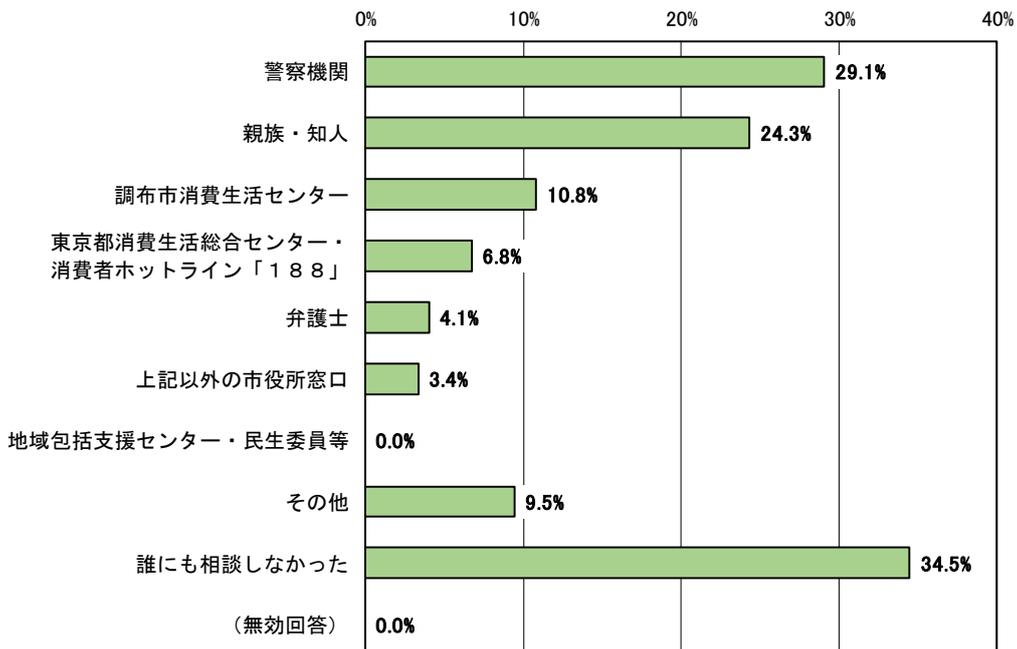
また、年齢を重ねるごとに、消費生活上のトラブルに「あった」人の割合が増加する傾向が見られます。



問 25-1) トラブルに巻き込まれそうになった際、どちらかへ相談しましたか。

<全体 (n=148) >

○「警察機関」が29.1%で最も高く、次いで「親族・知人」の24.3%の順となっています。また、「誰にも相談しなかった」は34.5%となっています。



<年齢層別>

○いずれの年齢層においても、おおむね「警察機関」，「親族・知人」への相談が高くなっています。

| 選択肢 | 合計 | 16～19歳 | 20～29歳 | 30～39歳 | 40～49歳 | 50～59歳 | 60～64歳 | 65～69歳 | 70～74歳 | 75歳以上 |
|----------------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 全体 | 148 | 1 | 8 | 13 | 28 | 29 | 10 | 10 | 19 | 30 |
| | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
| 警察機関 | 43 | 0 | 1 | 1 | 4 | 4 | 1 | 4 | 10 | 18 |
| | 29.1% | 0.0% | 12.5% | 7.7% | 14.3% | 13.8% | 10.0% | 40.0% | 52.6% | 60.0% |
| 親族・知人 | 36 | 0 | 5 | 4 | 7 | 4 | 2 | 3 | 4 | 7 |
| | 24.3% | 0.0% | 62.5% | 30.8% | 25.0% | 13.8% | 20.0% | 30.0% | 21.1% | 23.3% |
| 調布市消費生活センター | 16 | 0 | 1 | 1 | 2 | 3 | 0 | 2 | 4 | 3 |
| | 10.8% | 0.0% | 12.5% | 7.7% | 7.1% | 10.3% | 0.0% | 20.0% | 21.1% | 10.0% |
| 東京都消費生活総合センター・消費者 ホットライン「188」 | 10 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 | 0 | 1 | 2 | 3 |
| | 6.8% | 0.0% | 0.0% | 7.7% | 3.6% | 6.9% | 0.0% | 10.0% | 10.5% | 10.0% |
| 弁護士 | 6 | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 |
| | 4.1% | 0.0% | 0.0% | 15.4% | 3.6% | 0.0% | 10.0% | 0.0% | 5.3% | 3.3% |
| 上記以外の市役所窓口 | 5 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 3 | 0 |
| | 3.4% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 3.6% | 0.0% | 10.0% | 0.0% | 15.8% | 0.0% |
| 地域包括支援センター・民生委員等 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| その他 | 14 | 0 | 0 | 1 | 4 | 3 | 3 | 1 | 1 | 1 |
| | 9.5% | 0.0% | 0.0% | 7.7% | 14.3% | 10.3% | 30.0% | 10.0% | 5.3% | 3.3% |
| 誰にも相談しなかった | 51 | 1 | 2 | 6 | 11 | 17 | 3 | 2 | 4 | 5 |
| | 34.5% | 100.0% | 25.0% | 46.2% | 39.3% | 58.6% | 30.0% | 20.0% | 21.1% | 16.7% |
| (無効回答) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |

回答割合が最も高い： 0.0%

(上段：実数(人)，下段：構成比)

回答割合が2番目に高い： 0.0%

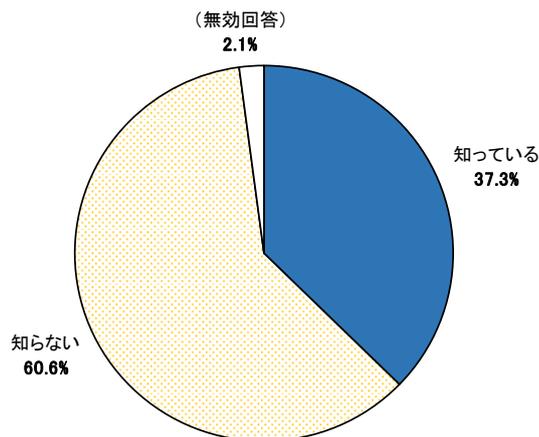
【地域福祉・高齢者施策・障害者施策について】

問26) あなたは、地域福祉や高齢者福祉に関する次の相談窓口を知っていますか。

地域包括支援センター

<全体 (n=1378)>

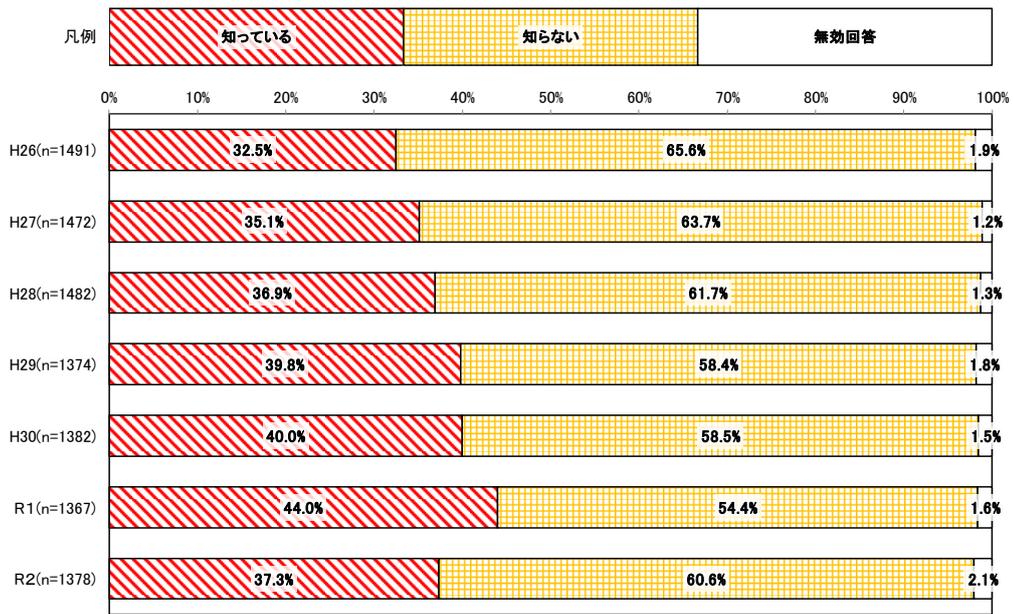
○「知っている」は37.3%，「知らない」は60.6%であり，後者が前者を23.3ポイント上回っています。



第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

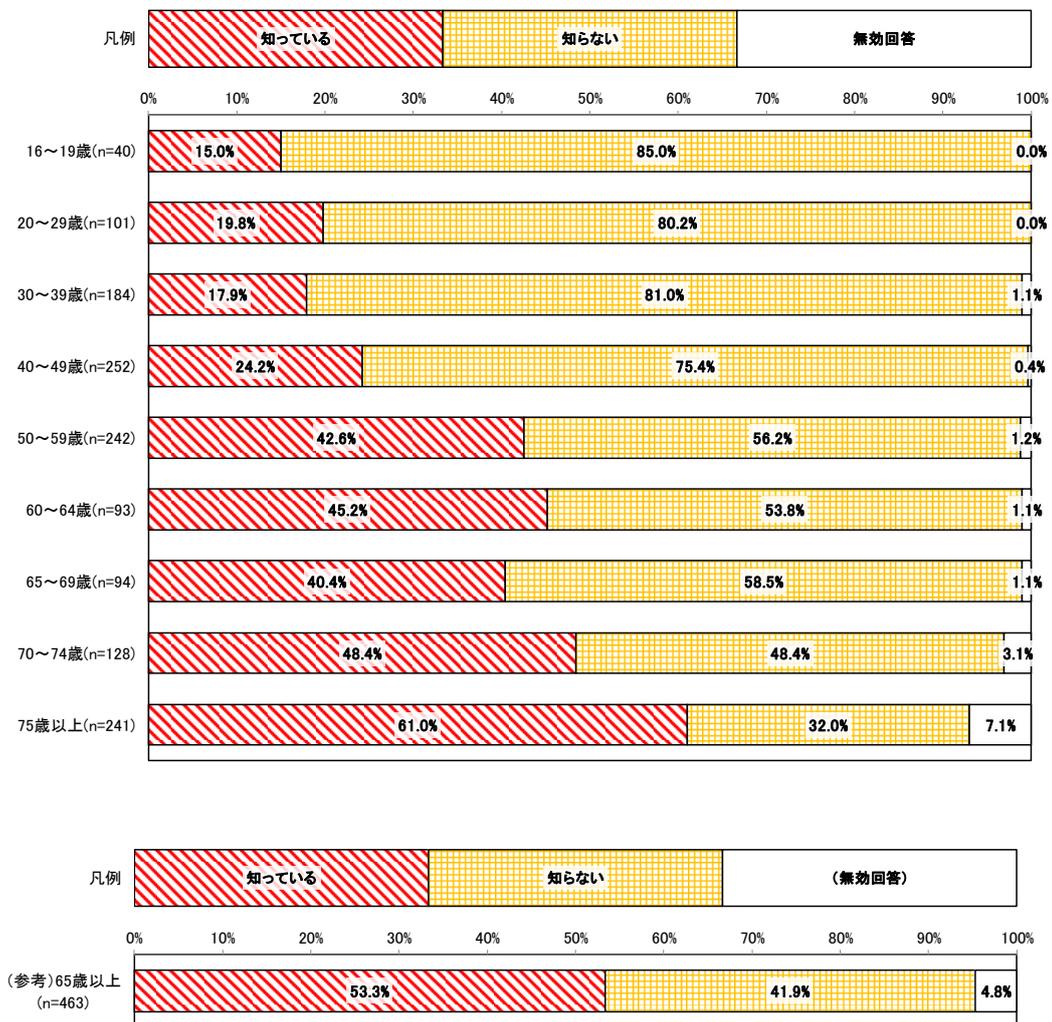
<経年比較>

○「知っている」(37.3%)は、令和元年度(44.0%)に比べ6.7ポイント減少しています。



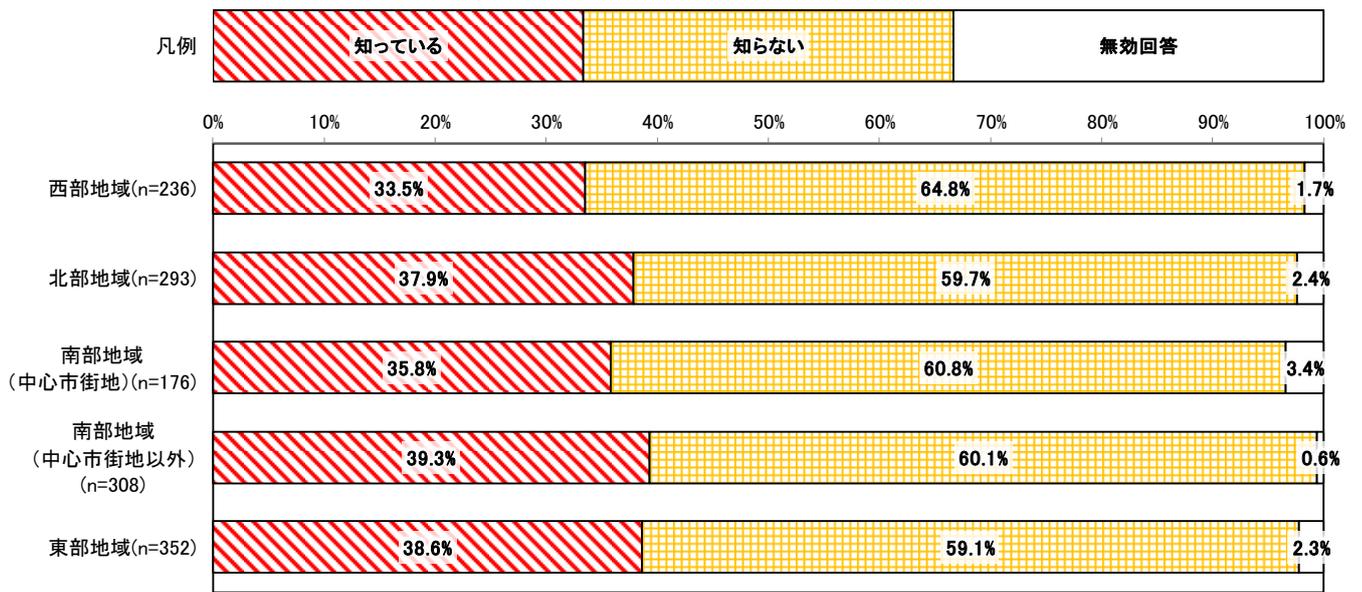
<年齢層別>

○「知っている」はおおむね年齢が上がるにつれて高くなる傾向にあり、50歳以上では40%を超えています。



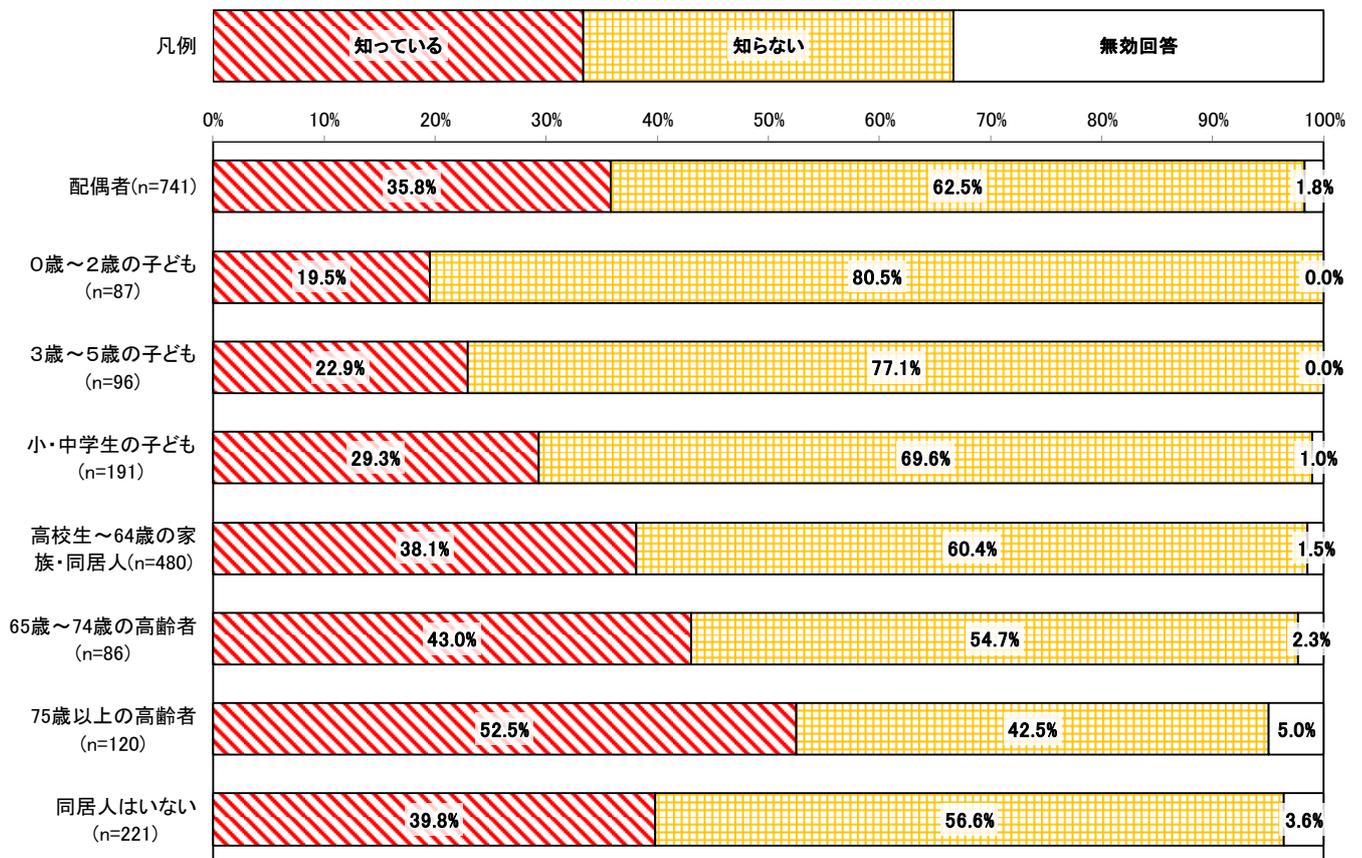
<地域別>

○いずれの地域でも「知っている」は35%前後となっており、「知らない」を下回っています。



<同居人別>

○65歳以上の同居人がいる方の「知っている」は、「65歳～74歳の高齢者」で43.0%、「75歳以上の高齢者」で52.5%に上っています。

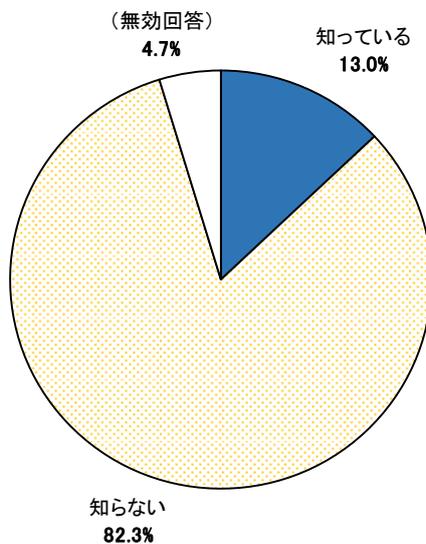


第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

地域福祉コーディネーター

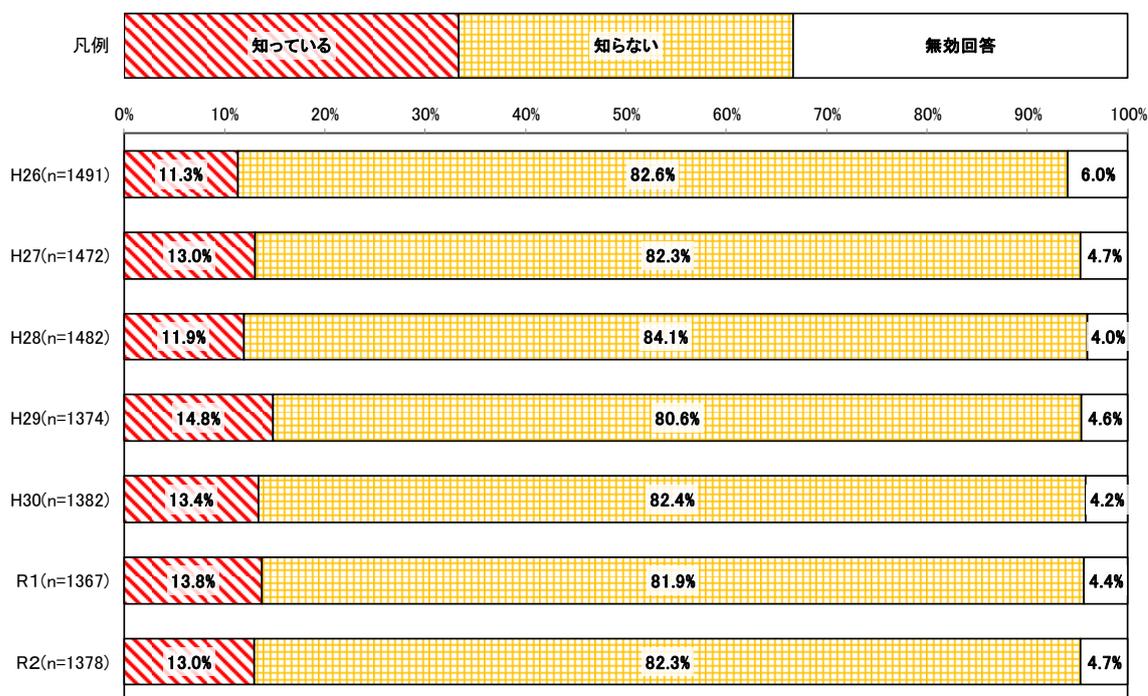
<全体 (n=1378)>

○「知っている」は13.0%であり、「知らない」の82.3%を大きく下回っています。



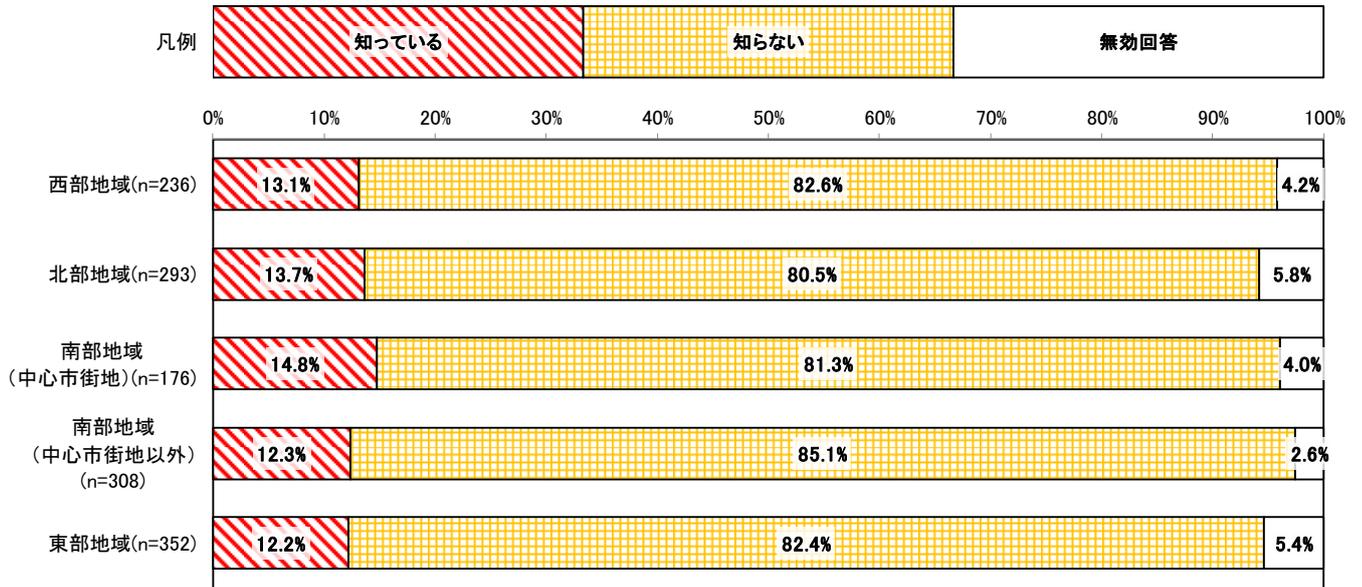
<経年比較>

○「知っている」は、平成26年度の11.3%から微増・微減を繰り返しながらほぼ横ばいで推移し、令和2年度では13.0%となっています。



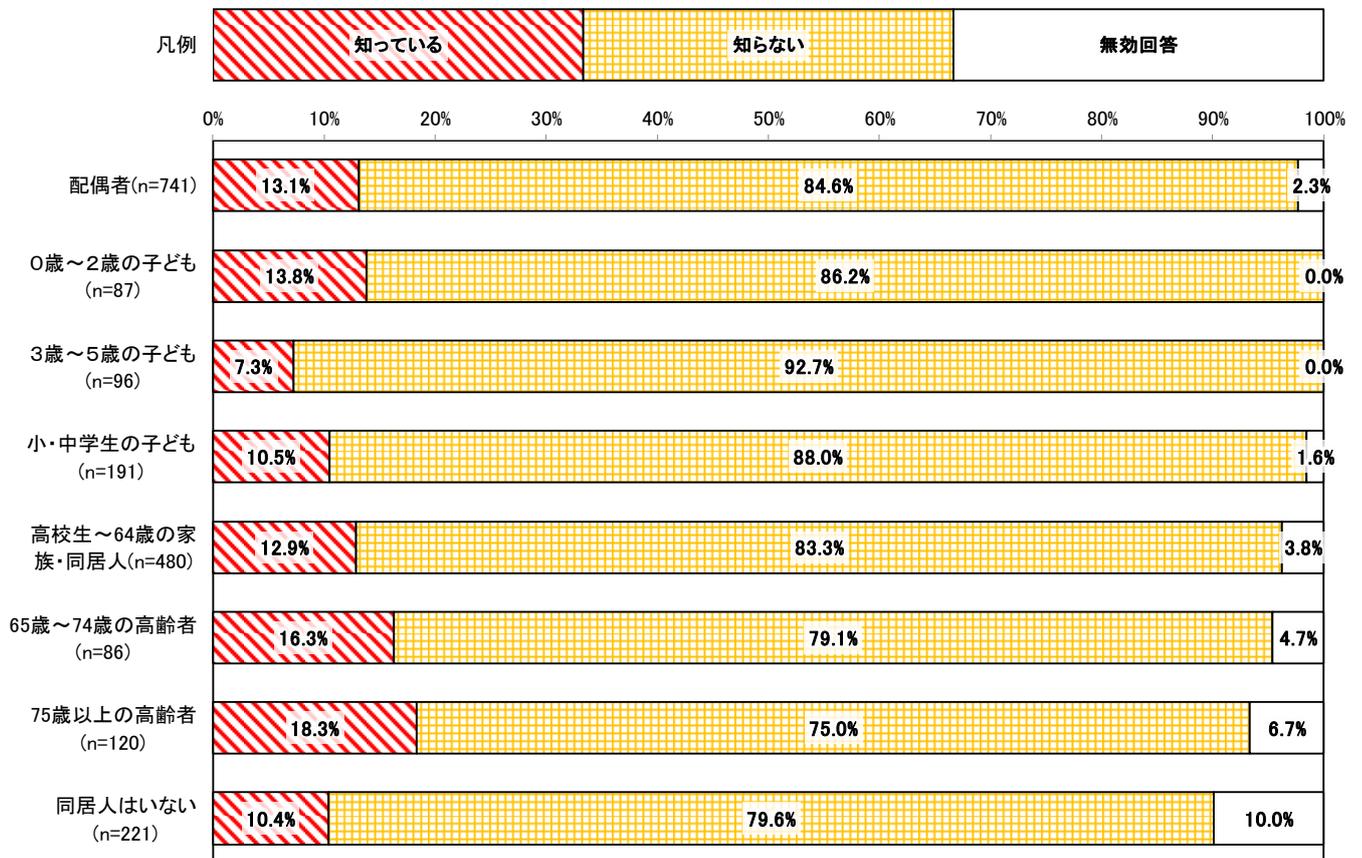
<地域別>

○いずれの地域でも「知っている」は10%台にとどまっており、「知らない」がおおむね80%台に上っています。



<同居人別>

○同居人がいずれの場合でも、「知っている」は20%を下回っています。

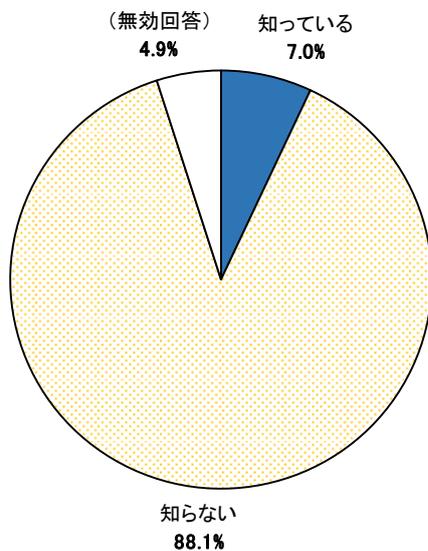


第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

地域支え合い推進員

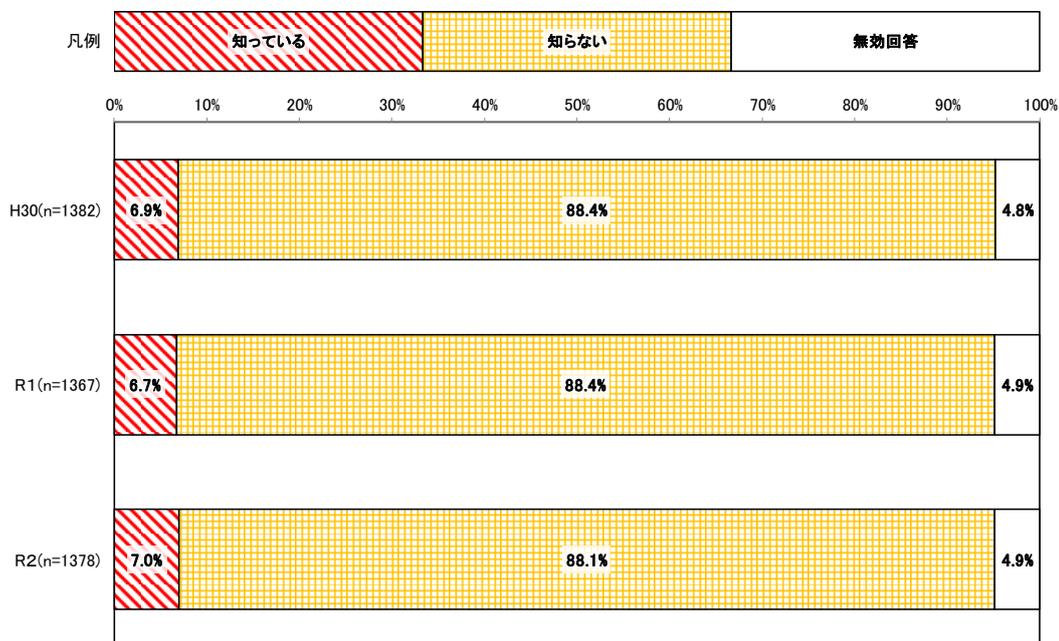
<全体 (n=1378) >

○「知っている」は7.0%、「知らない」は88.1%であり、後者が前者を大きく上回っています。



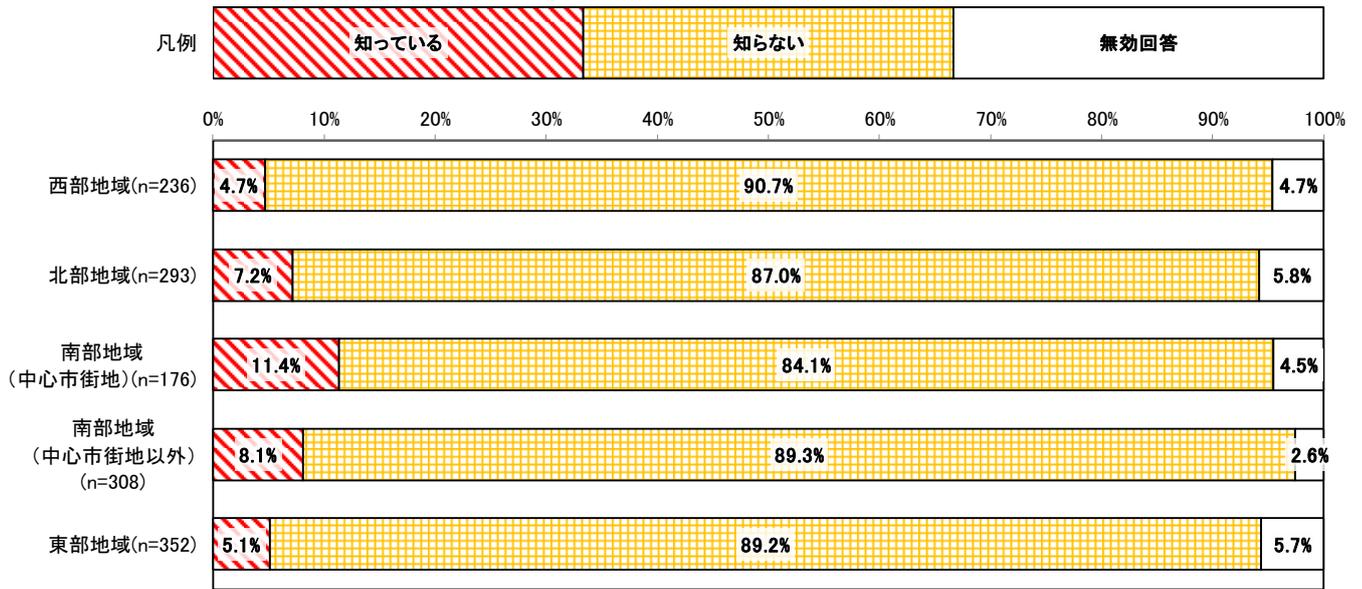
<経年比較>

○「知っている」は、平成30年度の6.9%からほぼ横ばいで推移し、令和2年度では7.0%となっています。



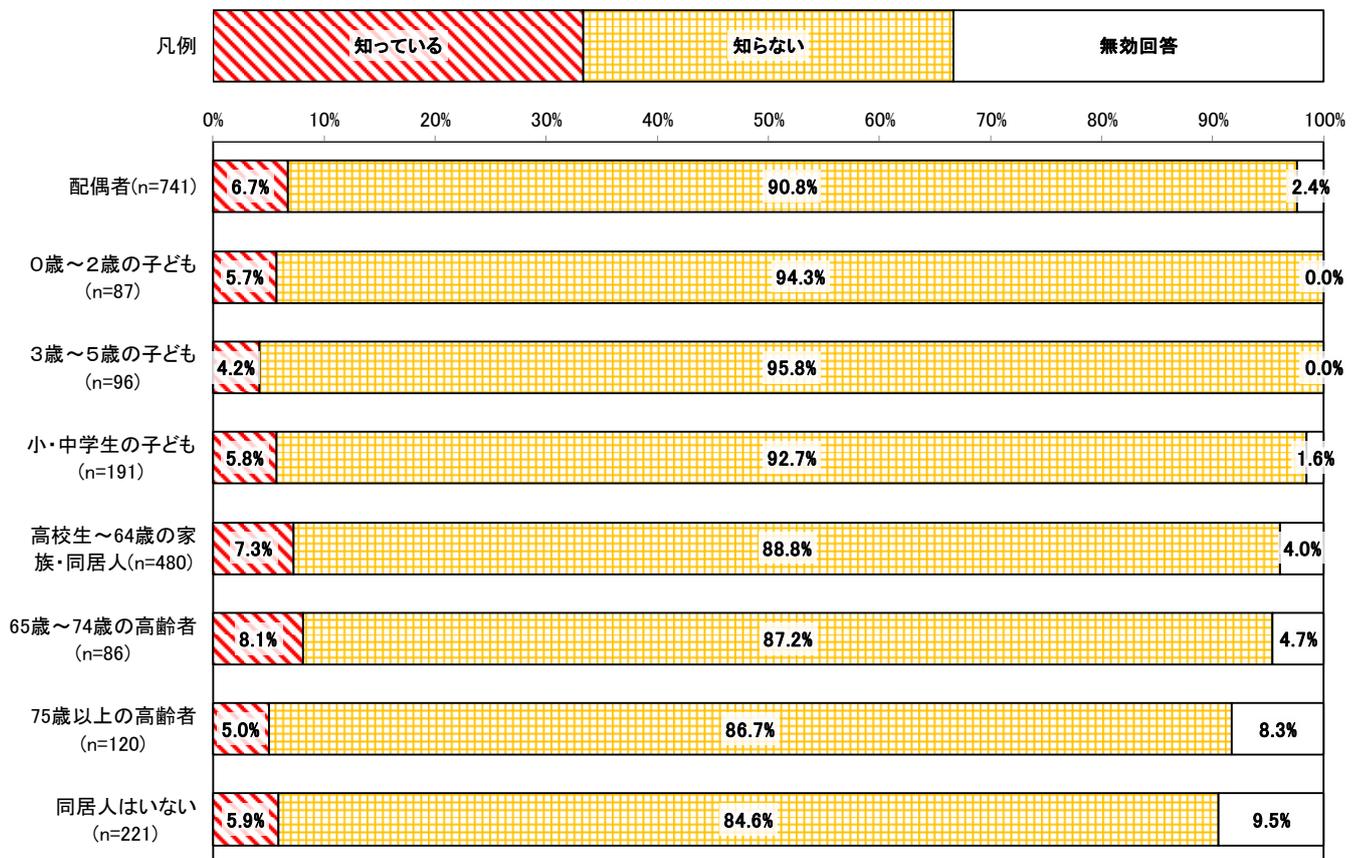
<地域別>

○いずれの地域でも「知っている」は15%未満であり、「知らない」が90%前後に上っています。



<同居人別>

○同居人がいずれの場合でも、「知っている」は10%を下回っています。



第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

<自由記述>主な意見を原文のまま抜粋

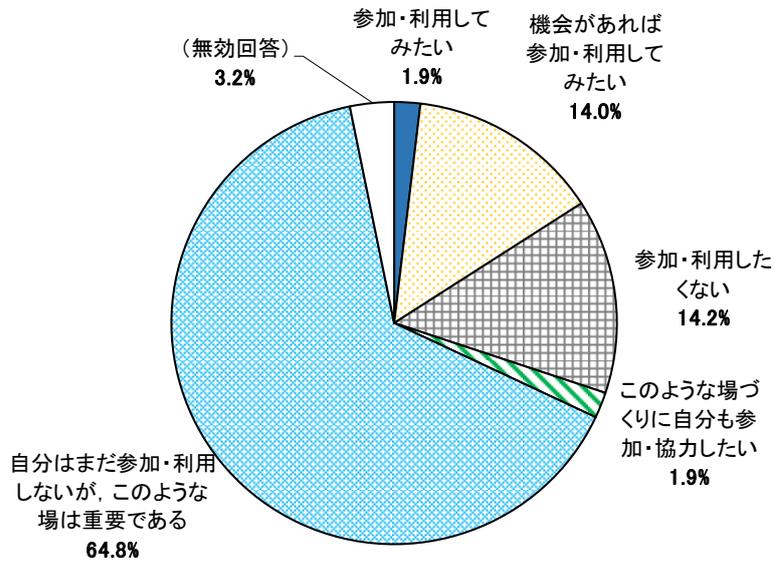
【図表 地域福祉，高齢者・障害者福祉についてのご意見・ご提案】(47件)

- ・上記のようなサービスがあることが知らなかったのので，公共交通機関のバス停や，駅の広告などを利用し，周知してくれるとわかりやすいかもしれません。
- ・高齢者福祉以外の福祉について，幅広く取組んで下さい。

問27) あなたは，地域における交流の場（ひだまりサロンなど）についてどのように感じますか。

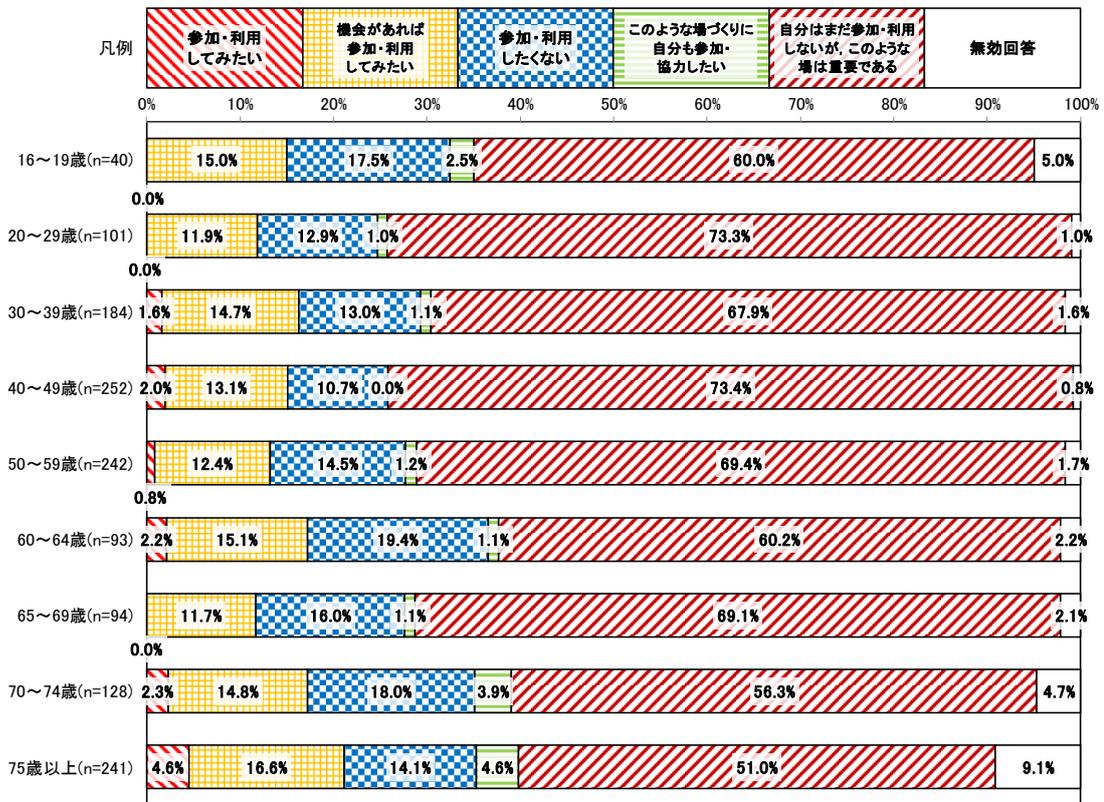
<全体 (n=1378) >

○「自分はまだ参加・利用しないが，このような場は重要である」が64.8%で最も高く，次いで「参加・利用したくない」の14.2%，「機会があれば参加・利用してみたい」の14.0%の順となっています。



<年齢層別>

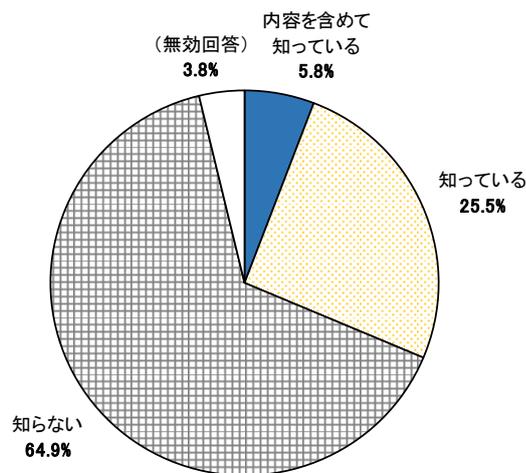
○「参加・利用してみたい」と「機会があれば参加・利用してみたい」の合計は、75歳以上が21.2%で最も高く、次いで60～64歳の17.3%となっています。



問28) あなたは、「障害者差別解消法」を知っていますか。

<全体 (n=1378) >

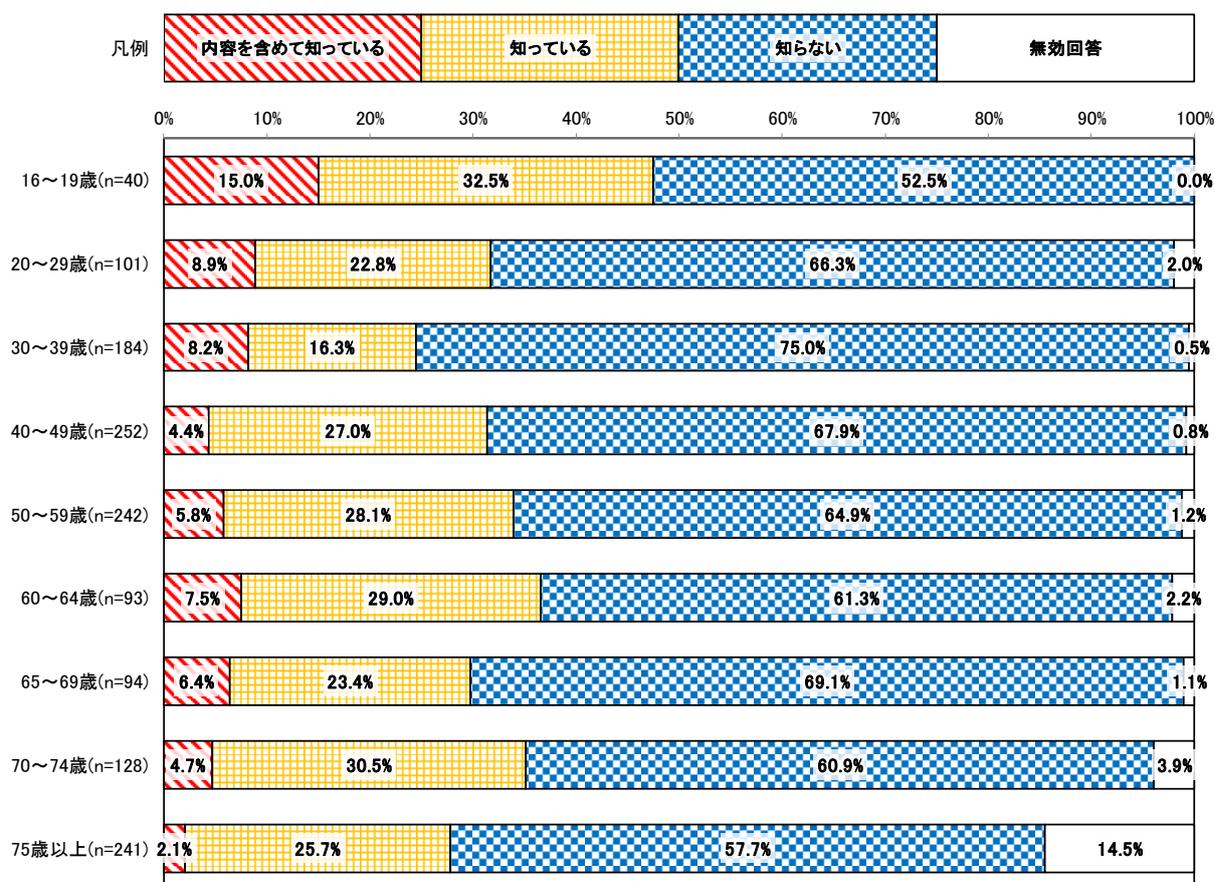
○「内容を含めて知っている」は5.8%、「知っている」は25.5%であり、合計で31.3%となっています。



第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

<年齢層別>

○16～19歳が、「内容を含めて知っている」、「知っている」の合計が47.5%で最も高く、次いで60～64歳の36.5%、70～74歳の35.2%の順となっています。



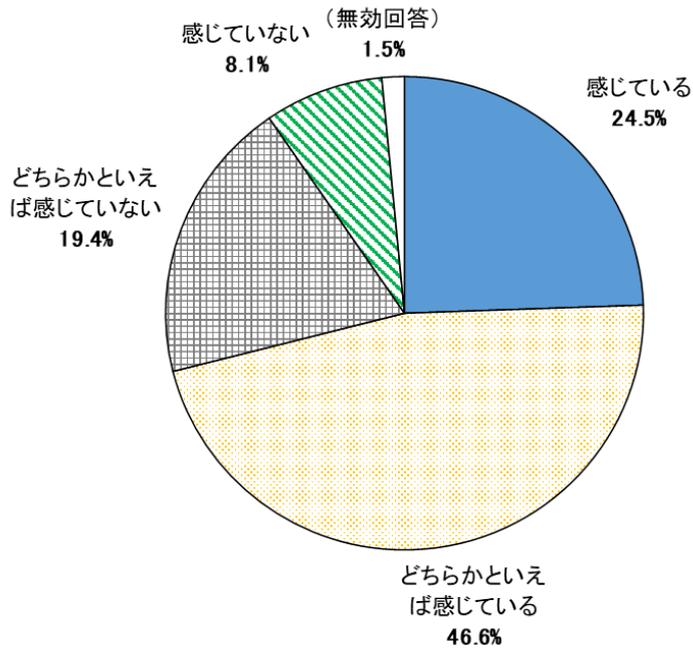
【健康づくりについて】

問 29) あなたは、心身ともに健康だと感じていますか。

<全体 (n=1378) >

○心身ともに健康だと「感じている」は24.5%、「どちらかといえば感じている」は46.6%であり、合計で71.1%を占めています。

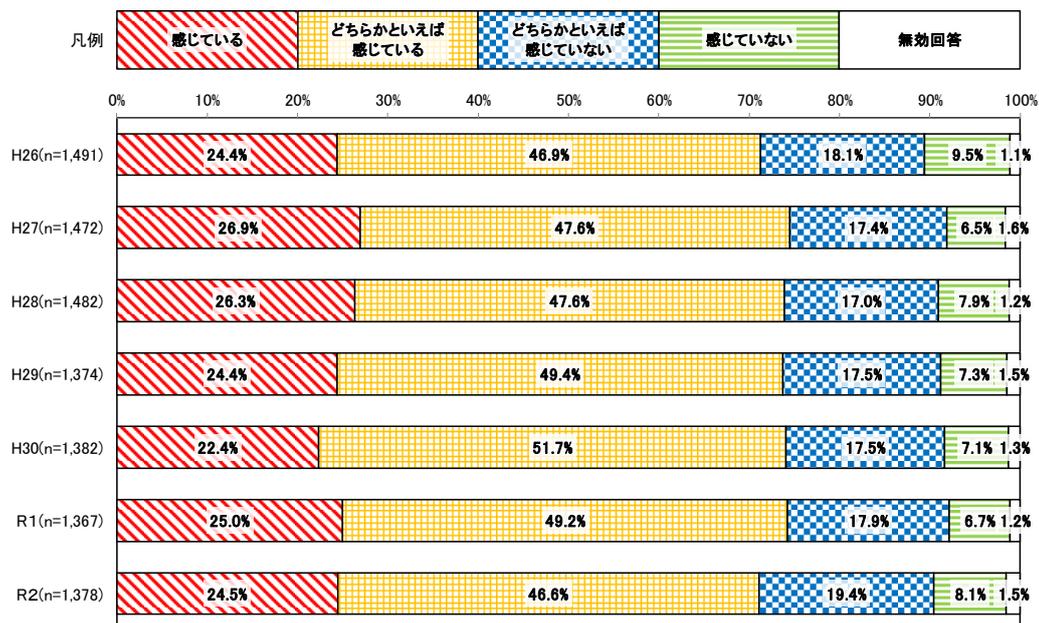
○一方、「感じていない」と「どちらかといえば感じていない」の合計は27.5%となっています。



<経年比較>

○「感じている」、「どちらかといえば感じている」の合計は(71.1%)は、令和元年度(74.2%)に比べ3.1ポイント減少しています。

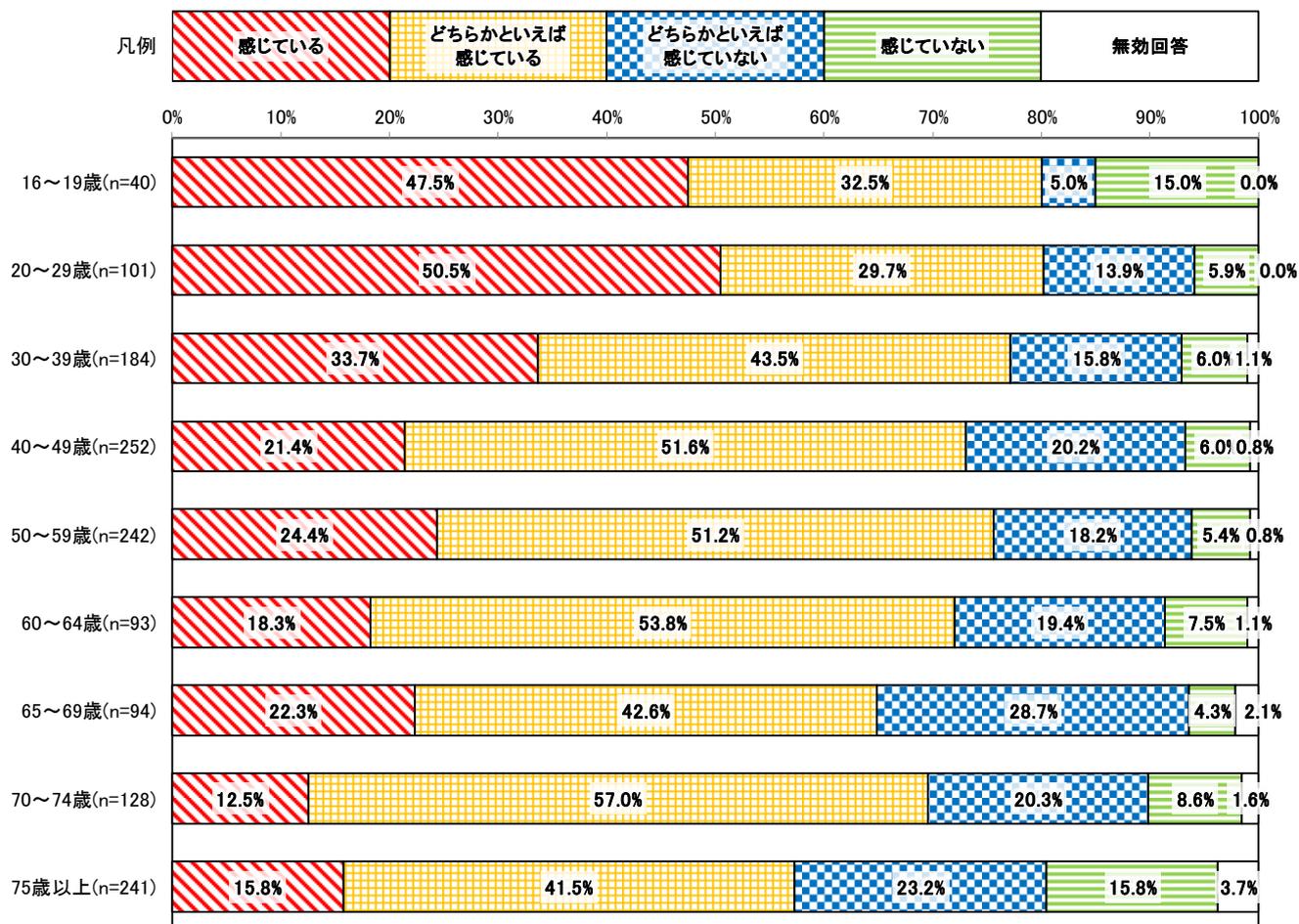
○一方、「感じていない」、「どちらかといえば感じていない」の合計(27.5%)は、令和元年度(24.6%)に比べ2.9ポイント増加しています。



第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

<年齢層別>

○「感じている」と「どちらかといえば感じている」の合計は、64歳以下では70%を上回っている一方、65～69歳と70～74歳では60%台、75歳以上では50%台となっています。



<自由記述>主な意見を原文のまま抜粋

【図表 健康づくりに関する施策についてのご意見・ご提案】(46件)

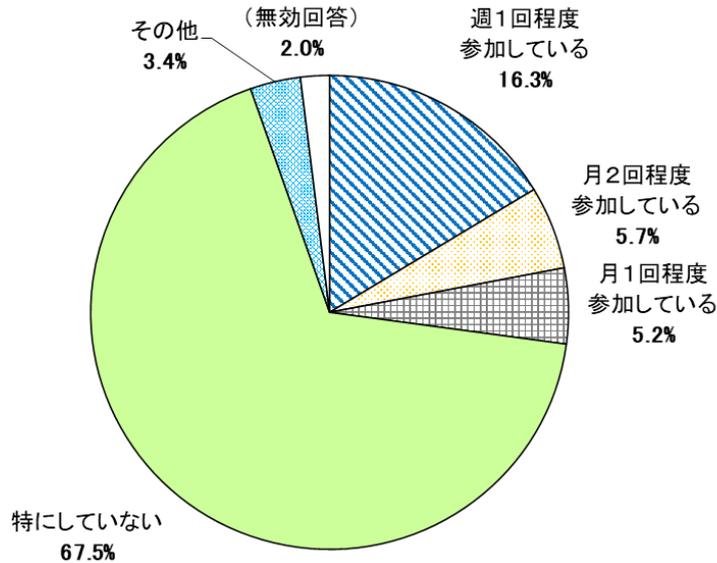
- ・身体を動かせる公園を増やして欲しい。
- ・歯の健康を保つ，関心を高める。

問30) あなたは、健康ではりのある生活のため、趣味活動や地域活動などに参加していますか。

<全体 (n=1378) >

○「週1回程度参加している」が16.3%、「月2回程度参加している」が5.7%、「月1回程度参加している」が5.2%であり、これらの合計が27.2%を占めています。

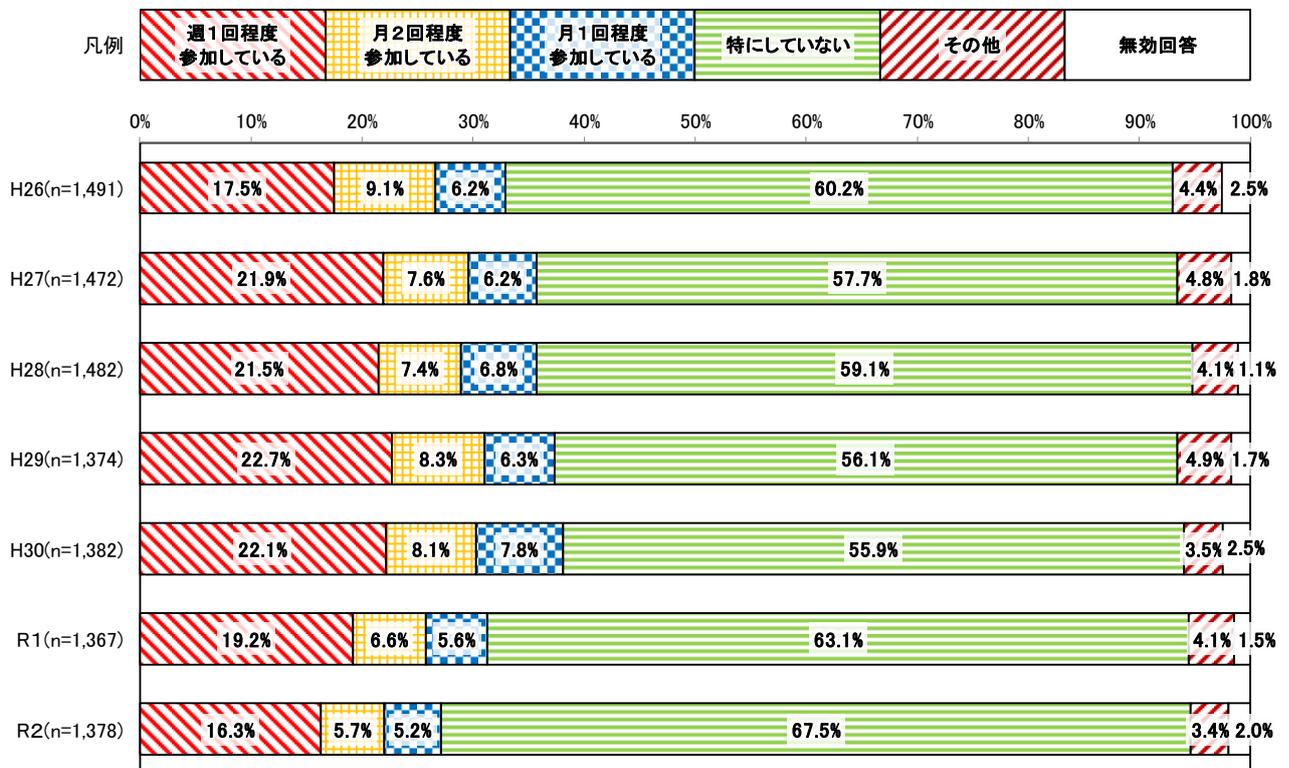
○「特にしていない」は67.5%となっています。



<経年比較>

○「参加している」の合計 (27.2%) は、令和元年度 (31.4%) と比べ 4.2 ポイント減少しています。

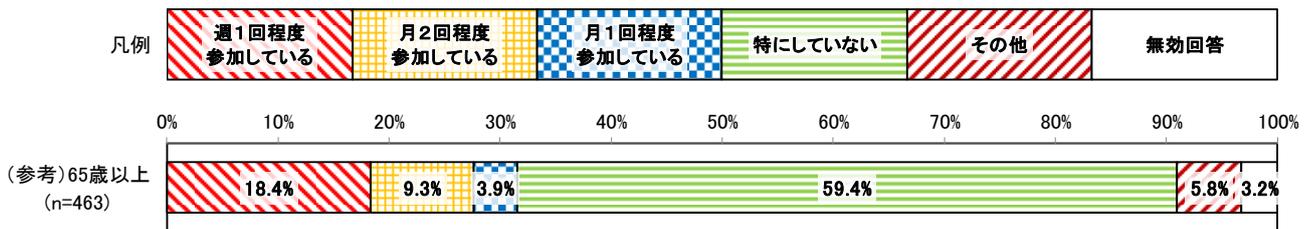
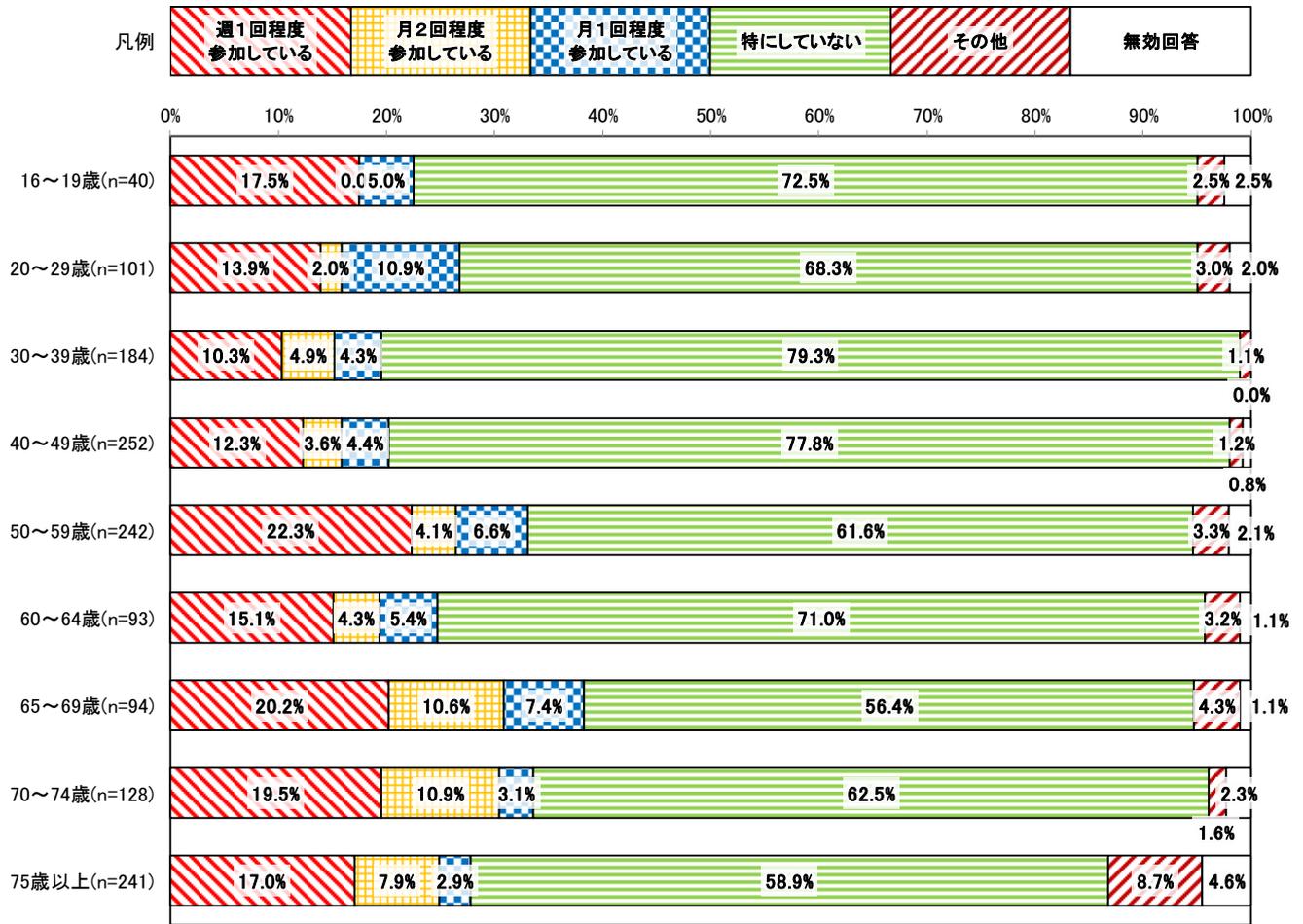
○一方、「特にしていない」(67.5%) は、令和元年度 (63.1%) と比べ 4.4 ポイント増加しています。



第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

<年齢層別>

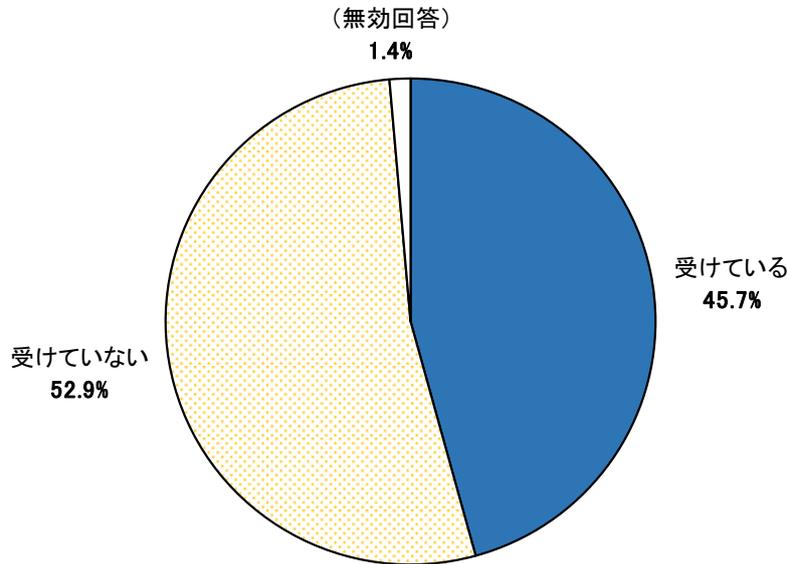
- 「週1回程度参加している」、「月2回程度参加している」、「月1回程度参加している」の合計は、16～49歳、60～64歳では20%前後、それ以外の年齢層では30%前後となっています。
- 「特にしていない」は、いずれの年齢層も50%を超えています。



問31) あなたは、定期的ながん検診を受けていますか。

<全体 (n=1378) >

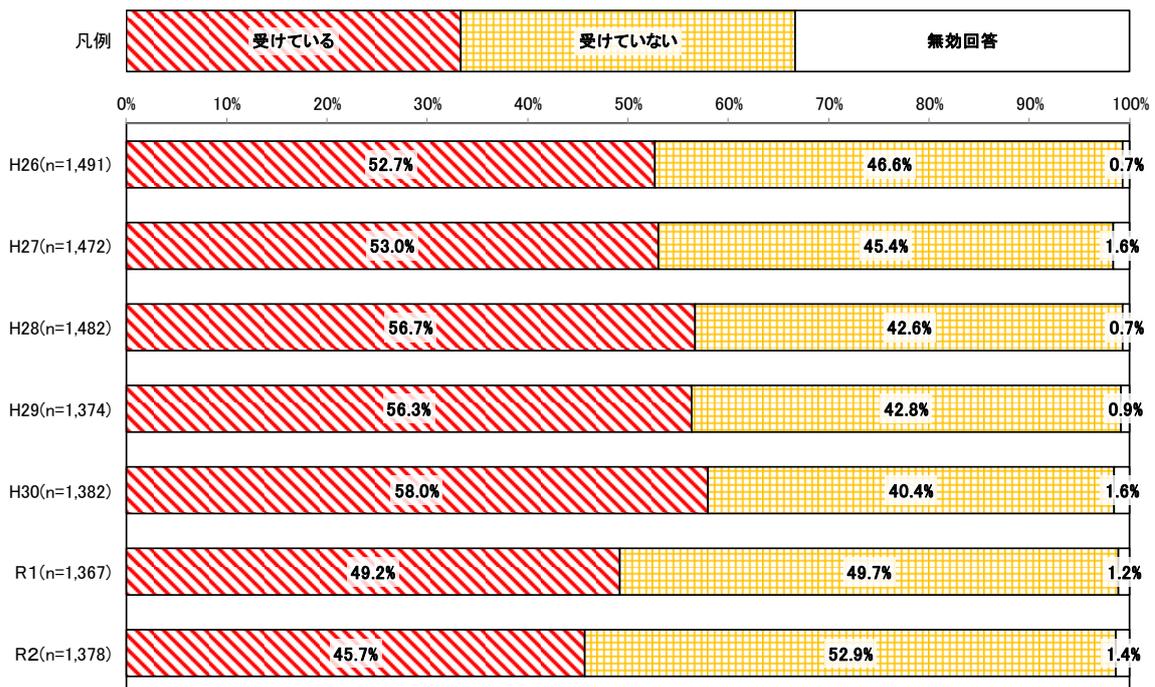
○「受けている」は45.7%、「受けていない」は52.9%であり、「受けていない」の割合がやや高くなっています。



<経年比較>

○「受けている」は、平成30年度まで増加傾向にありましたが令和元年度以降減少し、令和2年度では前年度に比べて3.5ポイント減少しています。

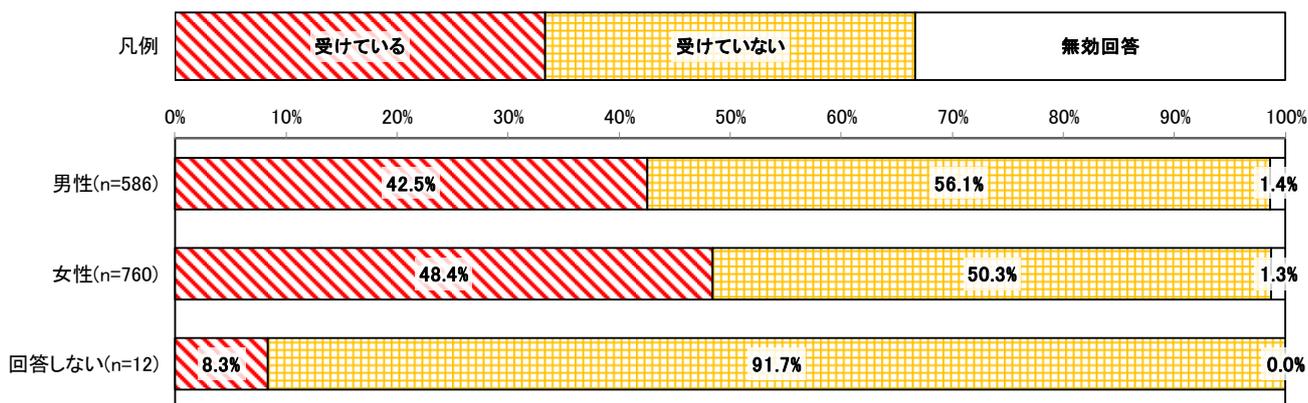
○一方、「受けていない」は、令和2年度では前年度に比べて3.2ポイント増加しています。



第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

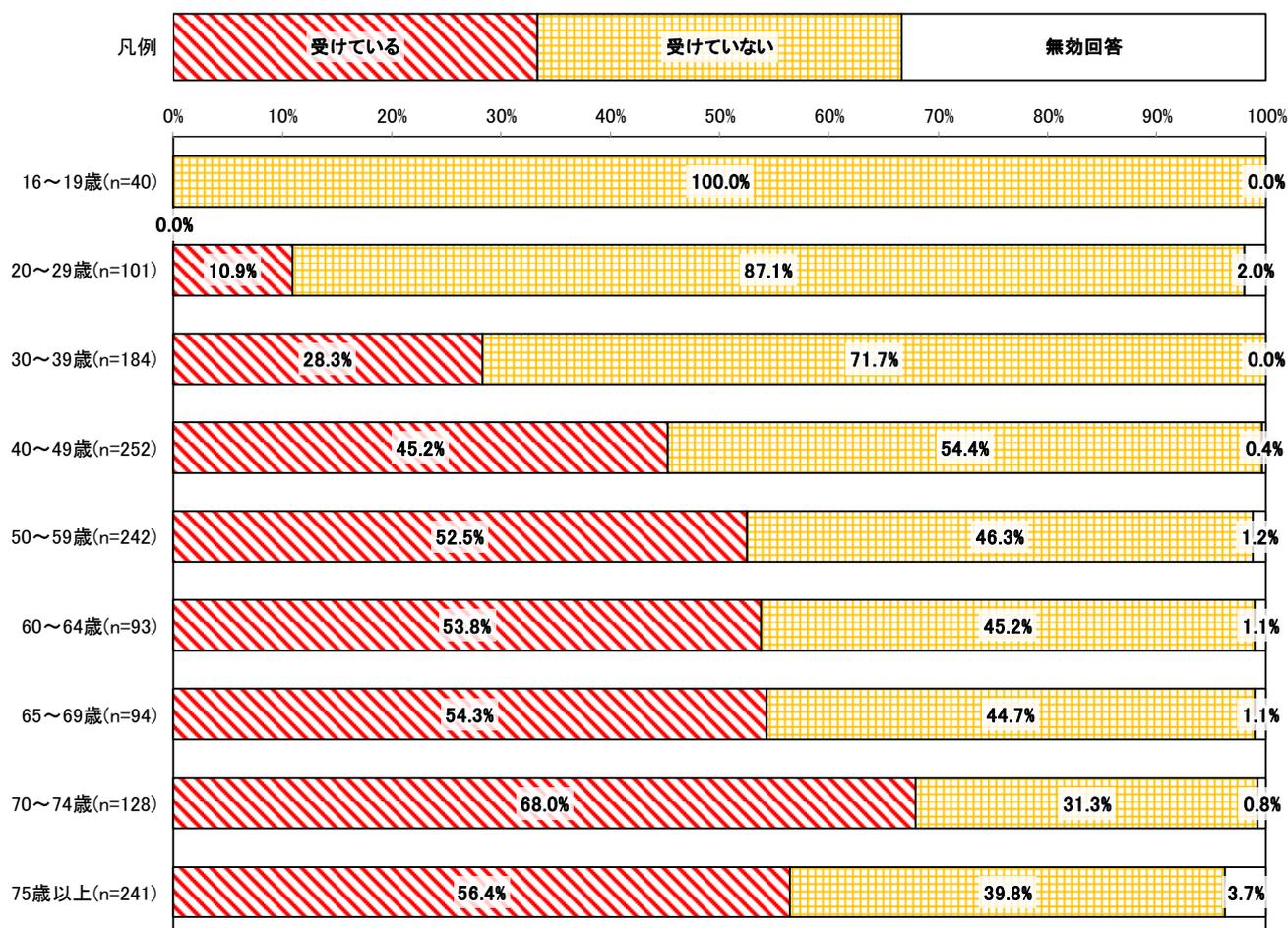
<性別>

○「受けている」は男性が42.5%、女性は48.4%でともに半数を下回っています。



<年齢層別>

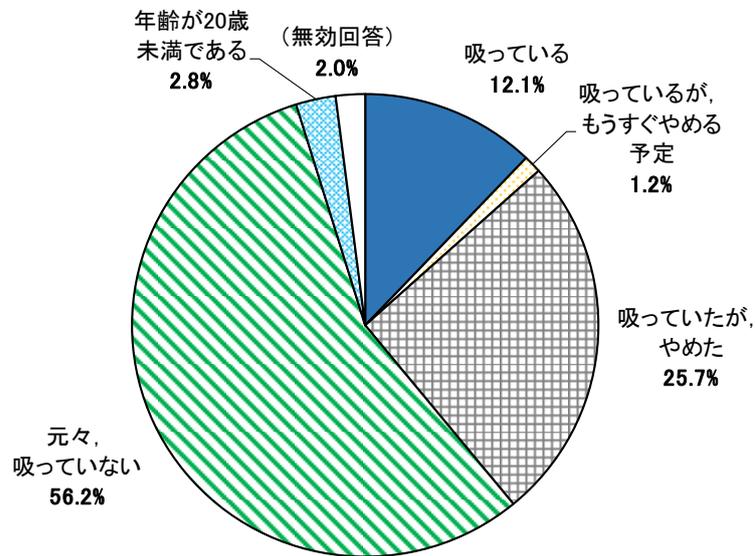
○「受けている」は、おおむね年齢が上がるにつれて高くなる傾向にあり、50歳以上ではいずれの年齢層でも半数を超えています。



問 32) あなたは普段、たばこ（紙巻きたばこ・加熱式たばこ、葉巻）を吸いますか。（ここでは、受動喫煙（他の方の喫煙によりたばこの煙を吸ってしまうこと）は含みません。）

<全体 (n=1378) >

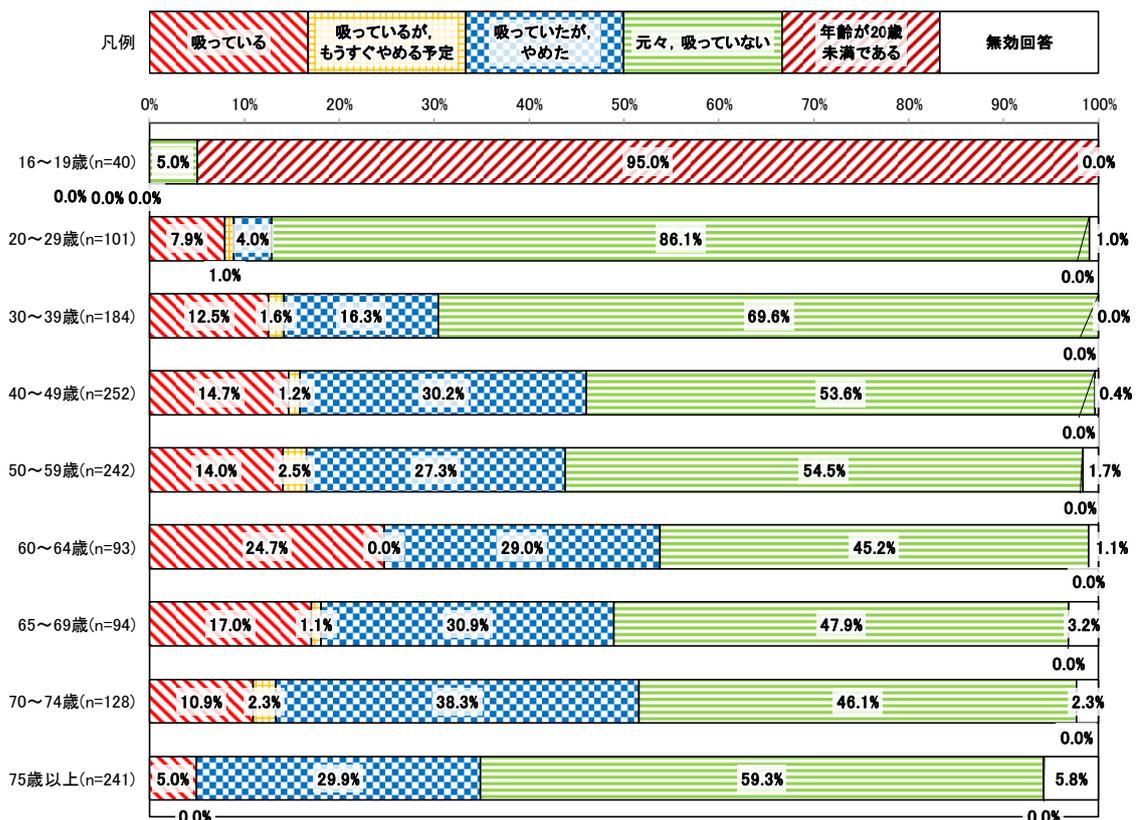
○「吸っている」と「吸っているが、もうすぐやめる予定」の合計が 13.3%、「元々、吸っていない」と「吸っていたが、やめた」の合計が 81.9%となっています。



<年齢層別>

○「吸っている」と「吸っているが、もうすぐやめる予定」の合計は、60～64歳が 24.7%で最も高く、次いで 65～69歳の 18.1%の順となっています。

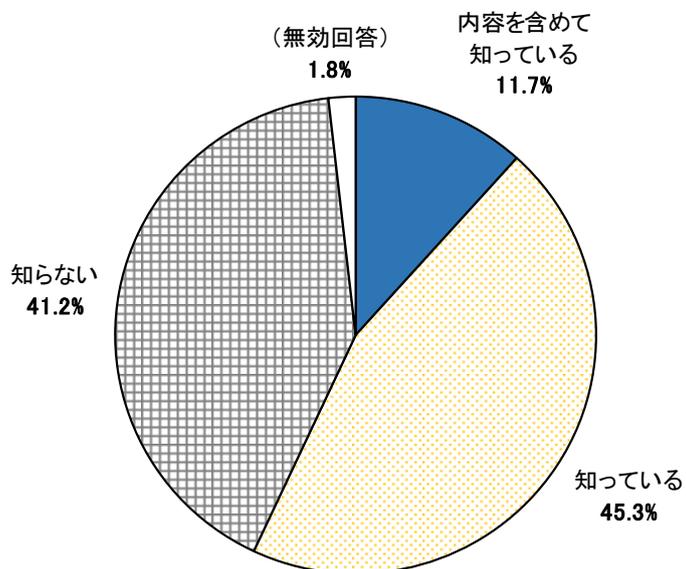
○20～29歳では「吸っていない」が 86.1%で、他の年齢層に比べて最も高くなっています。



問33) 調布市受動喫煙防止条例（平成31年3月公布，令和元年7月施行）を知っていますか。

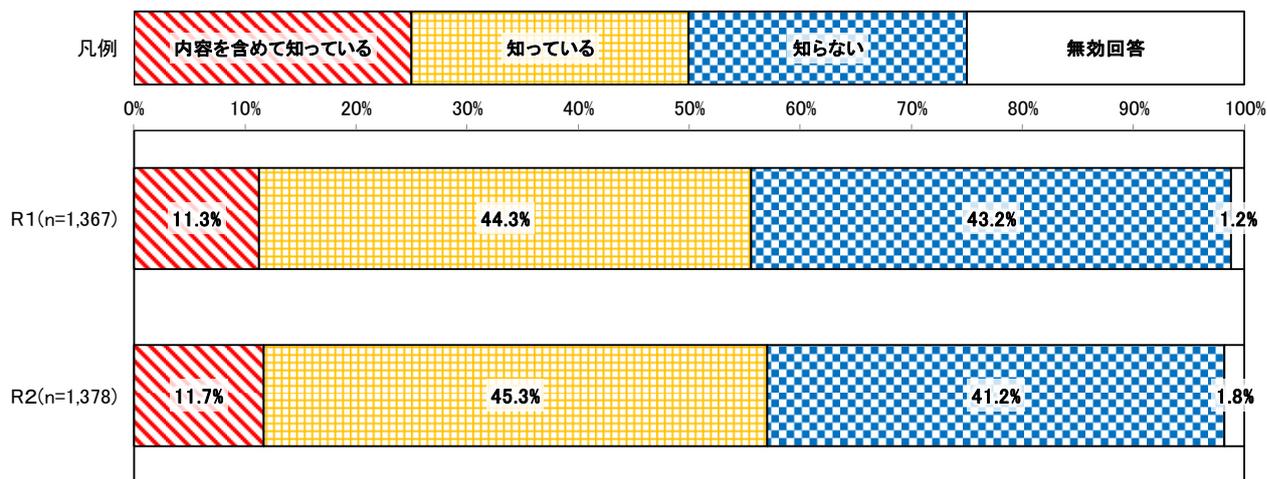
<全体 (n=1378) >

○「内容を含めて知っている」と「知っている」の合計が57.0%となっています。



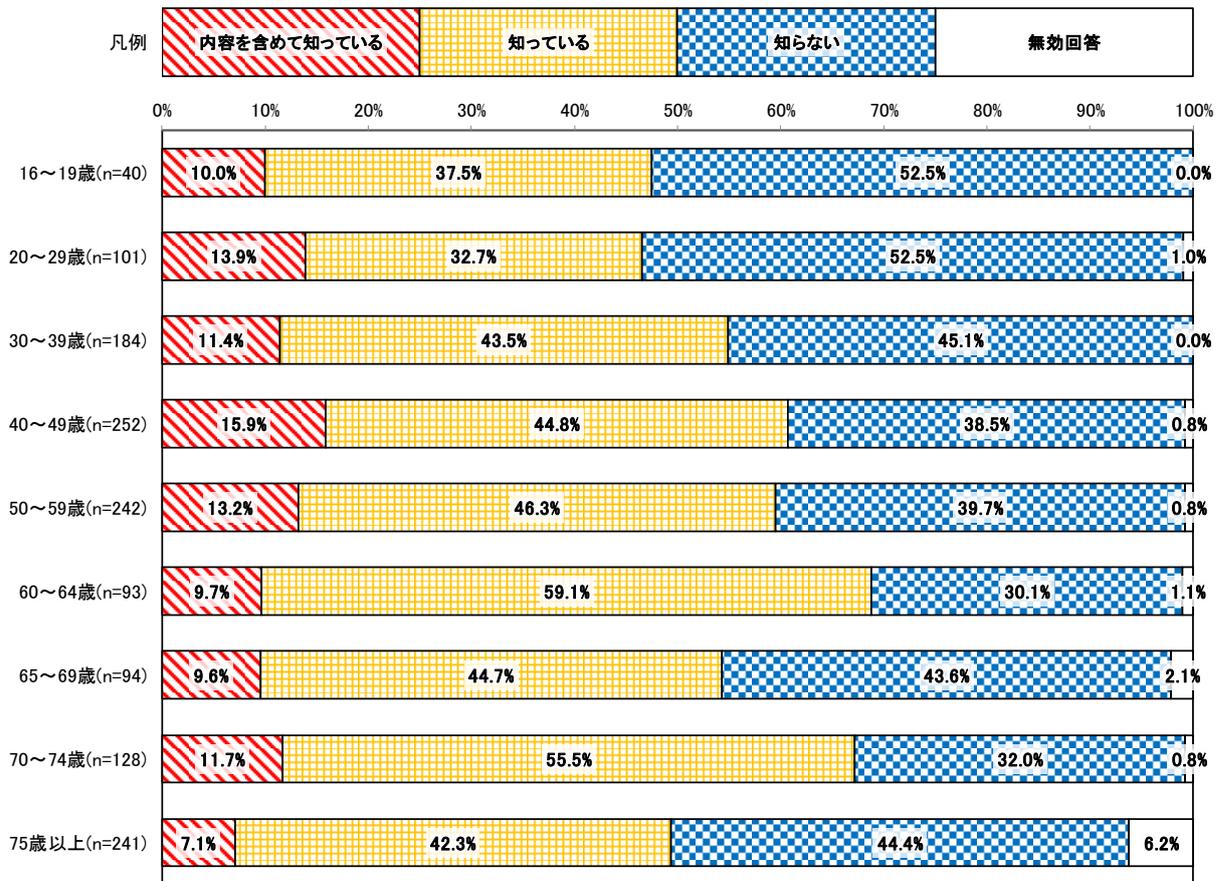
<経年比較>

○「内容を含めて知っている」と「知っている」の合計は，令和2年度は前年度（55.6%）に比べ1.4ポイント増加しています。



<年齢層別>

○「内容を含めて知っている」と「知っている」の合計は、60～64歳が68.8%で最も高く、次いで70～74歳の67.2%の順となっています。

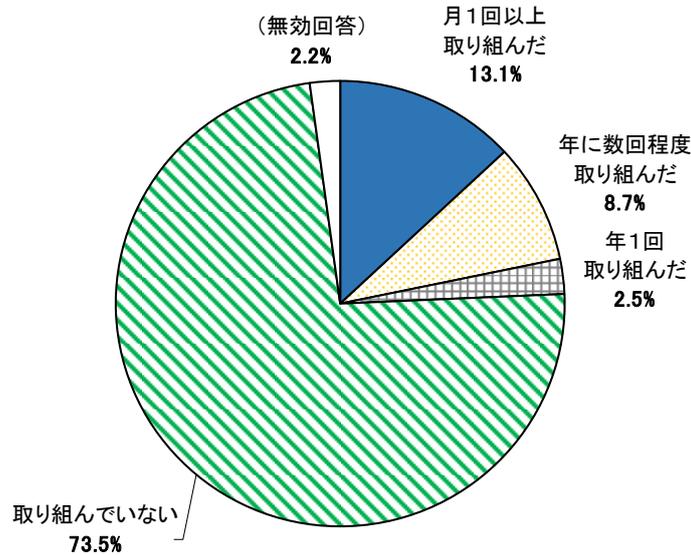


【生涯学習について】

問 34) あなたは、おおむね1年の間に、生涯学習に取り組んだことがありますか。

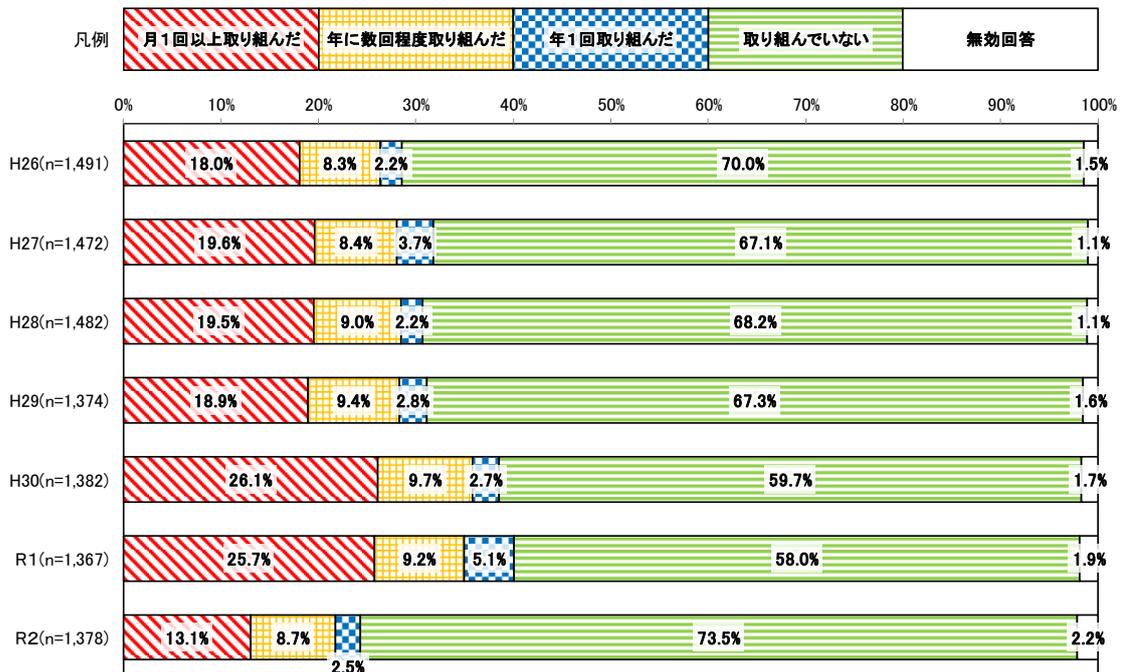
<全体 (n=1378) >

- 「月1回以上取り組んだ」が13.1%、「年に数回程度取り組んだ」が8.7%、「年1回取り組んだ」が2.5%であり、生涯学習に年1回以上取り組んだ人は合計で24.3%となっています。
- 一方、「取り組んでいない」は73.5%となっています。



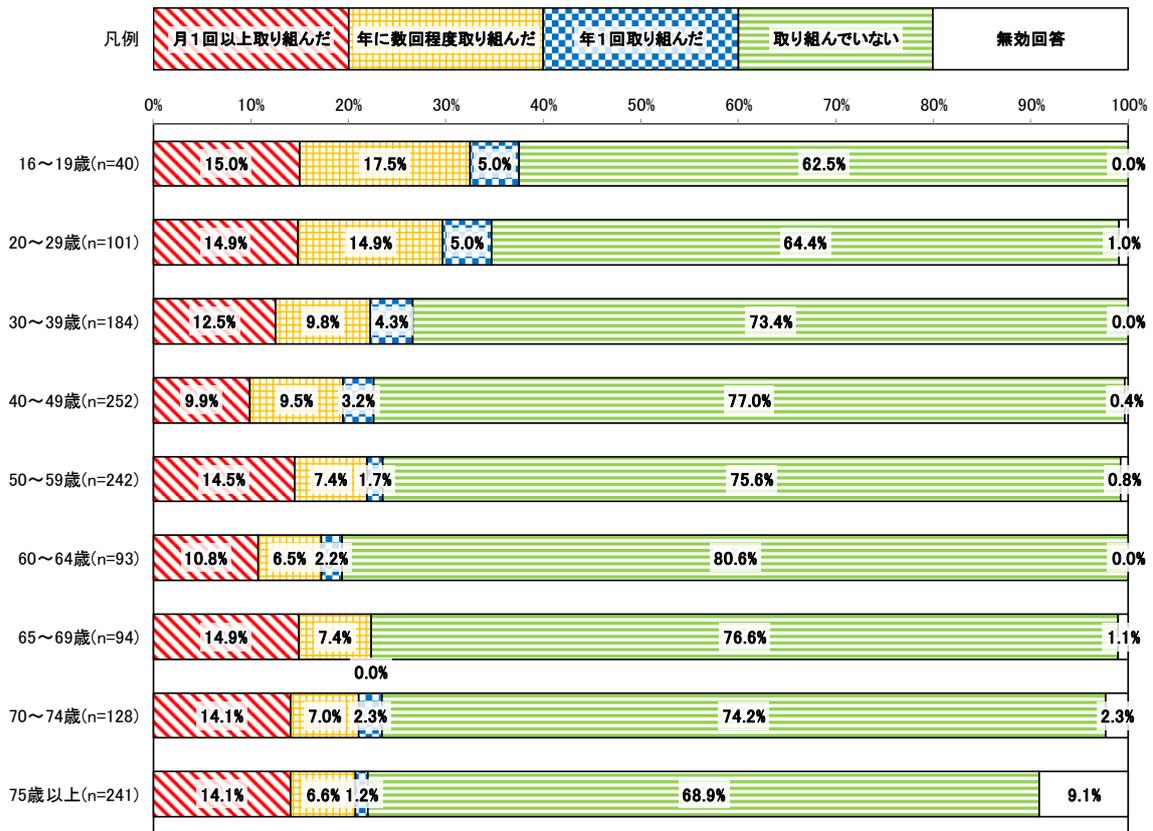
<経年比較>

- 「取り組んだ」の合計は、平成26年度以降おおむね増加傾向でしたが、令和2年度は前年度(40.0%)に比べ15.7ポイント減少しています。
- 一方、「取り組んでいない」(73.5%)は、平成26年度以降おおむね減少傾向でしたが、令和2年度は前年度(58.0%)に比べ15.5ポイント増加しています。



<年齢層別>

○いずれの年齢層でも生涯学習に「年1回以上取り組んだ」は40%を下回っています。



<自由記述>主な意見を原文のまま抜粋

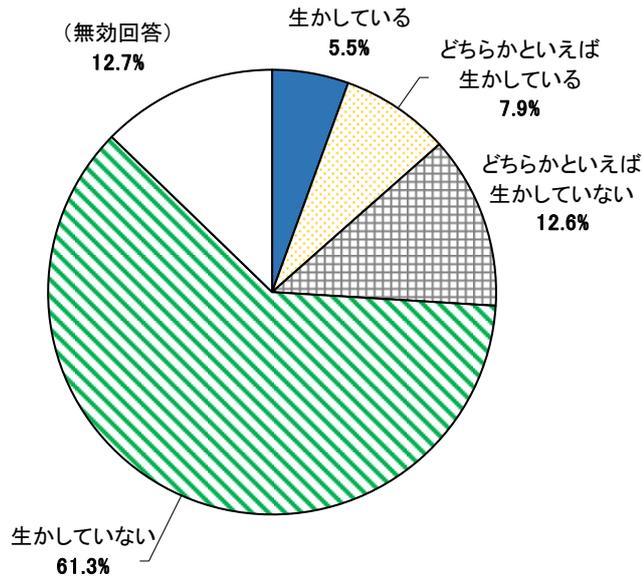
【図表 生涯学習に関する施策についてのご意見・ご提案】(33件)

- ・幅広い分野で知らない事を知る機会が欲しい
- ・無料で誰でもが勉強できるような機会が市内にあると様々な年齢の人が集まれると思う。

問 35) あなたは、生涯学習を通じて身につけた知識・技能を、まちづくりや仲間づくりなど自分以外のために生かしていますか。

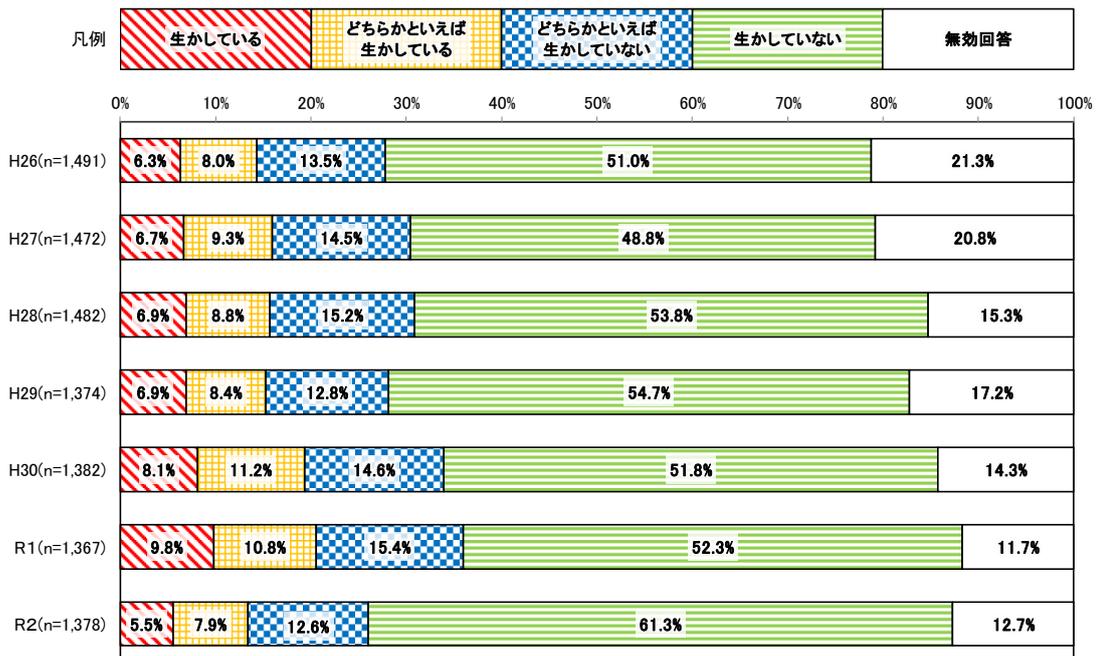
<全体 (n=1378) >

- 「生かしている」は 5.5%、「どちらかといえば生かしている」は 7.9%であり、合計で 13.4%となっています。
- 一方、「生かしていない」は 61.3%、「どちらかといえば生かしていない」は 12.6%であり、合計で 73.9%を占めています。



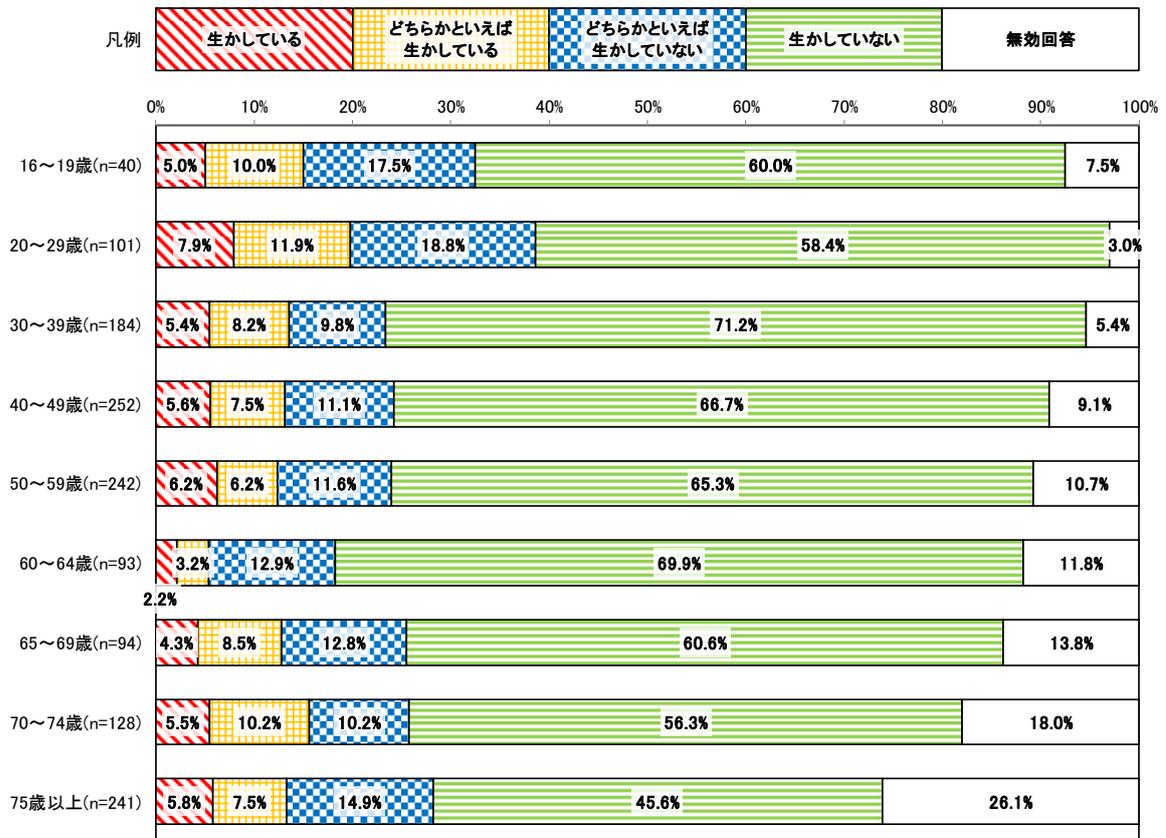
<経年比較>

- 「生かしている」と「どちらかといえば生かしている」の合計は、令和2年度は前年度（20.6%）に比べて 7.2ポイント減少しています。



<年齢層別>

○「生かしている」と「どちらかといえば生かしている」の合計は、60～64歳（5.4%）で他の年齢層に比べて低くなっています。

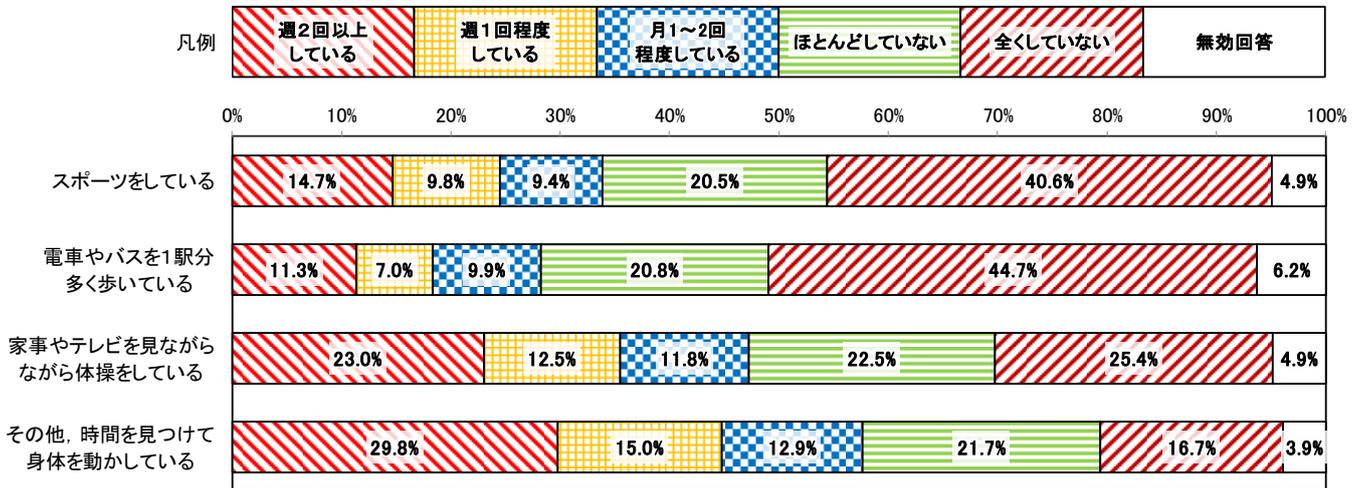


【スポーツ振興について】

問 36) あなたは、健康・体力づくりのために体を動かしていますか。

<全体 (n=1378) >

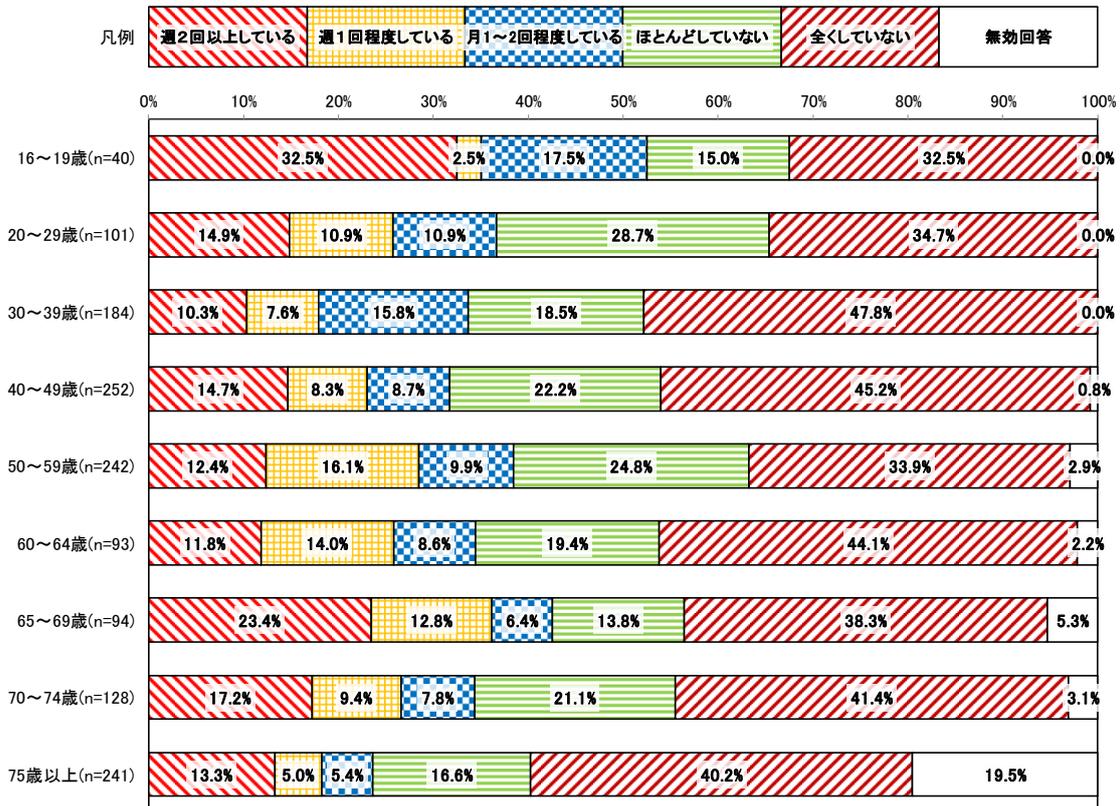
○「週2回以上している」と「週1回程度している」の合計は、「その他、時間を見つけて身体を動かしている」が44.8%と最も高く、次いで「家事やテレビを見ながら、ながら体操をしている」の35.5%の順となっています。



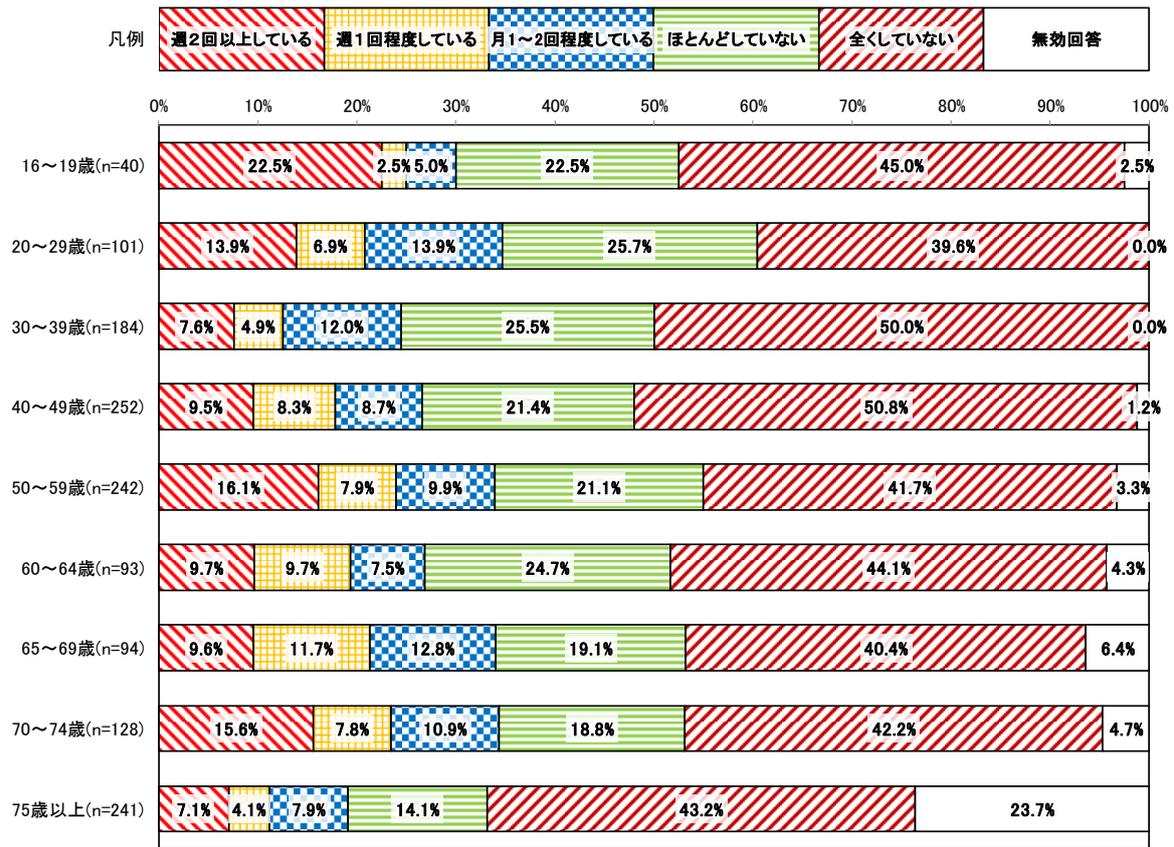
<年齢層別>

○「エ その他、時間を見つけて身体を動かしている」では、おおむね年齢を重ねるごとに「週2回以上している」と「週1回程度している」の合計が高くなっています。

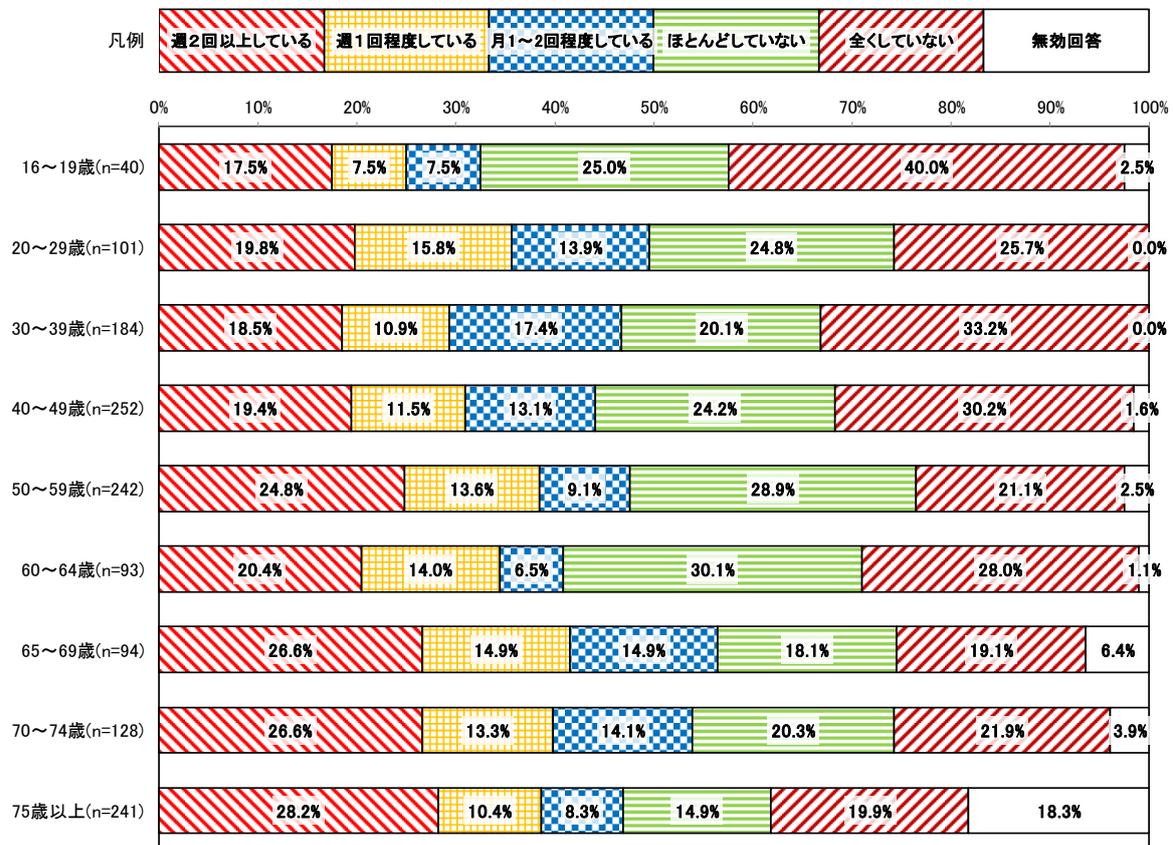
ア スポーツをしている



イ 電車やバスを1駅分多く歩いている

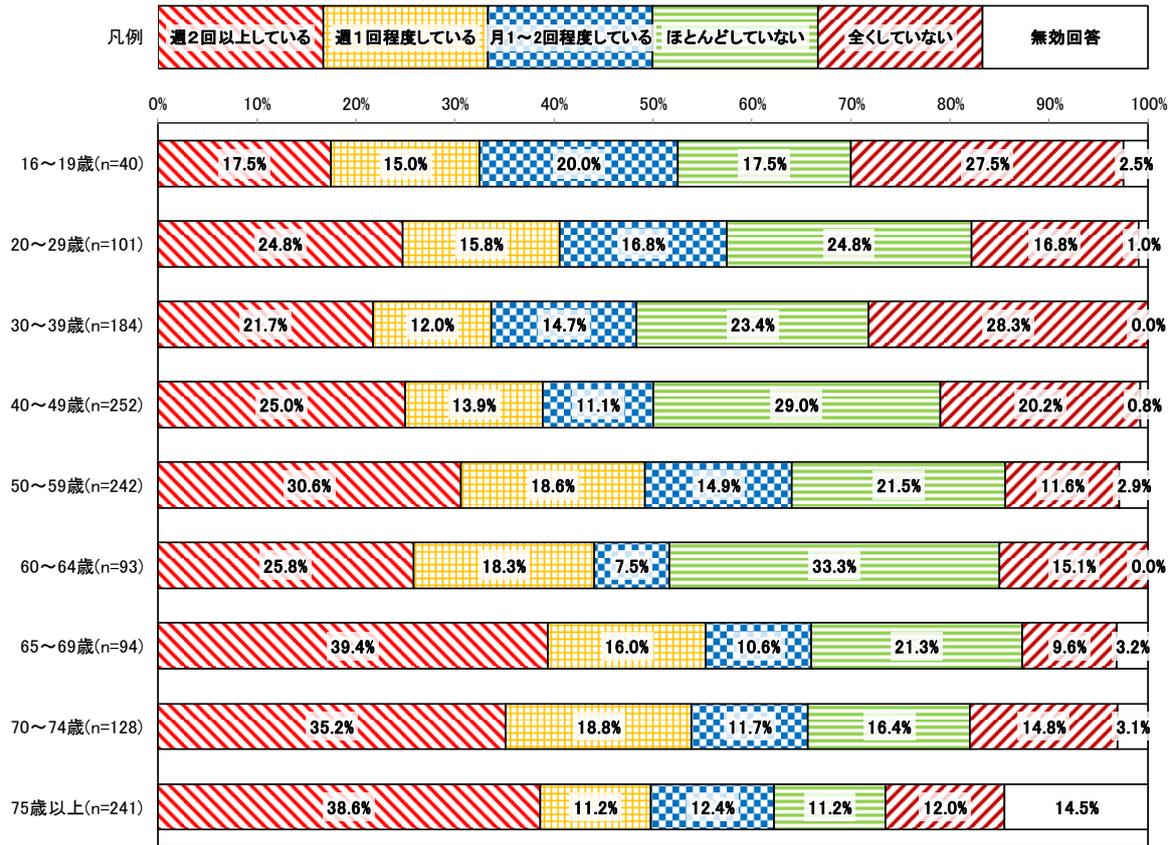


ウ 家事やテレビを見ながら、ながら体操をしている



第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

エ その他、時間を見つけて身体を動かしている



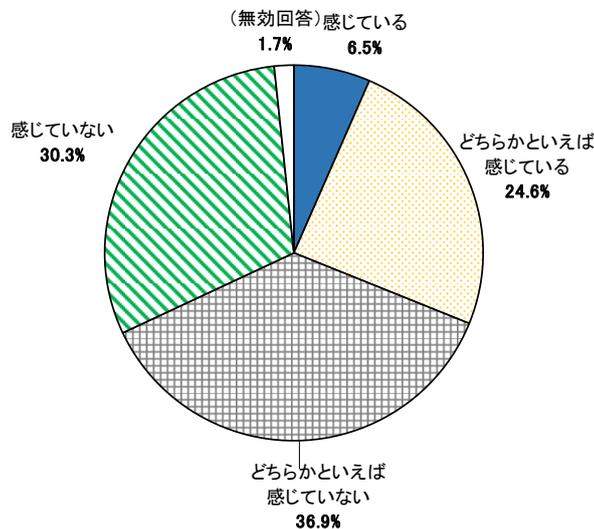
【地域コミュニティについて】

問 37) あなたは、地域の一員としての意識や地域の連帯感を感じていますか。

<全体 (n=1378) >

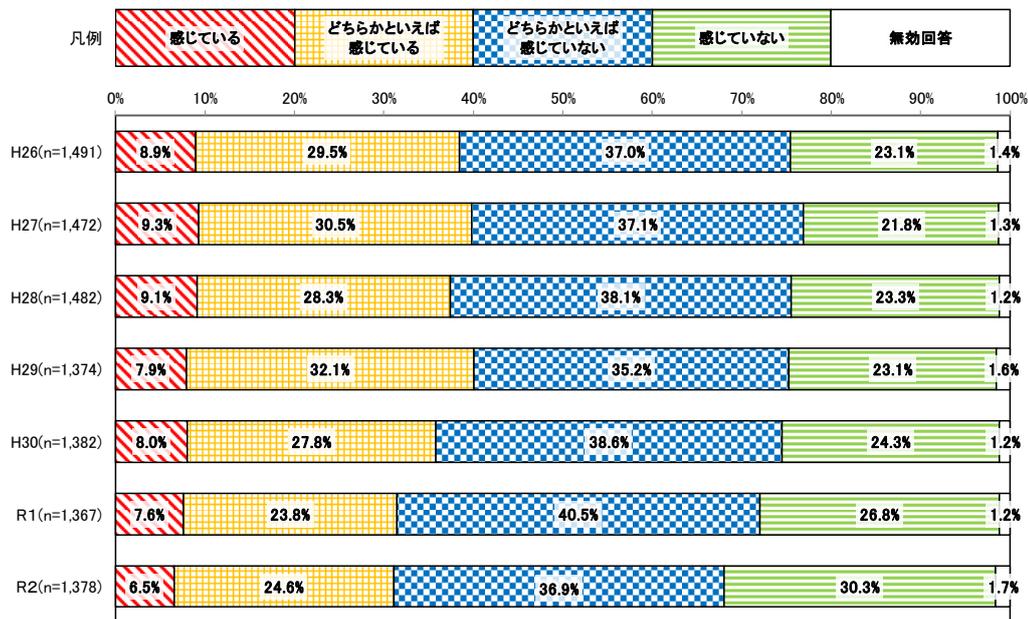
○地域の一員としての意識や地域の連帯感を「感じている」は 6.5%、「どちらかといえば感じている」は 24.6%であり、合計で 31.1%となっています。

○一方、「どちらかといえば感じていない」は 36.9%、「感じていない」は 30.3%であり、合計で 67.2%となっています。



<経年比較>

○地域の一人としての意識や地域の連帯感を「感じている」と「どちらかといえば感じている」の合計（31.1%）は、令和元年度（31.4%）と比べると0.3ポイント減少しています。

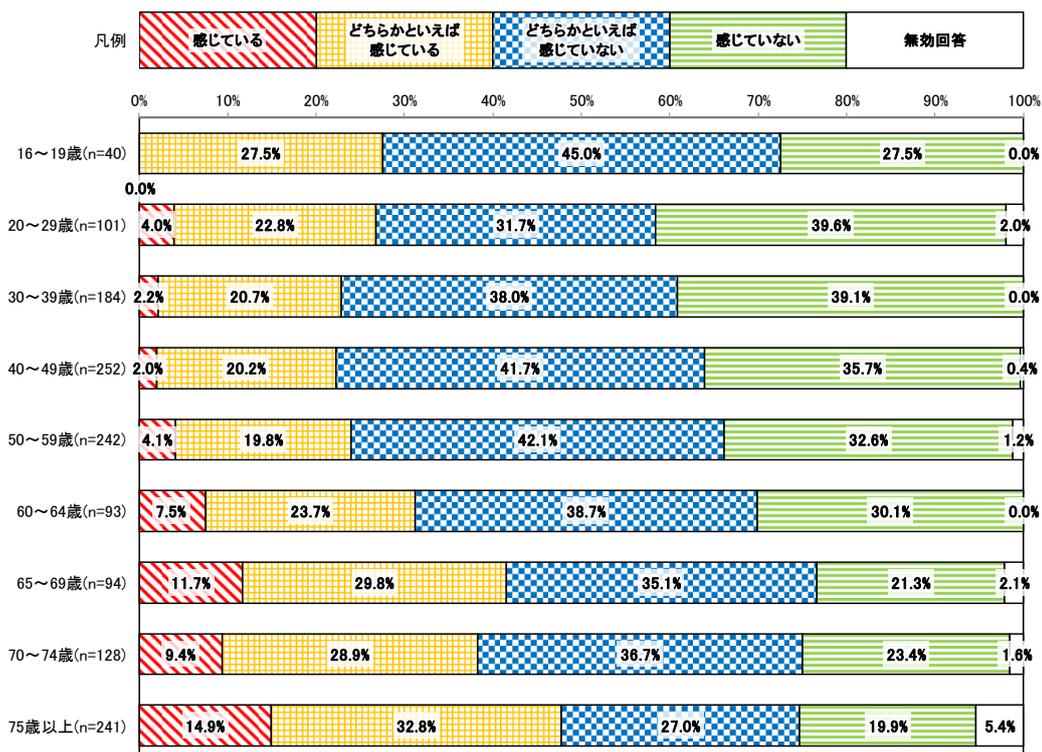


<年齢層別>

○「感じている」と「どちらかといえば感じている」の合計は、おおむね年齢層が上がるにつれて高くなる傾向にあります。

○特に75歳以上では、「感じている」と「どちらかといえば感じている」の合計が47.7%となっています。

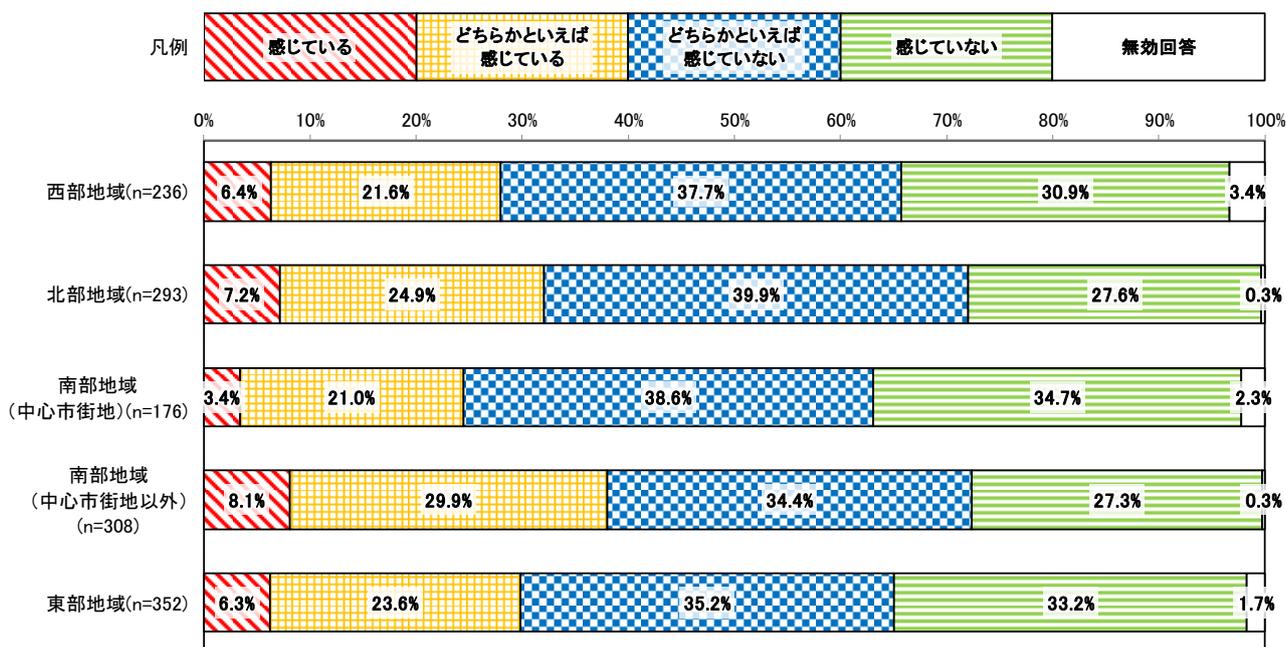
○一方、74歳以下では、「どちらかといえば感じていない」と「感じていない」の合計が50%を超えており、特に59歳以下では70%台となっています。



第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

<地域別>

○いずれの地域でも「どちらかといえば感じていない」と「感じていない」の合計が60%を超えています。



<自由記述>主な意見を原文のまま抜粋

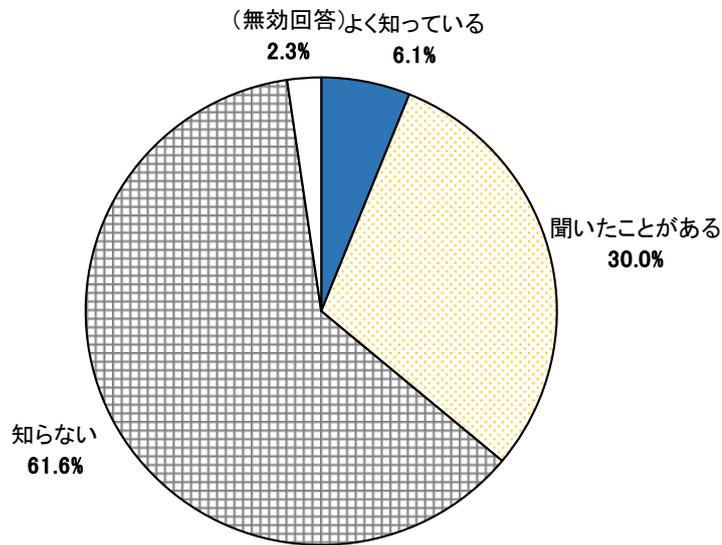
【図表 地域コミュニティに関する施策についてのご意見・ご提案】(40件)

- ・若い人達の参加をうながして欲しい(自治の意識がないように思う)。
- ・地域コミュニティと関わる機会がない。

問38) あなたは、「地区協議会※」を知っていますか。

<全体 (n=1378) >

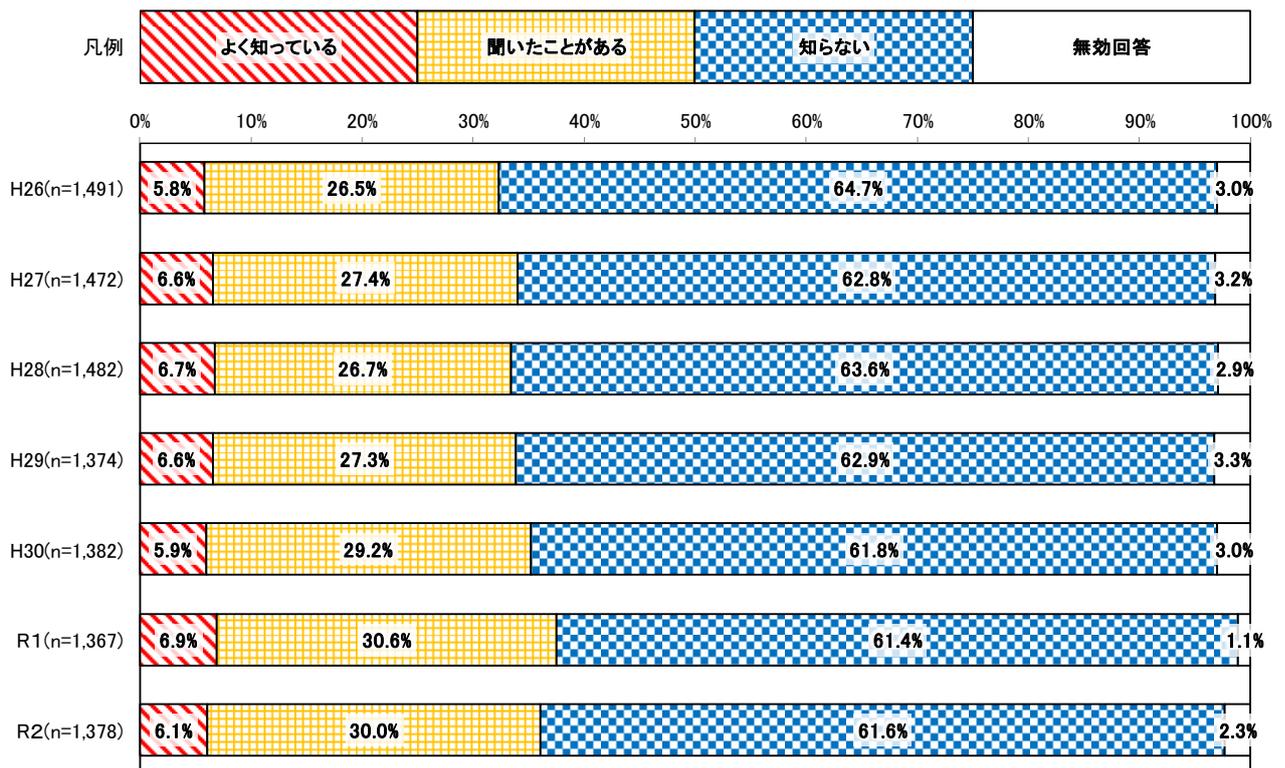
○「よく知っている」が6.1%、「聞いたことがある」が30.0%、合計で36.1%となっています。



※ 地区協議会とは、自治会をはじめ地域で活動する多様な団体や個人を結ぶ地域主体ネットワーク組織で、地域の情報共有や防災訓練等のまちづくり活動における連携・協力などを行っています。市内に20校区ある小学校区を単位として、現在17地区で設立されています。

<経年比較>

○「良く知っている」と「聞いたことがある」の合計は、令和元年度までおおむね増加傾向にありましたが、令和2年度は令和元年度(37.5%)と比べて1.4ポイント減少しています。

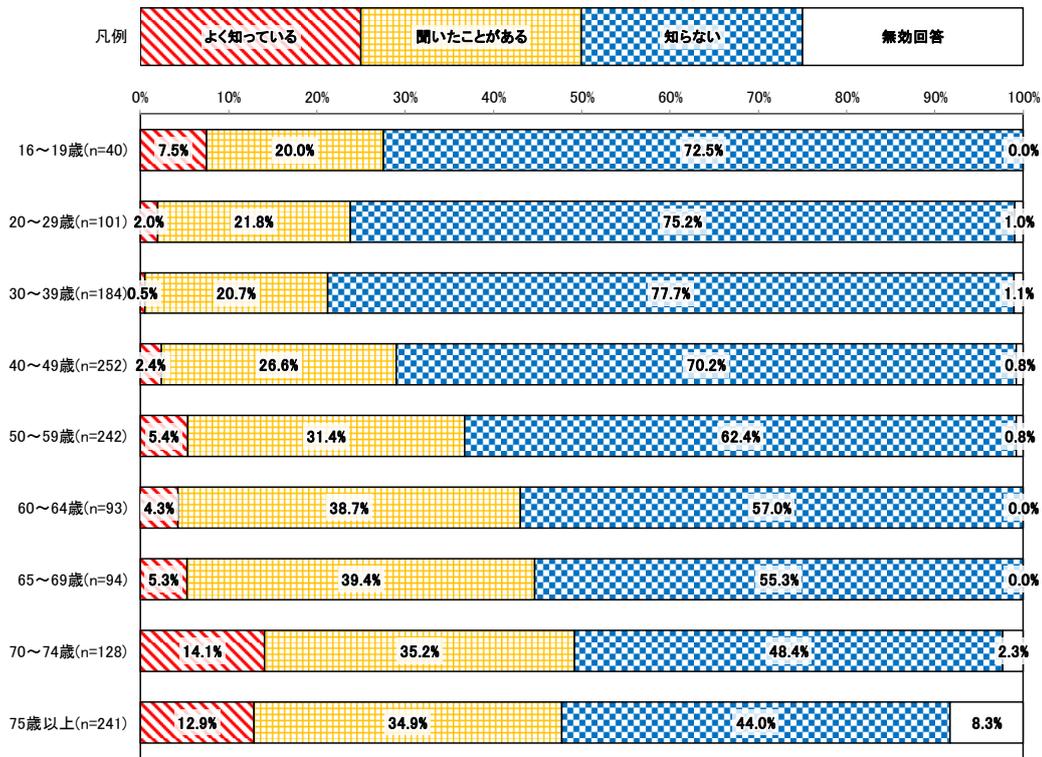


第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

<年齢層別>

○「よく知っている」と「聞いたことがある」の合計は、年齢層が上がるにつれておおむね増加傾向にあります。

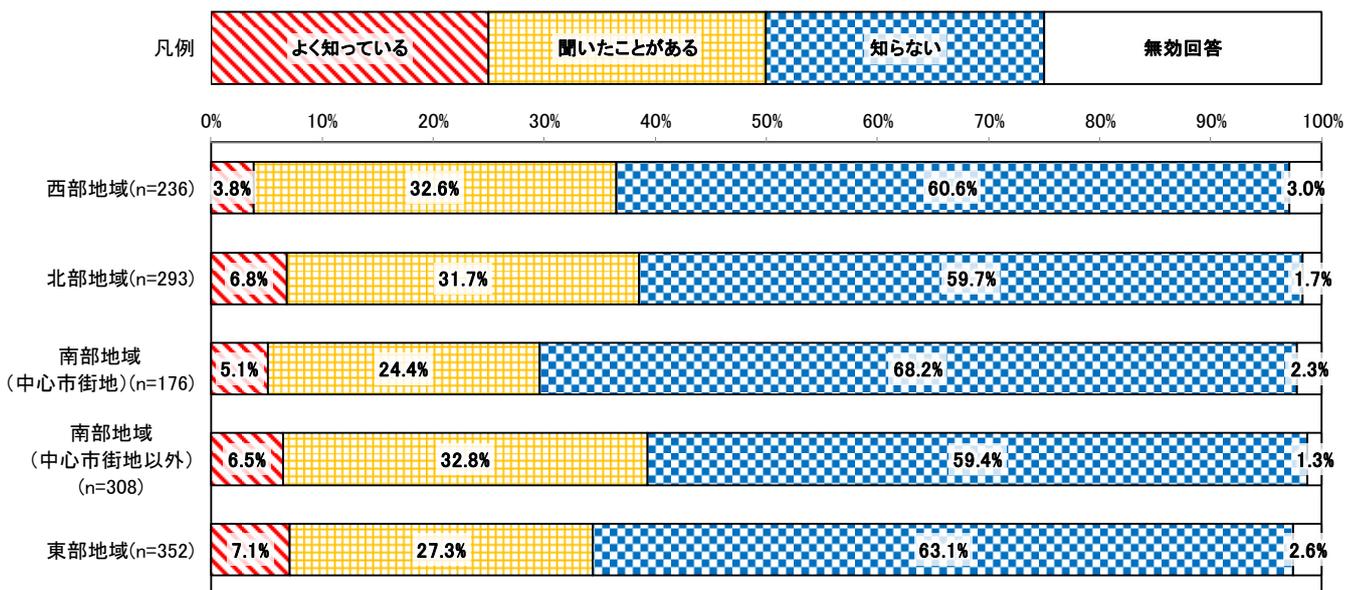
○69歳以下の年齢層では、いずれも「知らない」が50%を超えています。



<地域別>

○「よく知っている」と「聞いたことがある」の合計は、南部地域（中心市街地以外）が39.3%で最も高くなっています。

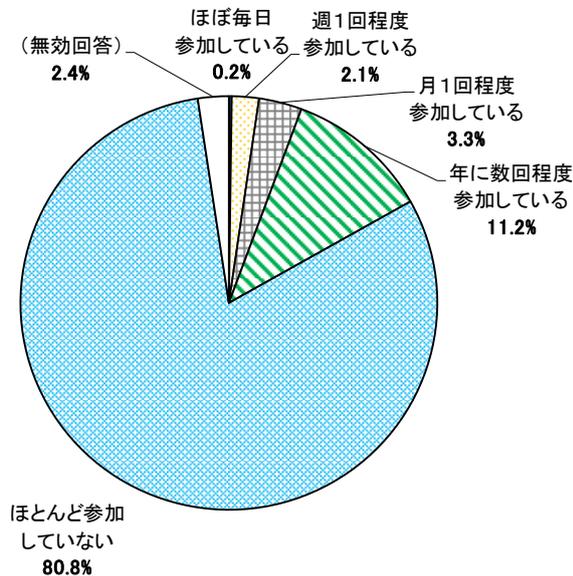
○いずれの地域でも、「知らない」が50%を超えています。



問 39) あなたは、おおむね1年の間に、地域の活動やイベントに参加しましたか。

<全体 (n=1378) >

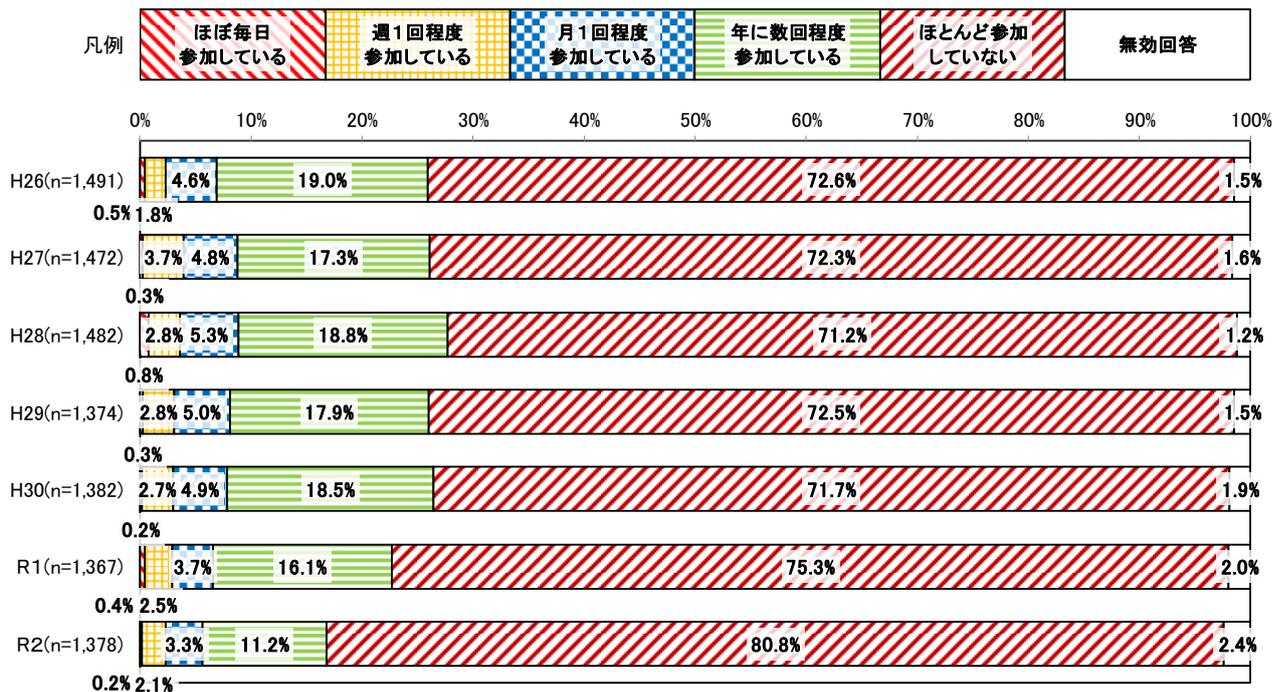
○「ほぼ毎日参加している」、「週1回程度参加している」、「月1回程度参加している」、「年に数回程度参加している」の合計が16.8%となっています。



<経年比較>

○「ほぼ毎日参加している」、「週1回程度参加している」、「月1回程度参加している」、「年に数回程度参加している」の合計は平成28年度以降、減少傾向で推移しています。

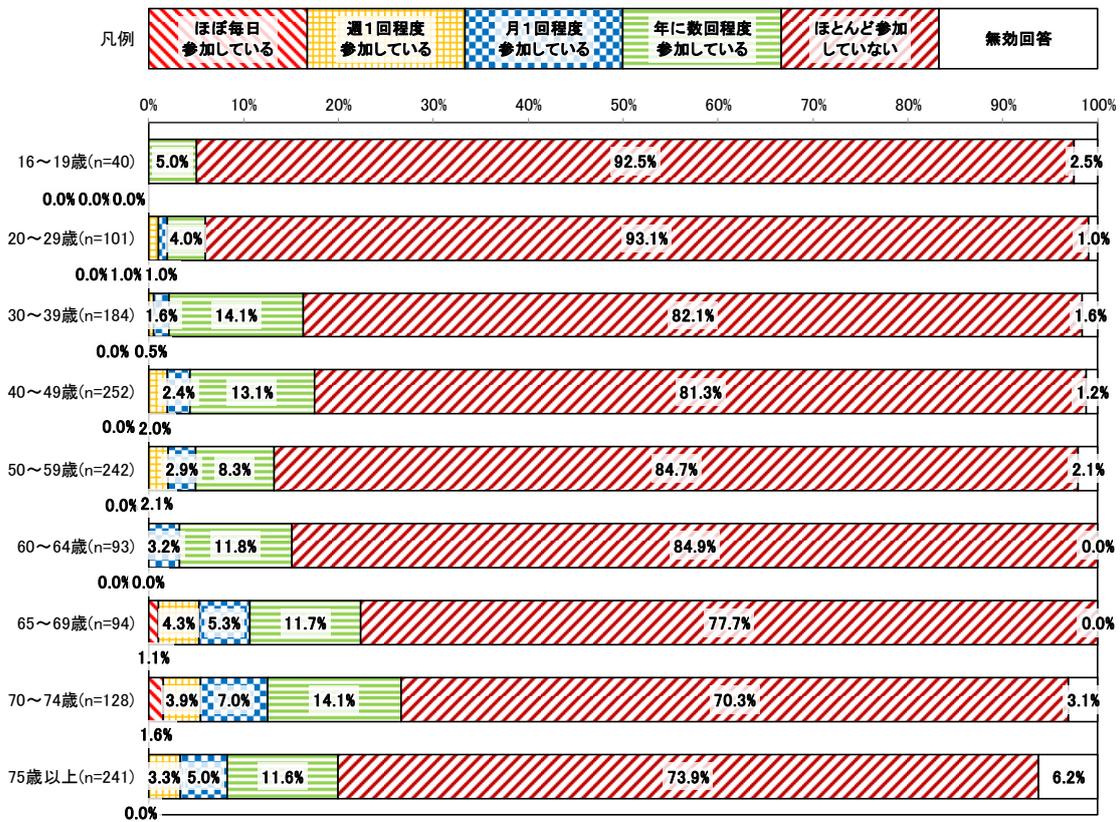
○「ほとんど参加していない」は、平成26年度以降最も高く（80.8%）なっています。



第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

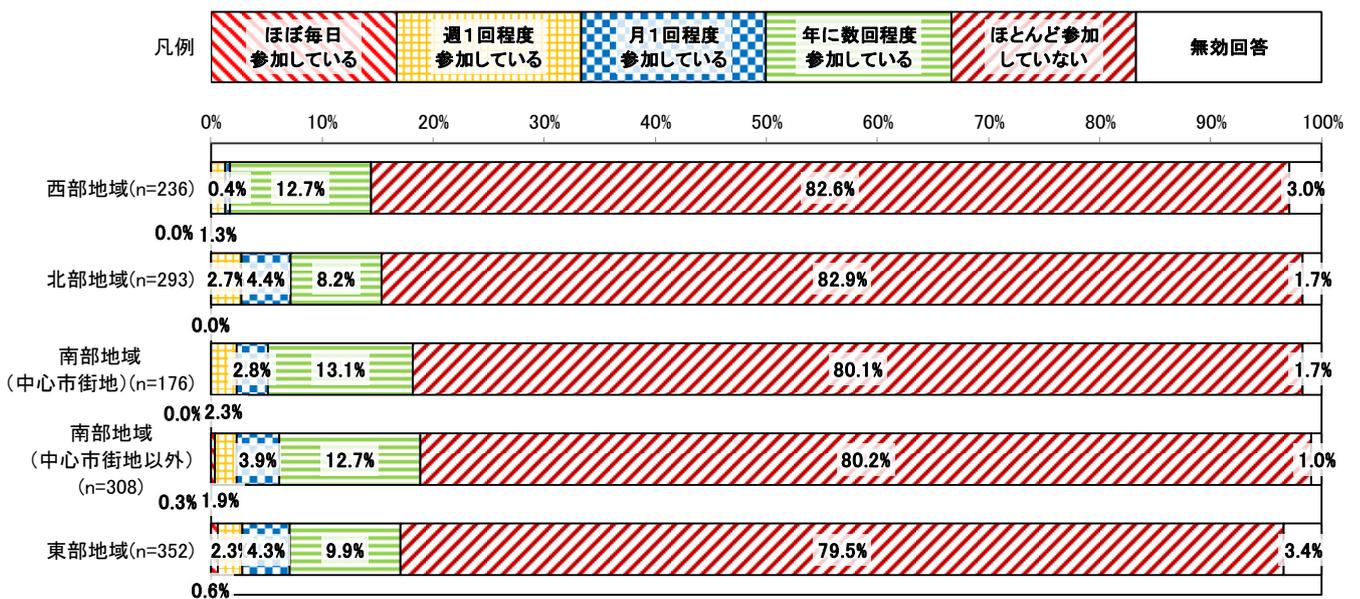
<年齢層別>

○「ほぼ毎日参加している」、「週1回程度参加している」、「月1回程度参加している」、「年に数回程度参加している」の合計は、70～74歳が26.6%で最も高く、次いで65～69歳の22.4%の順となっています。



<地域別>

○いずれの地域も「ほぼ毎日参加している」、「週1回程度参加している」、「月1回程度参加している」、「年に数回程度参加している」の合計が、10%台となっています。

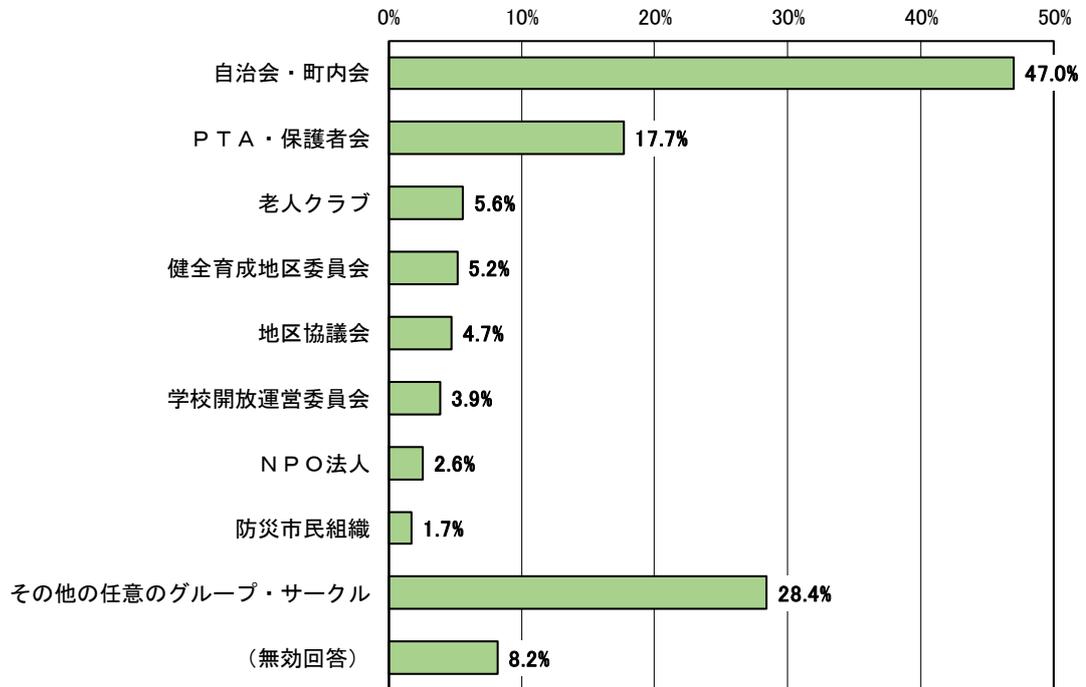


問 39-1) 参加した団体, 活動, 場所について, あてはまるものに○をつけてください。

団体

<全体 (n=232) >

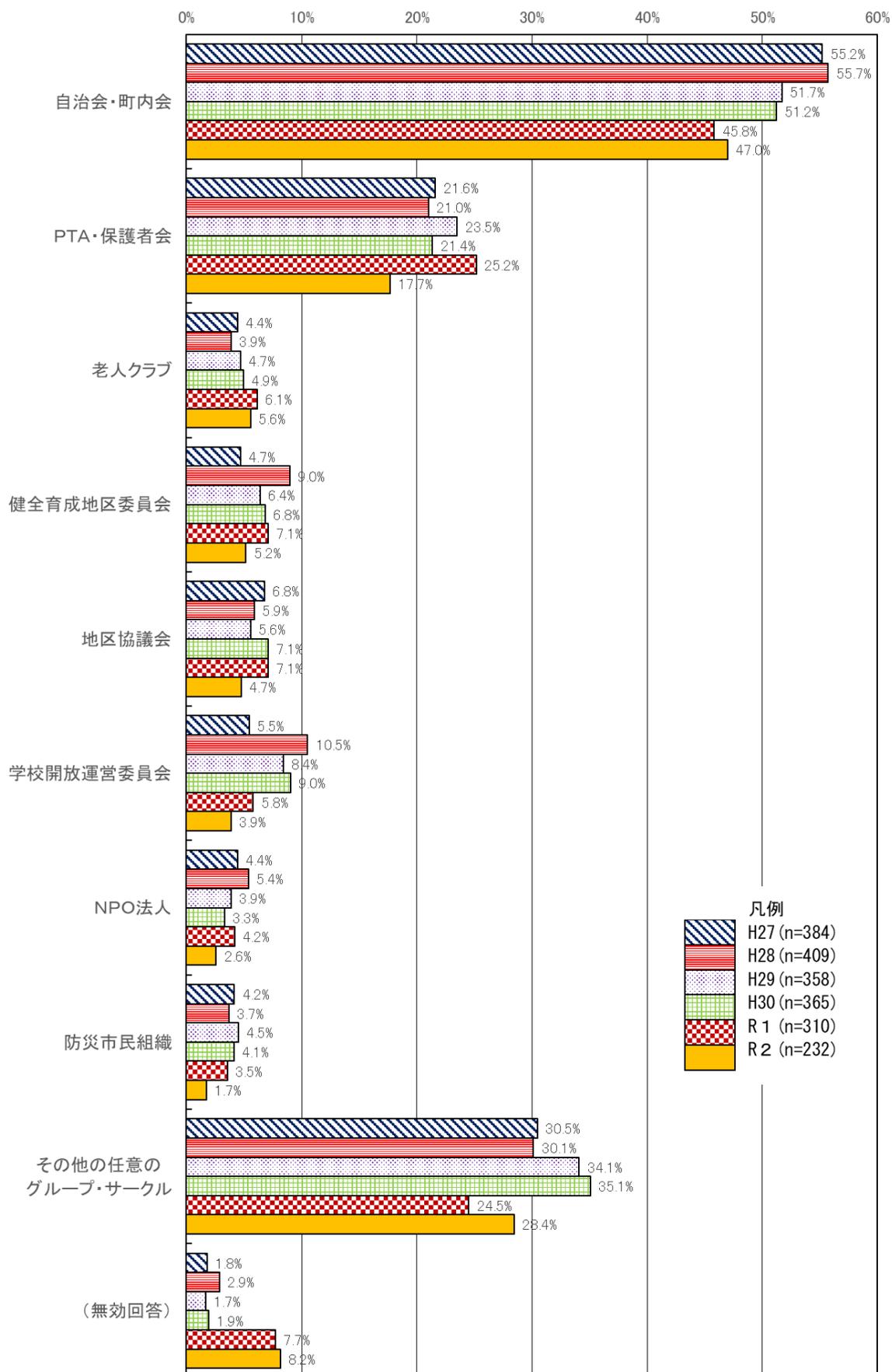
○「自治会・町内会」が47.0%で最も高く, 次いで「PTA・保護者会」の17.7%の順となっています。



第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

<経年比較>

○「自治会・町内会」は、平成28年度の55.7%を境に減少傾向に転じていましたが令和2年度では前年度(45.8%)と比べ1.2ポイント増加しています。また、「PTA・保護者会」は、前年度(25.2%)と比べて7.5ポイント減少しています。



<年齢階層別>

○16～29歳，50歳以上では「自治会・町内会」，30～49歳では「PTA・保護者会」が最も高くなっています。

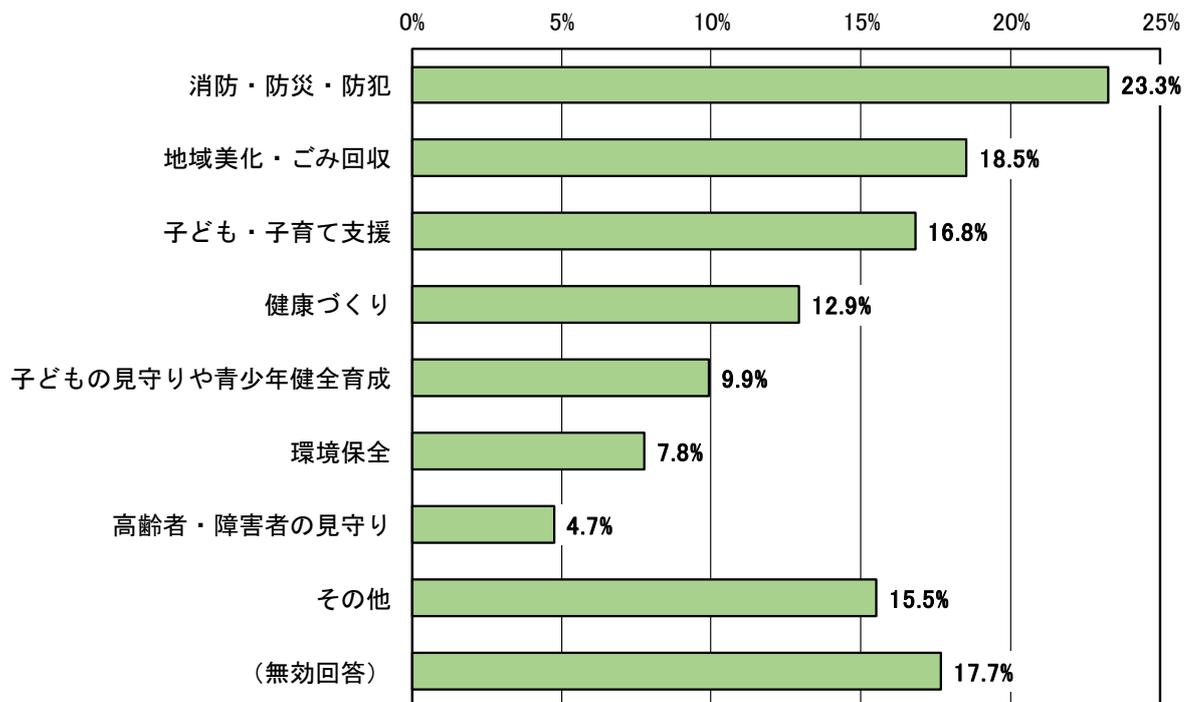
| 選択肢 | 合計 | 16～19歳 | 20～29歳 | 30～39歳 | 40～49歳 | 50～59歳 | 60～64歳 | 65～69歳 | 70～74歳 | 75歳以上 |
|------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 全体 | 232 | 2 | 6 | 30 | 44 | 32 | 14 | 21 | 34 | 48 |
| | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
| 自治会・町内会 | 109 | 2 | 3 | 8 | 14 | 10 | 11 | 14 | 20 | 26 |
| | 47.0% | 100.0% | 50.0% | 26.7% | 31.8% | 31.3% | 78.6% | 66.7% | 58.8% | 54.2% |
| PTA・保護者会 | 41 | 0 | 0 | 9 | 25 | 5 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| | 17.7% | 0.0% | 0.0% | 30.0% | 56.8% | 15.6% | 7.1% | 0.0% | 0.0% | 2.1% |
| 老人クラブ | 13 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 10 |
| | 5.6% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 2.3% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 5.9% | 20.8% |
| 健全育成地区委員会 | 12 | 0 | 0 | 1 | 4 | 3 | 1 | 0 | 1 | 2 |
| | 5.2% | 0.0% | 0.0% | 3.3% | 9.1% | 9.4% | 7.1% | 0.0% | 2.9% | 4.2% |
| 地区協議会 | 11 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | 0 | 0 | 3 | 5 |
| | 4.7% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 2.3% | 6.3% | 0.0% | 0.0% | 8.8% | 10.4% |
| 学校開放運営委員会 | 9 | 0 | 0 | 1 | 2 | 4 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| | 3.9% | 0.0% | 0.0% | 3.3% | 4.5% | 12.5% | 0.0% | 0.0% | 2.9% | 2.1% |
| NPO法人 | 6 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 2 |
| | 2.6% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 2.3% | 3.1% | 0.0% | 4.8% | 2.9% | 4.2% |
| 防災市民組織 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 3 |
| | 1.7% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 2.9% | 6.3% |
| その他の任意のグループ・サークル | 66 | 0 | 1 | 10 | 10 | 12 | 3 | 5 | 10 | 15 |
| | 28.4% | 0.0% | 16.7% | 33.3% | 22.7% | 37.5% | 21.4% | 23.8% | 29.4% | 31.3% |
| (無効回答) | 19 | 0 | 2 | 5 | 2 | 4 | 0 | 1 | 2 | 3 |
| | 8.2% | 0.0% | 33.3% | 16.7% | 4.5% | 12.5% | 0.0% | 4.8% | 5.9% | 6.3% |

回答割合が最も高い： 0.0% (上段：実数(人)，下段：構成比)
 回答割合が2番目に高い： 0.0%

内容

<全体 (n=232) >

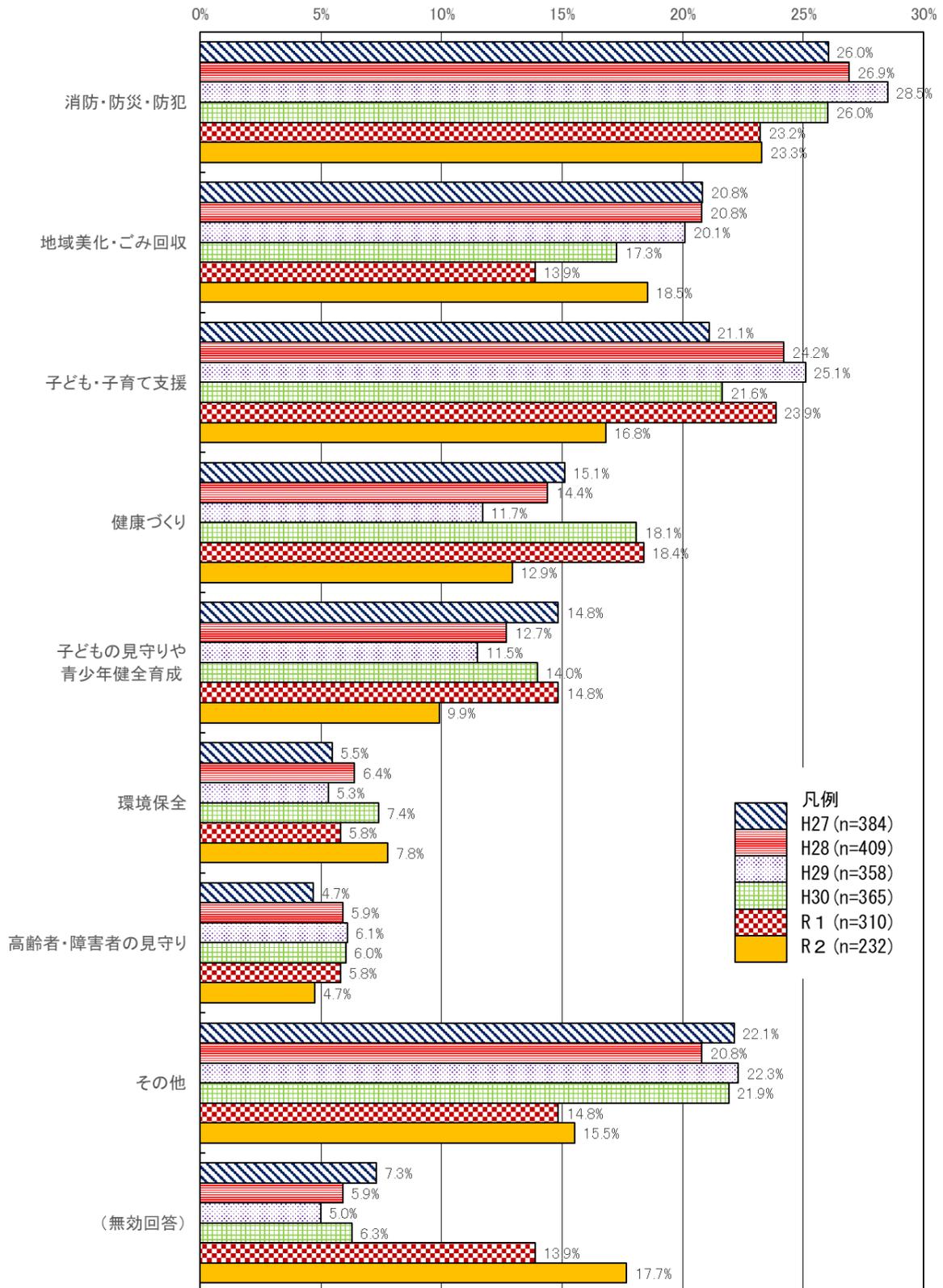
○「消防・防災・防犯」が23.3%で最も高く，次いで「地域美化・ごみ回収」の18.5%，「子ども・子育て支援」の16.8%の順となっています。



第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

<経年比較>

○「消防・防災・防犯」は、平成 29 年度を境に減少傾向で推移しています。また、「地域美化・ごみ回収」は、平成 26 年度の 21.7%から一貫して減少傾向で推移していましたが、令和 2 年度では 18.5%と前年度（13.9%）と比べ 4.6 ポイント増加しています



<年齢階層別>

○30～49歳では「子ども・子育て支援」が高くなっています。

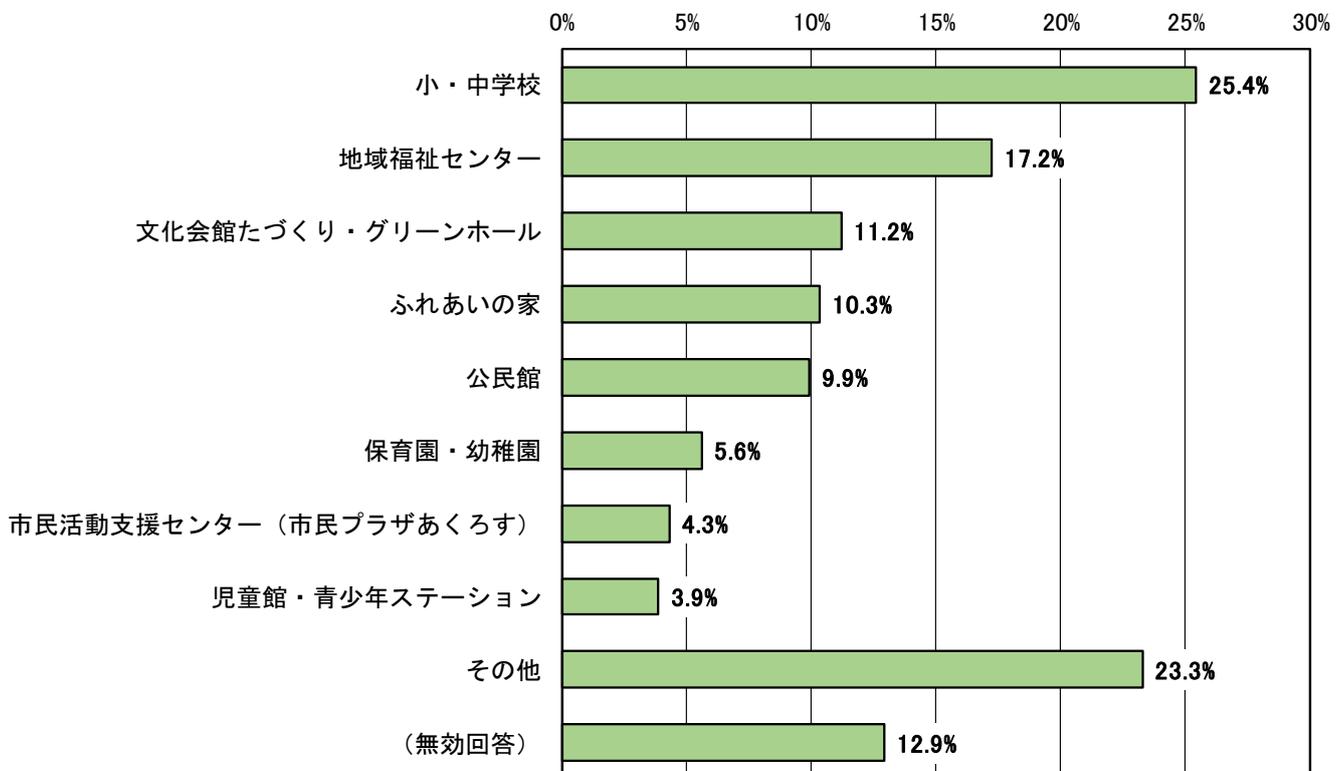
| 選択肢 | 合計 | 16～19歳 | 20～29歳 | 30～39歳 | 40～49歳 | 50～59歳 | 60～64歳 | 65～69歳 | 70～74歳 | 75歳以上 |
|-----------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 全体 | 232 | 2 | 6 | 30 | 44 | 32 | 14 | 21 | 34 | 48 |
| | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
| 消防・防災・防犯 | 54 | 1 | 2 | 0 | 6 | 8 | 6 | 3 | 13 | 14 |
| | 23.3% | 50.0% | 33.3% | 0.0% | 13.6% | 25.0% | 42.9% | 14.3% | 38.2% | 29.2% |
| 地域美化・ごみ回収 | 43 | 1 | 0 | 5 | 4 | 6 | 3 | 4 | 10 | 10 |
| | 18.5% | 50.0% | 0.0% | 16.7% | 9.1% | 18.8% | 21.4% | 19.0% | 29.4% | 20.8% |
| 子ども・子育て支援 | 39 | 0 | 1 | 10 | 18 | 6 | 1 | 2 | 1 | 0 |
| | 16.8% | 0.0% | 16.7% | 33.3% | 40.9% | 18.8% | 7.1% | 9.5% | 2.9% | 0.0% |
| 健康づくり | 30 | 0 | 0 | 2 | 3 | 2 | 2 | 2 | 6 | 13 |
| | 12.9% | 0.0% | 0.0% | 6.7% | 6.8% | 6.3% | 14.3% | 9.5% | 17.6% | 27.1% |
| 子どもの見守りや青少年健全育成 | 23 | 0 | 0 | 4 | 10 | 6 | 0 | 0 | 1 | 2 |
| | 9.9% | 0.0% | 0.0% | 13.3% | 22.7% | 18.8% | 0.0% | 0.0% | 2.9% | 4.2% |
| 環境保全 | 18 | 0 | 0 | 1 | 2 | 5 | 0 | 2 | 4 | 4 |
| | 7.8% | 0.0% | 0.0% | 3.3% | 4.5% | 15.6% | 0.0% | 9.5% | 11.8% | 8.3% |
| 高齢者・障害者の見守り | 11 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 3 | 5 |
| | 4.7% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 9.4% | 0.0% | 0.0% | 8.8% | 10.4% |
| その他 | 36 | 0 | 2 | 2 | 5 | 6 | 3 | 6 | 5 | 7 |
| | 15.5% | 0.0% | 33.3% | 6.7% | 11.4% | 18.8% | 21.4% | 28.6% | 14.7% | 14.6% |
| (無効回答) | 41 | 0 | 2 | 9 | 4 | 8 | 1 | 4 | 4 | 9 |
| | 17.7% | 0.0% | 33.3% | 30.0% | 9.1% | 25.0% | 7.1% | 19.0% | 11.8% | 18.8% |

回答割合が最も高い： 0.0% (上段：実数(人)，下段：構成比)
 回答割合が2番目に高い： 0.0%

活動場所

<全体 (n=310) >

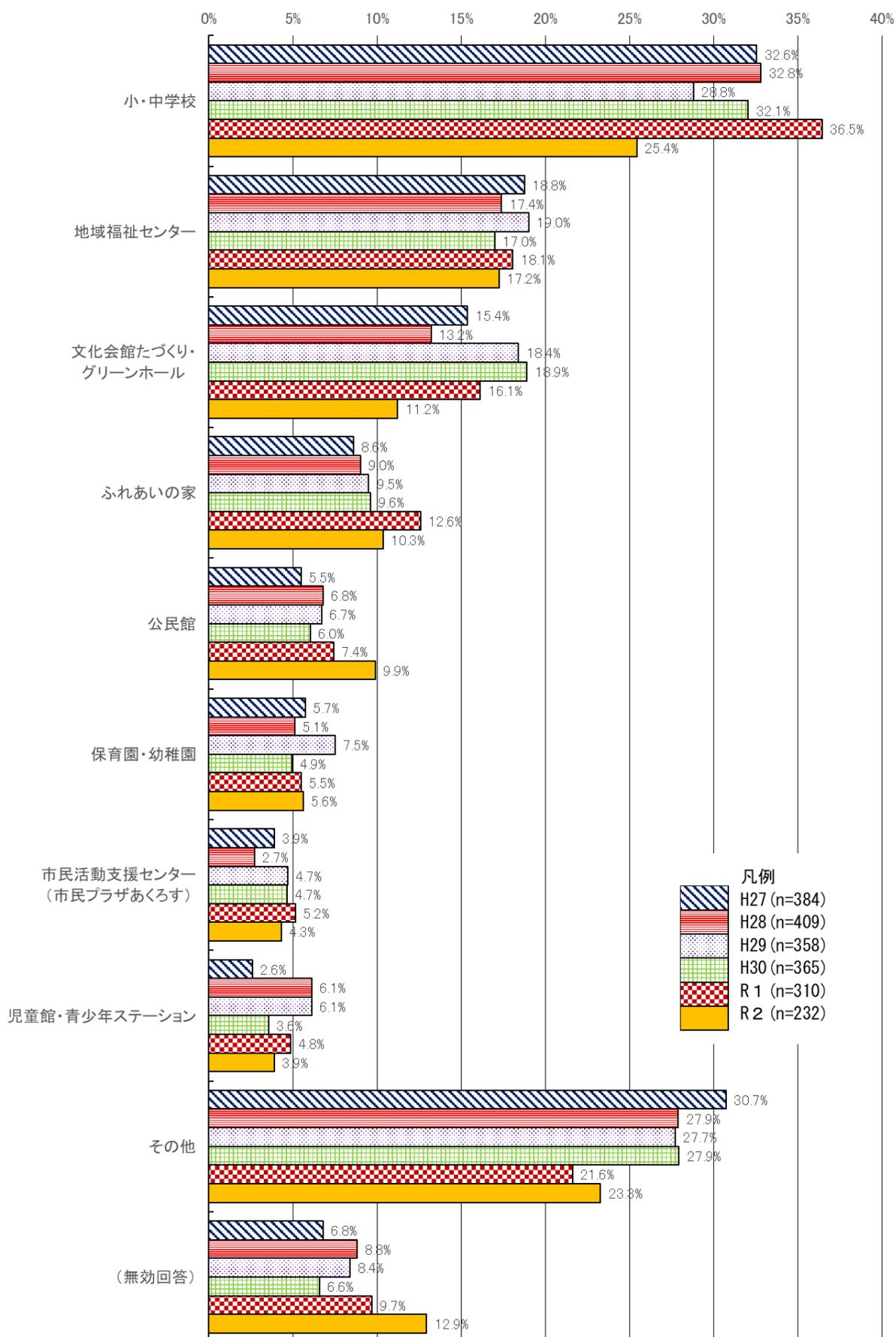
○「小・中学校」が25.4%で最も高く、次いで「地域福祉センター」の17.2%、「文化会館たづくり・グリーンホール」の11.2%の順になっています。



第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

<経年比較>

○いずれの年度も「小・中学校」が最も高くなっていますが、令和2年度は前年度（36.5%）と比べ11.1ポイント減少しています。



<年齢階層別>

○30～64歳では、「小・中学校」が最も高くなっています。また、70歳以上では、「地域福祉センター」が最も高くなっています。

| 選択肢 | 合計 | 16～19歳 | 20～29歳 | 30～39歳 | 40～49歳 | 50～59歳 | 60～64歳 | 65～69歳 | 70～74歳 | 75歳以上 |
|-----------------------|---------------|-------------|-------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 全体 | 232 100.0% | 2 100.0% | 6 100.0% | 30 100.0% | 44 100.0% | 32 100.0% | 14 100.0% | 21 100.0% | 34 100.0% | 48 100.0% |
| 小・中学校 | 59 25.4% | 1 50.0% | 0 0.0% | 10 33.3% | 24 54.5% | 13 40.6% | 2 14.3% | 1 4.8% | 3 8.8% | 5 10.4% |
| 地域福祉センター | 40 17.2% | 0 0.0% | 1 16.7% | 0 0.0% | 5 11.4% | 8 25.0% | 2 14.3% | 2 9.5% | 7 20.6% | 14 29.2% |
| 文化会館たづくり・グリーンホール | 26 11.2% | 0 0.0% | 2 33.3% | 2 6.7% | 3 6.8% | 5 15.6% | 1 7.1% | 0 0.0% | 3 8.8% | 10 20.8% |
| ふれあいの家 | 24 10.3% | 0 0.0% | 0 0.0% | 1 3.3% | 4 9.1% | 4 12.5% | 1 7.1% | 5 23.8% | 1 2.9% | 8 16.7% |
| 公民館 | 23 9.9% | 0 0.0% | 1 16.7% | 3 10.0% | 6 13.6% | 3 9.4% | 2 14.3% | 1 4.8% | 2 5.9% | 5 10.4% |
| 保育園・幼稚園 | 13 5.6% | 0 0.0% | 1 16.7% | 5 16.7% | 5 11.4% | 1 3.1% | 0 0.0% | 1 4.8% | 0 0.0% | 0 0.0% |
| 市民活動支援センター（市民プラザあくろす） | 10 4.3% | 0 0.0% | 0 0.0% | 2 6.7% | 1 2.3% | 1 3.1% | 0 0.0% | 0 0.0% | 4 11.8% | 2 4.2% |
| 児童館・青少年ステーション | 9 3.9% | 0 0.0% | 0 0.0% | 5 16.7% | 3 6.8% | 1 3.1% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% | 0 0.0% |
| その他 | 54 23.3% | 1 50.0% | 1 16.7% | 7 23.3% | 5 11.4% | 7 21.9% | 6 42.9% | 6 28.6% | 11 32.4% | 10 20.8% |
| （無効回答） | 30 12.9% | 0 0.0% | 1 16.7% | 3 10.0% | 2 4.5% | 2 6.3% | 1 7.1% | 5 23.8% | 9 26.5% | 7 14.6% |

（上段：実数（人），下段：構成比）

回答割合が最も高い： 0.0%

回答割合が2番目に高い： 0.0%

<自由記述>主な意見を原文のまま抜粋

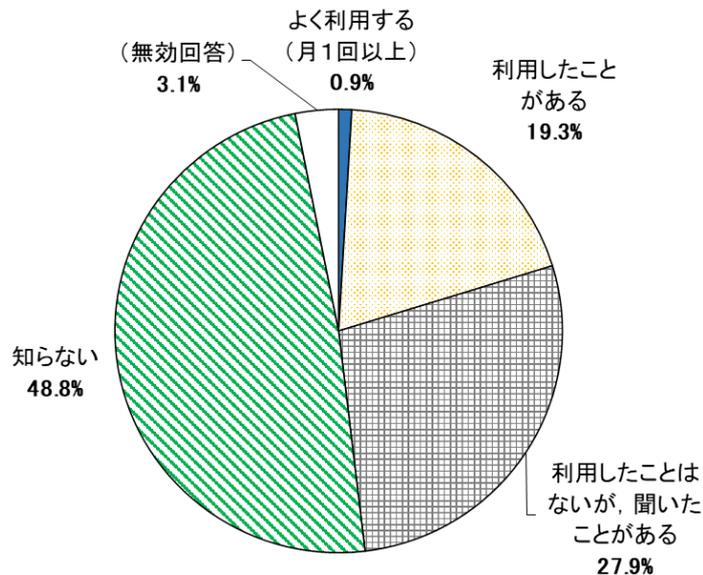
【図表 子育て支援や青少年健全育成に関する施策についてのご意見・ご提案】（22件）

- ・元気に遊んでいる子供達の姿はあまり見かけません。子供よりもペットの数の多さに驚きます。孫と遊んだ10年余、懐しく思い出されます。大切な役割分担であったと回顧する。
- ・個々の具体的な活動詳細が不明。見て直ぐ解かるように考えてもらいたい

問40) あなたは、調布市市民活動支援センター（市民プラザあくろす2階（国領駅北側コクティ内））を利用したことがありますか。

<全体（n=1378）>

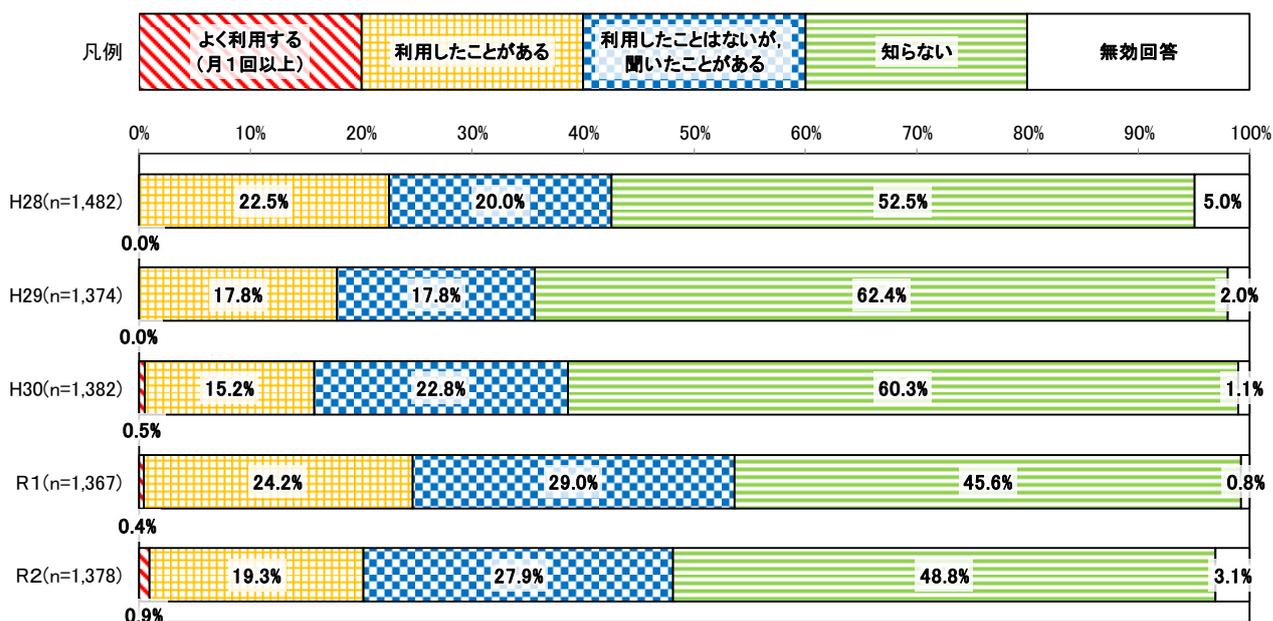
- 「よく利用する（月1回以上）」が0.9%、「利用したことがある」が19.3%で、合計20.2%となっています。
- 一方、「利用したことはないが、聞いたことがある」は27.9%、「知らない」は48.8%となっており、合計で76.7%を占めています。



第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

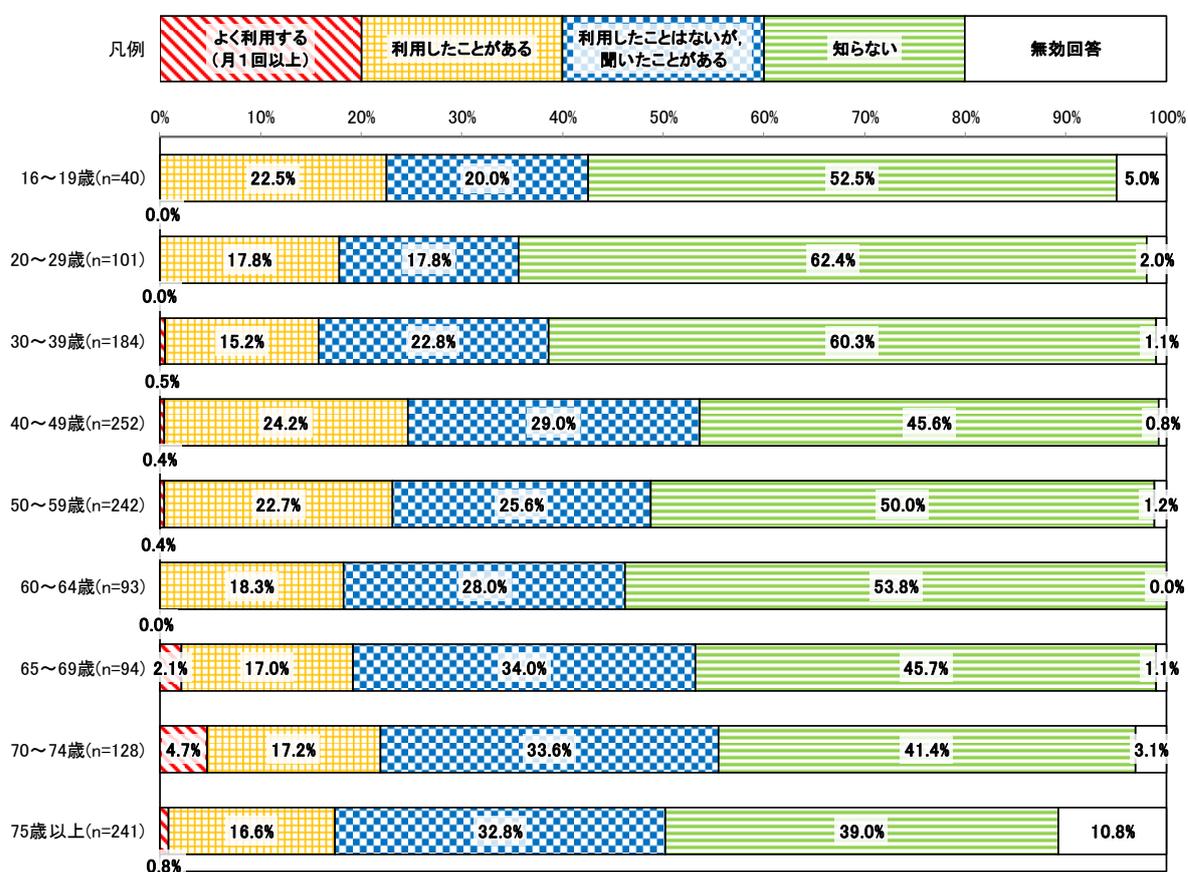
<経年比較>

○令和2年度の「よく利用する（月1回以上）」と「利用したことがある」の合計は、前年度の24.6%と比べ4.4ポイント減少しています。



<年齢層別>

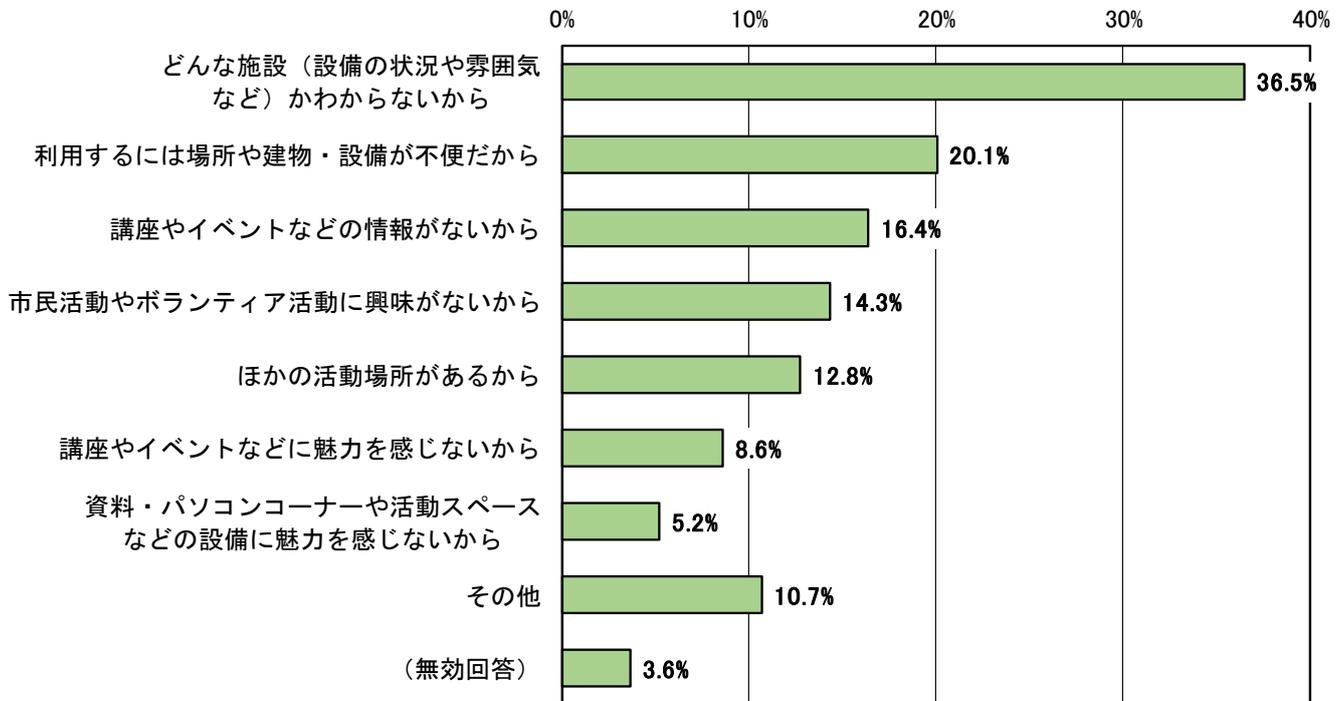
○いずれの年齢層でも、「よく利用する（月1回以上）」と「利用したことがある」の合計は30%を下回っています。



問 40-1) 調布市市民活動支援センターを利用しない理由は何ですか。

<全体 (n=384) >

○「どんな施設（設備の状況や雰囲気など）かわからないから」が36.5%で最も高く、次いで「利用するには場所や建物・設備が不便だから」の20.1%、「講座やイベントなどの情報がないから」の16.4%の順となっています。



<年齢層別>

○75 歳以上では「ほかの活動場所があるから」が最も高くなっています。それ以外の多くの年齢層では「どんな施設（設備の状況や雰囲気など）かわからないから」が最も高くなっています。

| 選択肢 | 合計 | 16~19歳 | 20~29歳 | 30~39歳 | 40~49歳 | 50~59歳 | 60~64歳 | 65~69歳 | 70~74歳 | 75歳以上 |
|-----------------------------------|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 全体 | 384 | 8 | 18 | 42 | 73 | 62 | 26 | 32 | 43 | 79 |
| どんな施設（設備の状況や雰囲気など）かわからないから | 140 | 2 | 11 | 15 | 34 | 26 | 12 | 8 | 15 | 16 |
| 利用するには場所や建物・設備が不便だから | 77 | 1 | 4 | 7 | 15 | 14 | 2 | 13 | 9 | 12 |
| 講座やイベントなどの情報がないから | 63 | 1 | 3 | 4 | 15 | 10 | 6 | 5 | 4 | 15 |
| 市民活動やボランティア活動に興味がないから | 55 | 2 | 4 | 7 | 12 | 9 | 5 | 3 | 3 | 10 |
| ほかの活動場所があるから | 49 | 1 | 1 | 1 | 0 | 3 | 4 | 7 | 10 | 22 |
| 講座やイベントなどに魅力を感じないから | 33 | 1 | 1 | 7 | 7 | 7 | 1 | 1 | 3 | 5 |
| 資料・パソコンコーナーや活動スペースなどの設備に魅力を感じないから | 20 | 1 | 0 | 4 | 4 | 4 | 1 | 2 | 2 | 2 |
| その他 | 41 | 2 | 0 | 7 | 6 | 5 | 0 | 3 | 6 | 12 |
| (無効回答) | 14 | 1 | 1 | 1 | 3 | 1 | 1 | 0 | 2 | 4 |

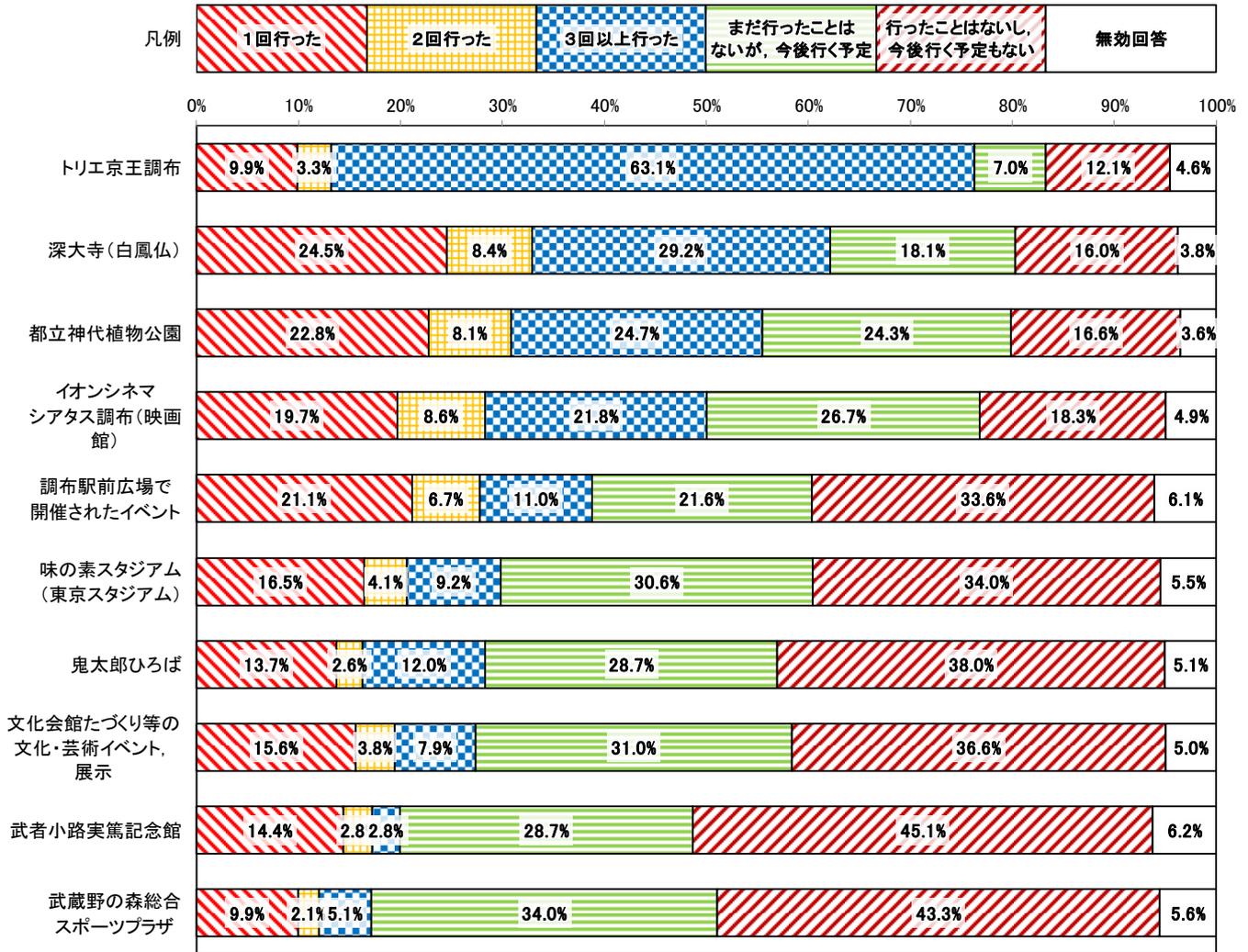
(上段：実数(人)，下段：構成比)
 回答割合が最も高い： 0.0% 回答割合が2番目に高い： 0.0%

【産業・農業について】

問 41) あなたは、おおむねこの1年間に次の場所やイベントに行ったことがありますか。

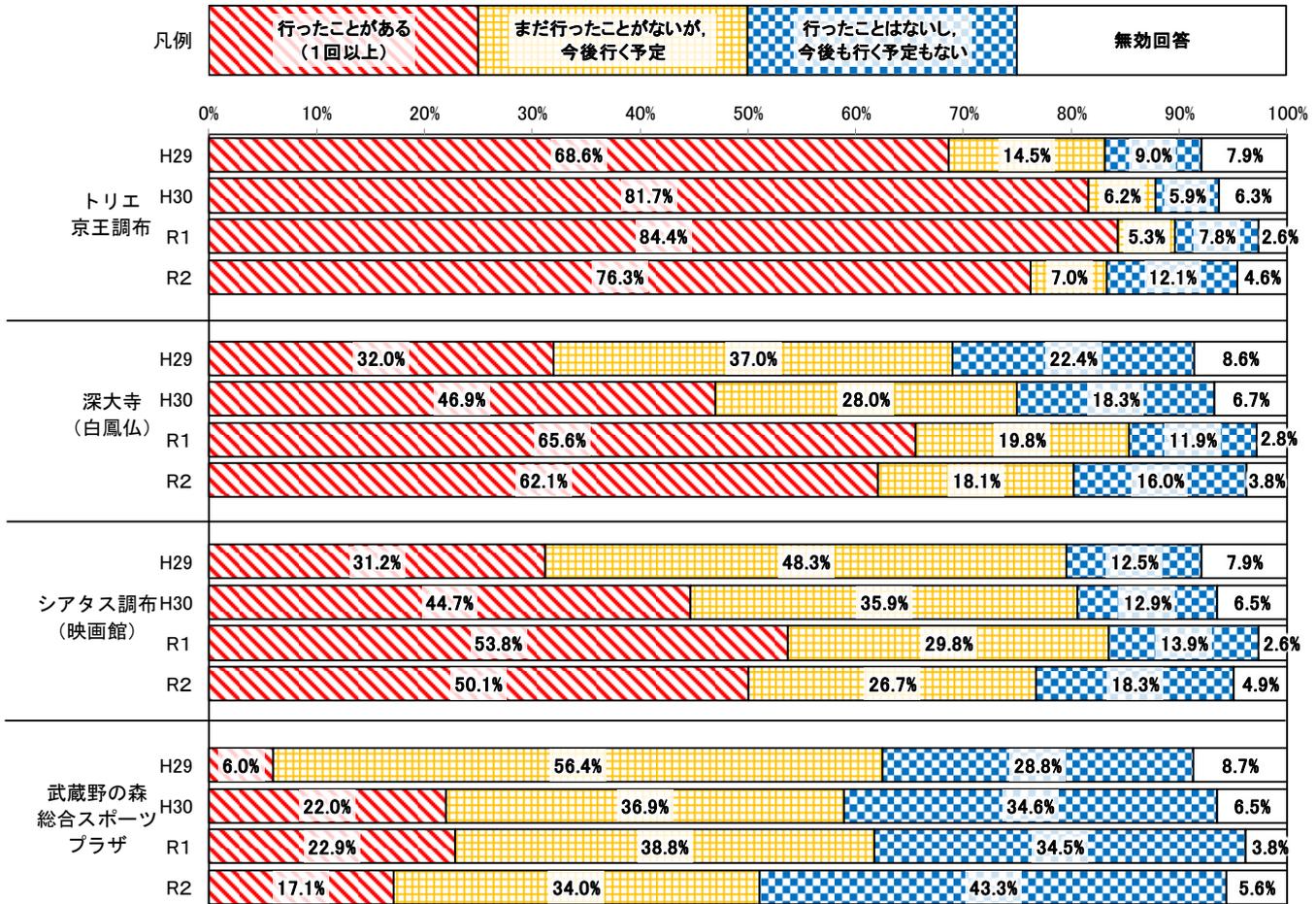
<全体 (n=1378) >

- 「1回行った」、「2回行った」、「3回以上行った」の合計が50%を超えているのは、「トリエ京王調布」、「深大寺(白鳳仏)」、「都立神代植物公園」、「イオンシネマ シアタス調布(映画館)」となっています。
- 「武蔵野の森総合スポーツプラザ」は、「まだ行ったことはないが、今後行く予定だ」と「行ったことはないし、今後行く予定もない」の合計が77.3%に上っています。



<経年比較>

○「トリエ京王調布」,「深大寺(白鳳仏)」,「シアタス調布(映画館)」,「武蔵野の森総合スポーツプラザ」は、「行ったことがある(1回以上)」が平成29年度以降増加していましたが、令和2年度はいずれも前年度に比べ減少しています。

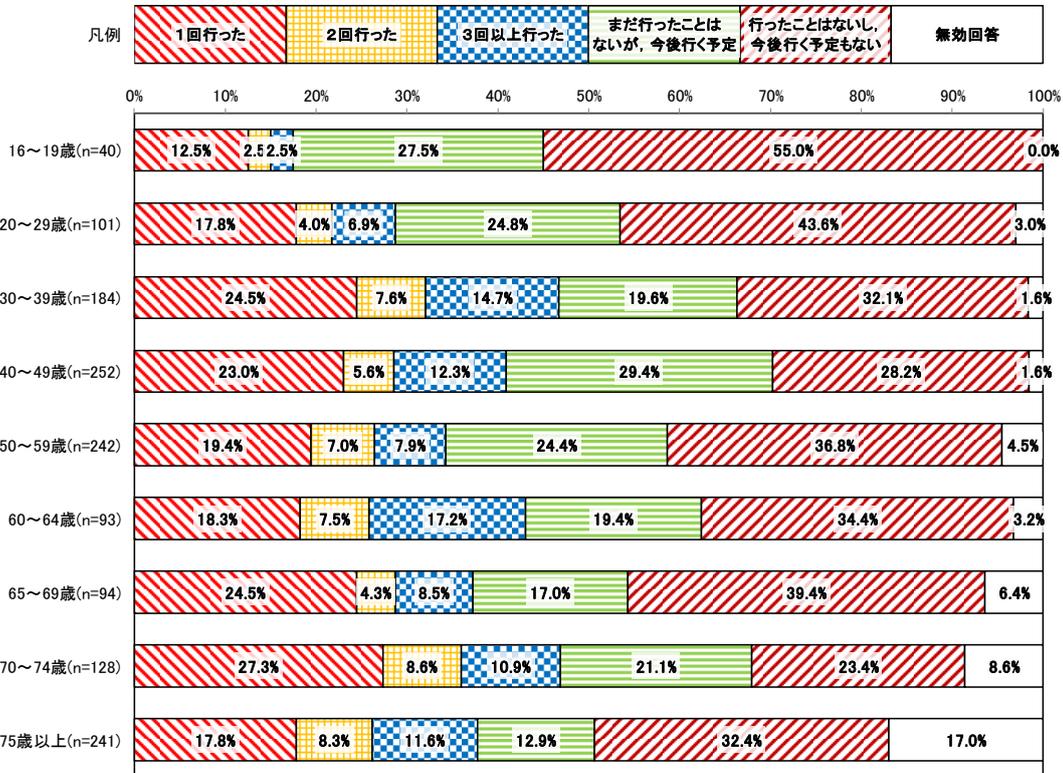


第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

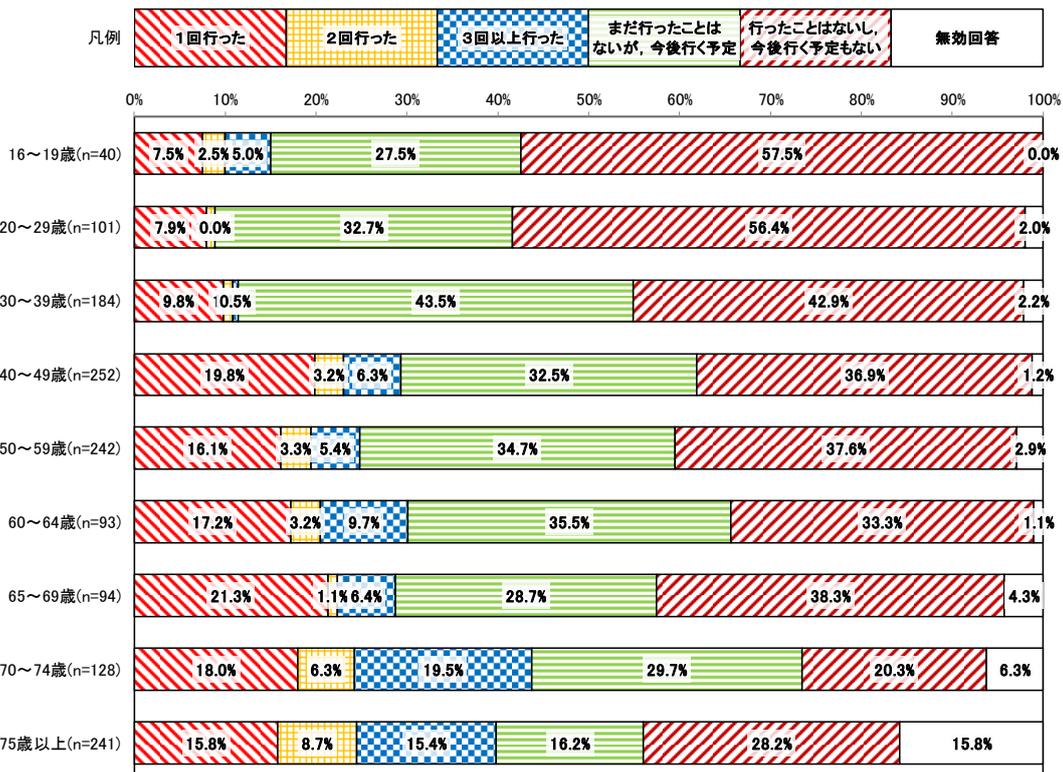
<年齢層別>

○「エトリエ京王調布」や「オイオンシネマシアタス調布（映画館）」は年代が下がるほど、「東京都立神代植物公園」は年代が上がるほど「1回行った」、「2回行った」、「3回以上行った」の合計が高くなる傾向にあります。

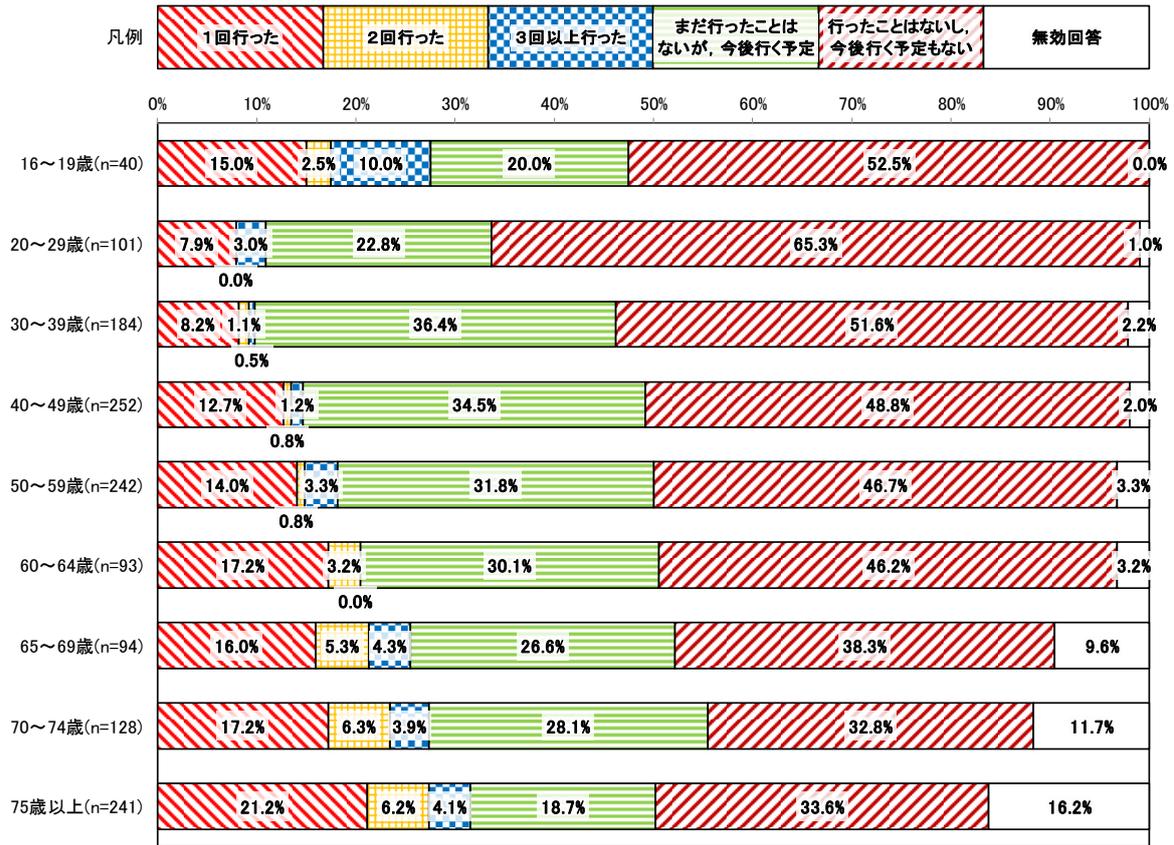
ア 調布駅前広場で開催されたイベント



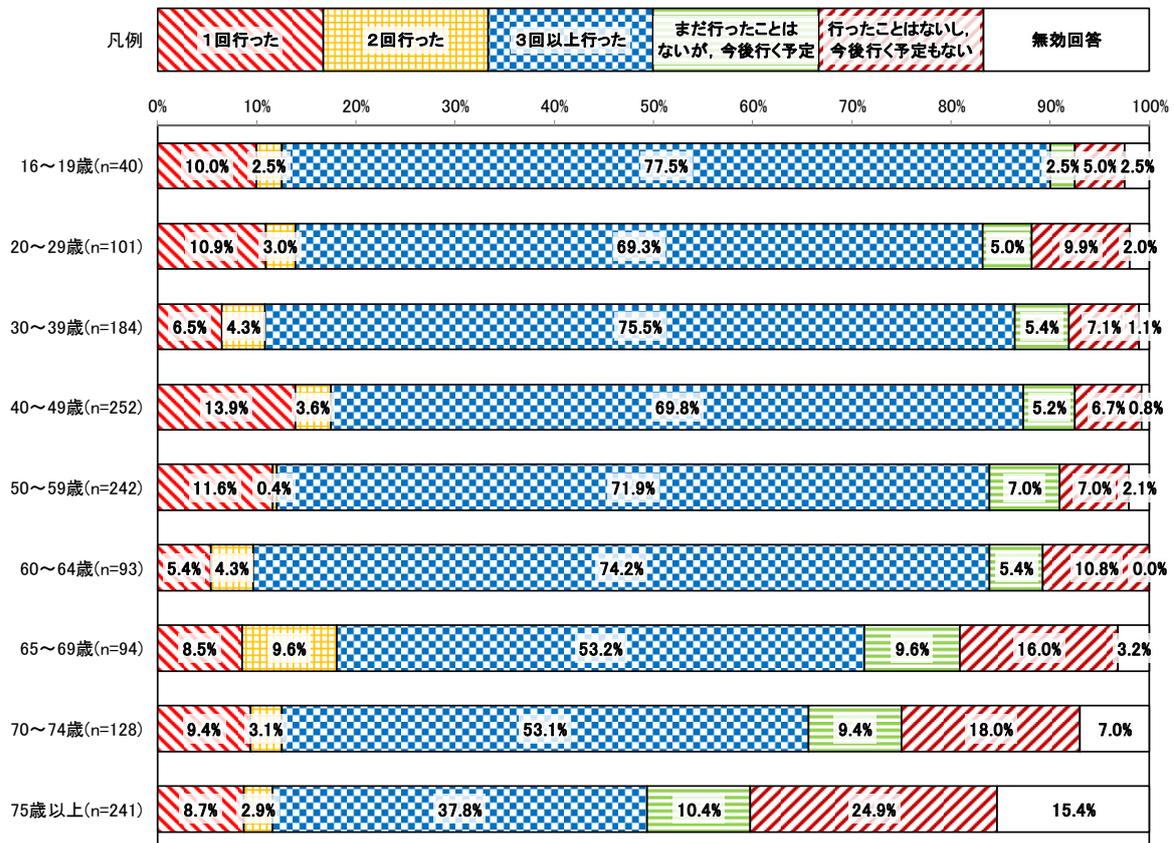
イ 文化会館たづくり等の文化・芸術イベント、展示



ウ 武者小路実篤記念館

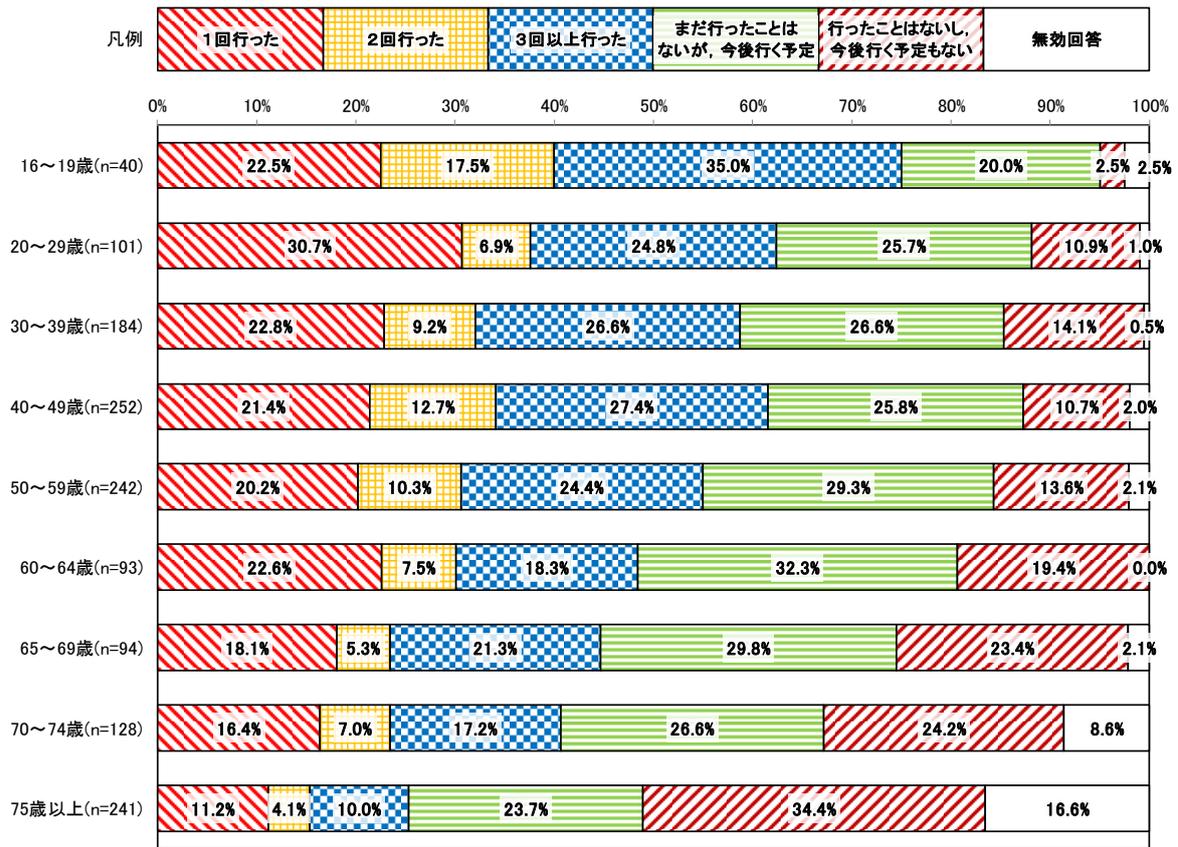


エ トリエ京王調布

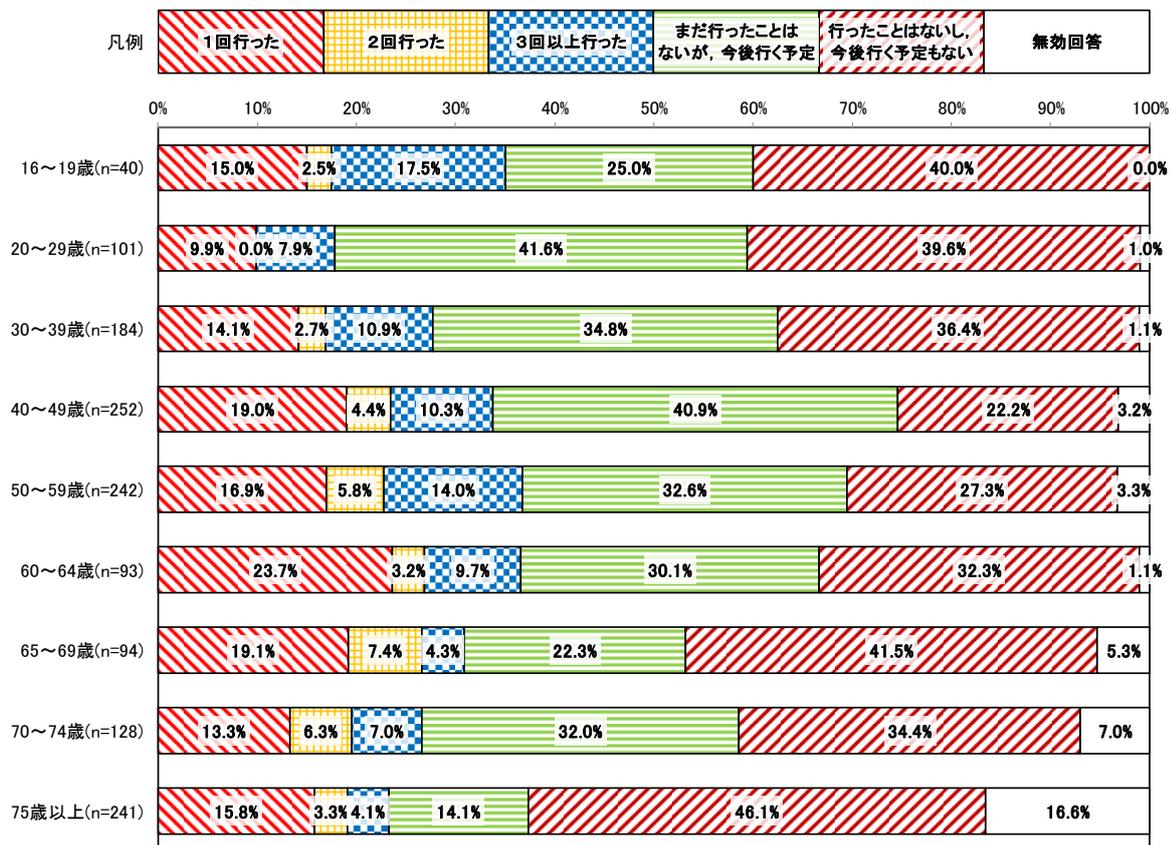


第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

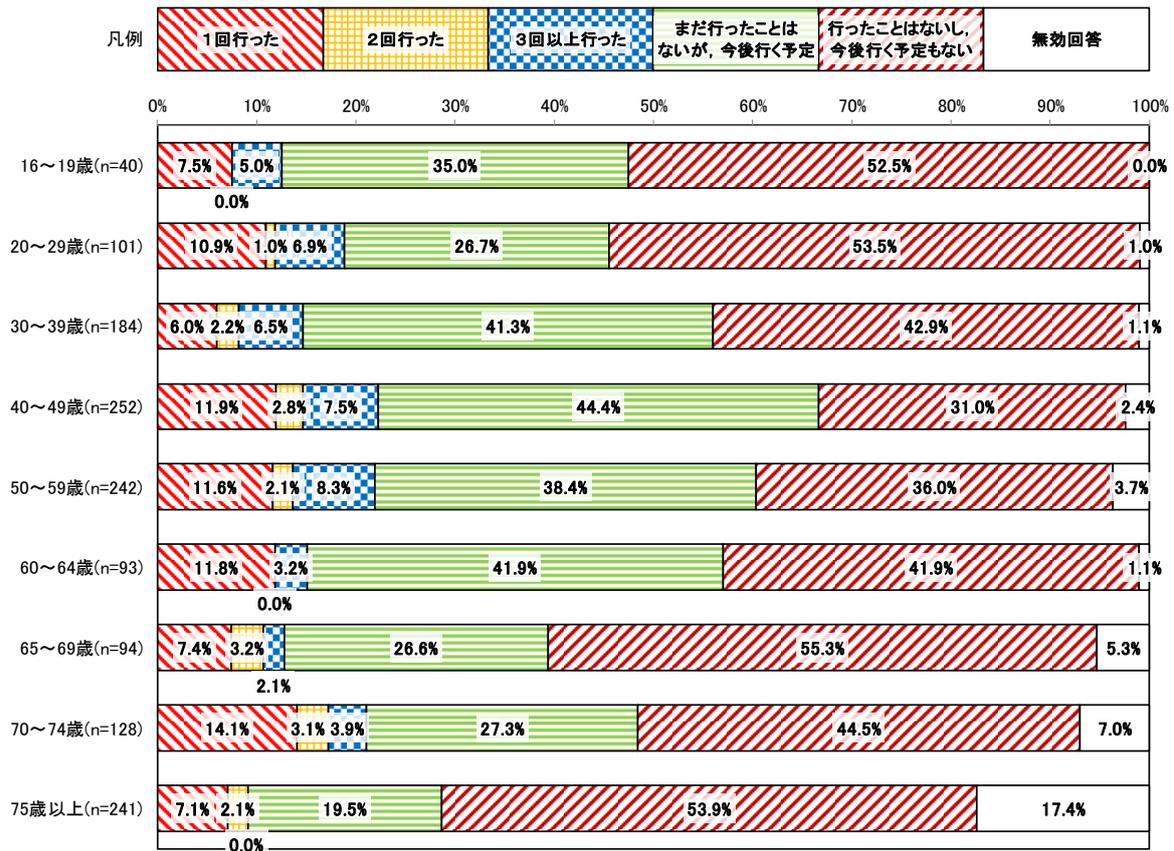
オ イオンシネマ シアタス調布（映画館）



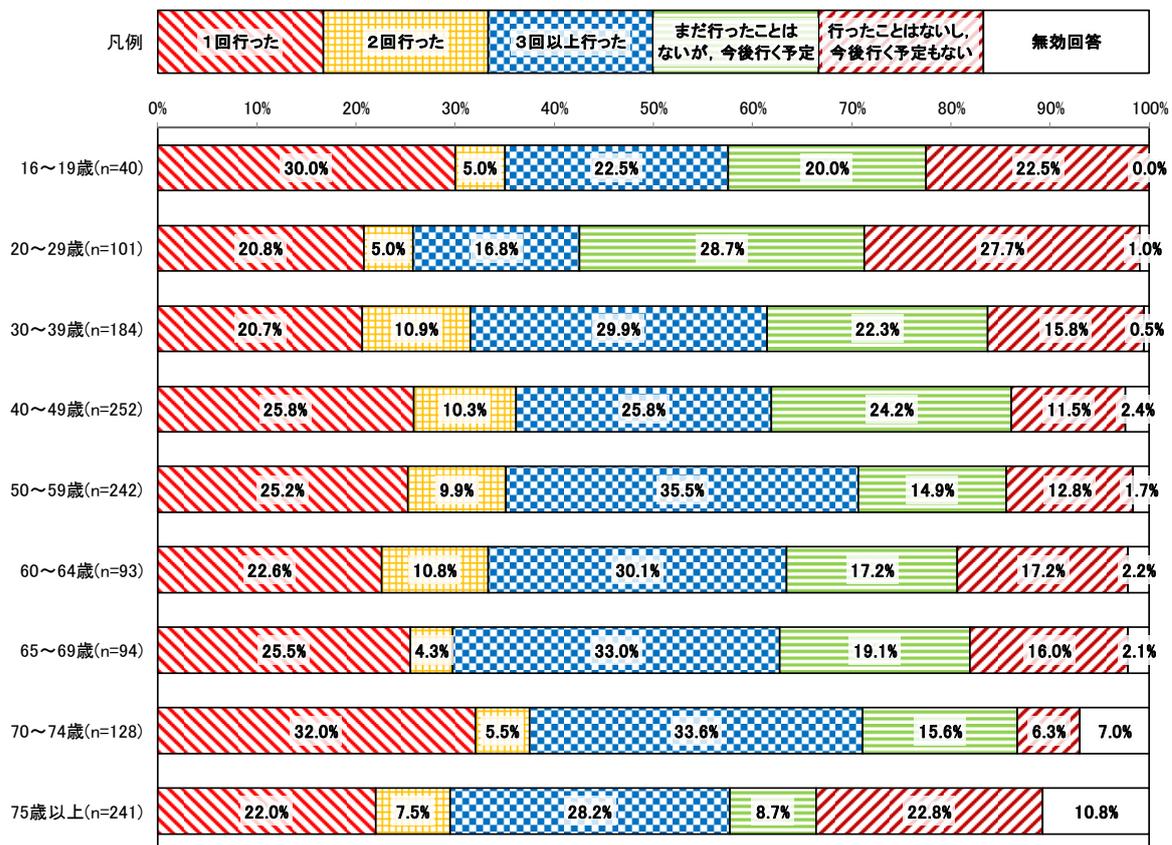
カ 味の素スタジアム（東京スタジアム）



キ 武蔵野の森総合スポーツプラザ

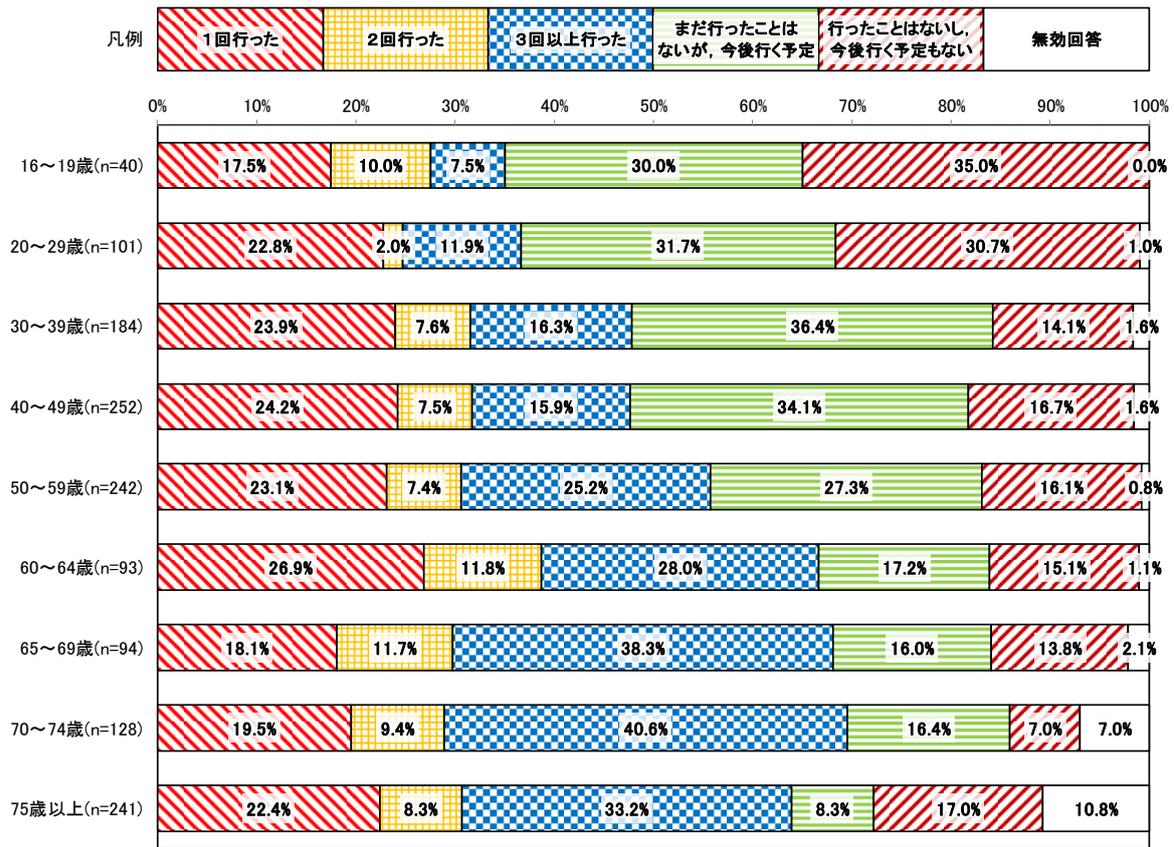


ク 深大寺（白鳳仏）

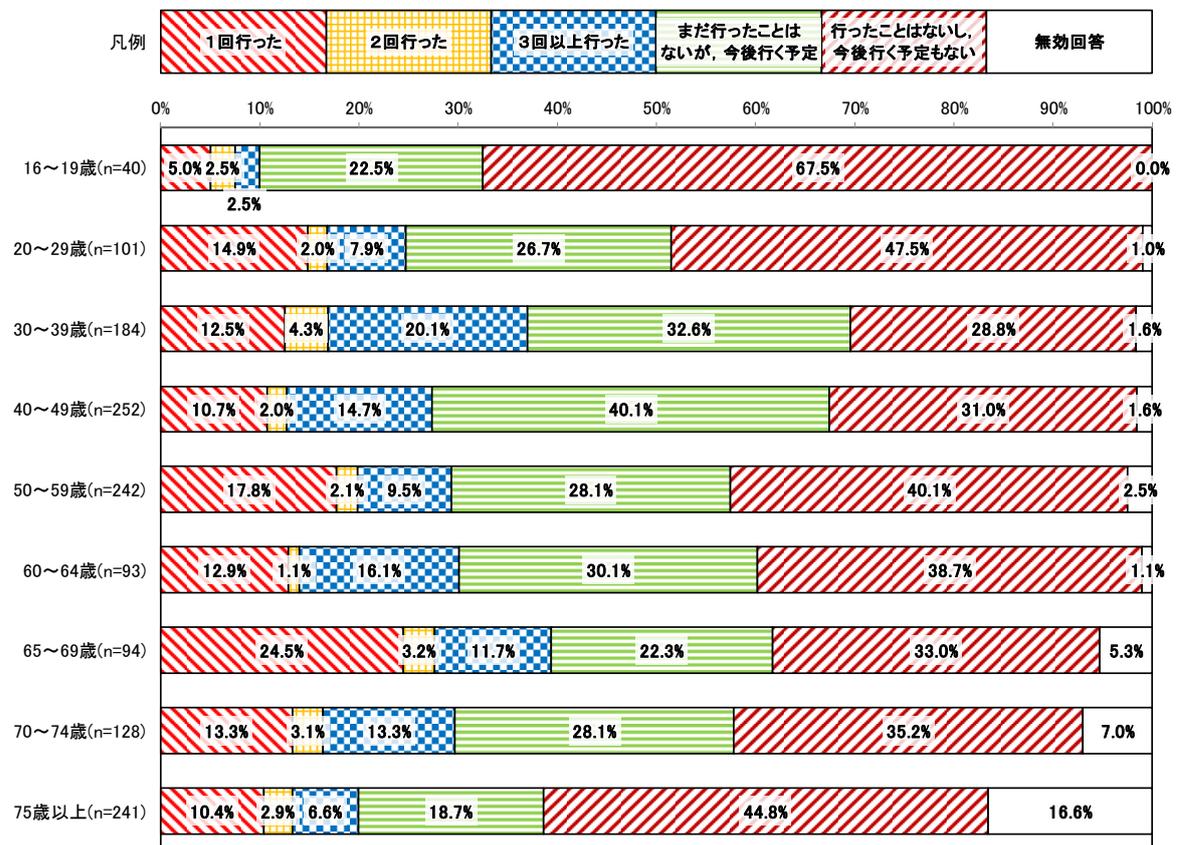


第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

ケ 都立神代植物公園



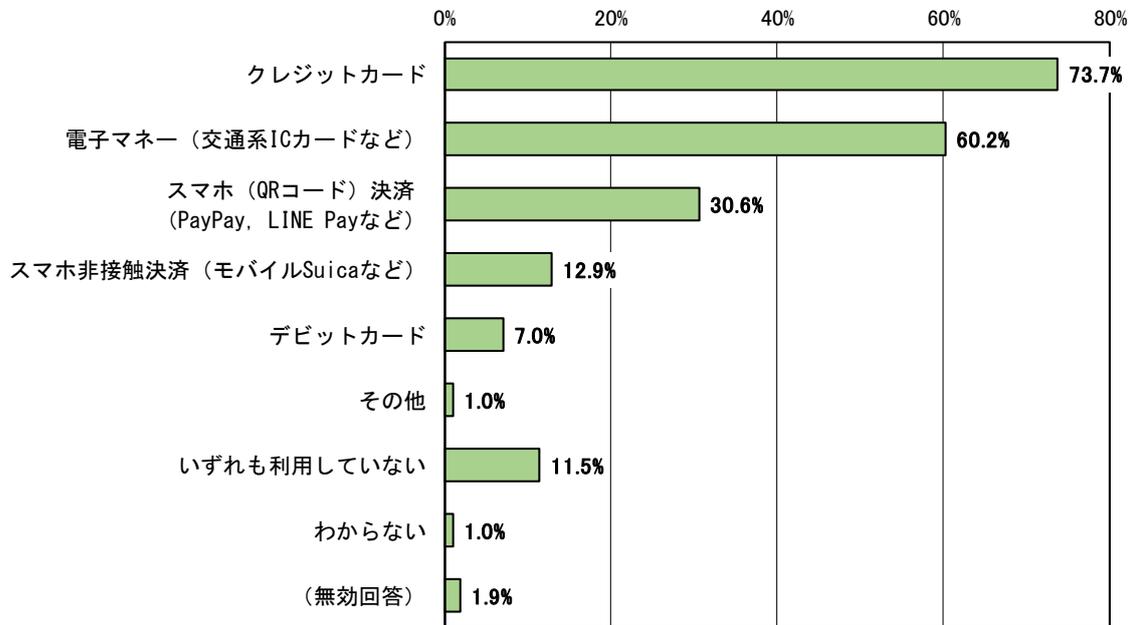
コ 鬼太郎ひろば



問 42) あなたが使っているキャッシュレス決済について、あてはまるものに○をつけてください。

<全体 (n=1378) >

○「クレジットカード」が73.7%で最も高く、次いで「電子マネー（交通系ICカードなど）」の60.2%、「スマホ（QRコード）決済（PayPay, LINE Payなど）」の30.6%の順となっています。



<年齢層別>

○16～29歳を除くいずれの年齢層も「クレジットカード」が最も高く、「電子マネー（交通系ICカードなど）」が2番目に高くなっています。16～29歳では、「電子マネー交通系ICカードなど」が最も高くなっています。

| 選択肢 | 合計 | 16～19歳 | 20～29歳 | 30～39歳 | 40～49歳 | 50～59歳 | 60～64歳 | 65～69歳 | 70～74歳 | 75歳以上 |
|----------------------------------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 全体 | 1,378 | 40 | 101 | 184 | 252 | 242 | 93 | 94 | 128 | 241 |
| クレジットカード | 1,016 | 4 | 77 | 162 | 228 | 207 | 71 | 68 | 85 | 112 |
| 電子マネー（交通系ICカードなど） | 830 | 29 | 84 | 149 | 194 | 168 | 60 | 47 | 42 | 56 |
| スマホ（QRコード）決済（PayPay, LINE Payなど） | 422 | 9 | 47 | 94 | 115 | 99 | 16 | 18 | 17 | 5 |
| スマホ非接触決済（モバイルSuicaなど） | 178 | 2 | 20 | 49 | 49 | 32 | 9 | 2 | 8 | 7 |
| デビットカード | 97 | 5 | 14 | 17 | 29 | 15 | 5 | 4 | 2 | 5 |
| その他 | 14 | 0 | 0 | 1 | 4 | 2 | 1 | 3 | 1 | 2 |
| いずれも利用していない | 158 | 9 | 0 | 1 | 3 | 18 | 10 | 10 | 27 | 80 |
| わからない | 14 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 2 | 8 |
| (無効回答) | 26 | 0 | 2 | 2 | 1 | 2 | 0 | 0 | 2 | 17 |

回答割合が最も高い: 0.0%

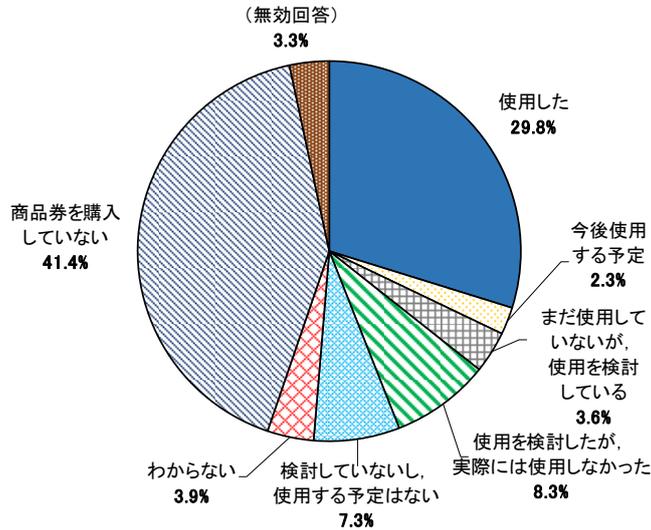
(上段: 実数(人), 下段: 構成比)
回答割合が2番目に高い: 0.0%

問 43) 調布市スーパープレミアム付商品券事業についてうかがいます。あなたは、当商品券を購入し、普段利用しない市内の小規模店舗（スーパーマーケットやコンビニ、チェーン店以外の個人商店など）で使用しましたか（今後の予定も含む）。

<全体 (n=1378) >

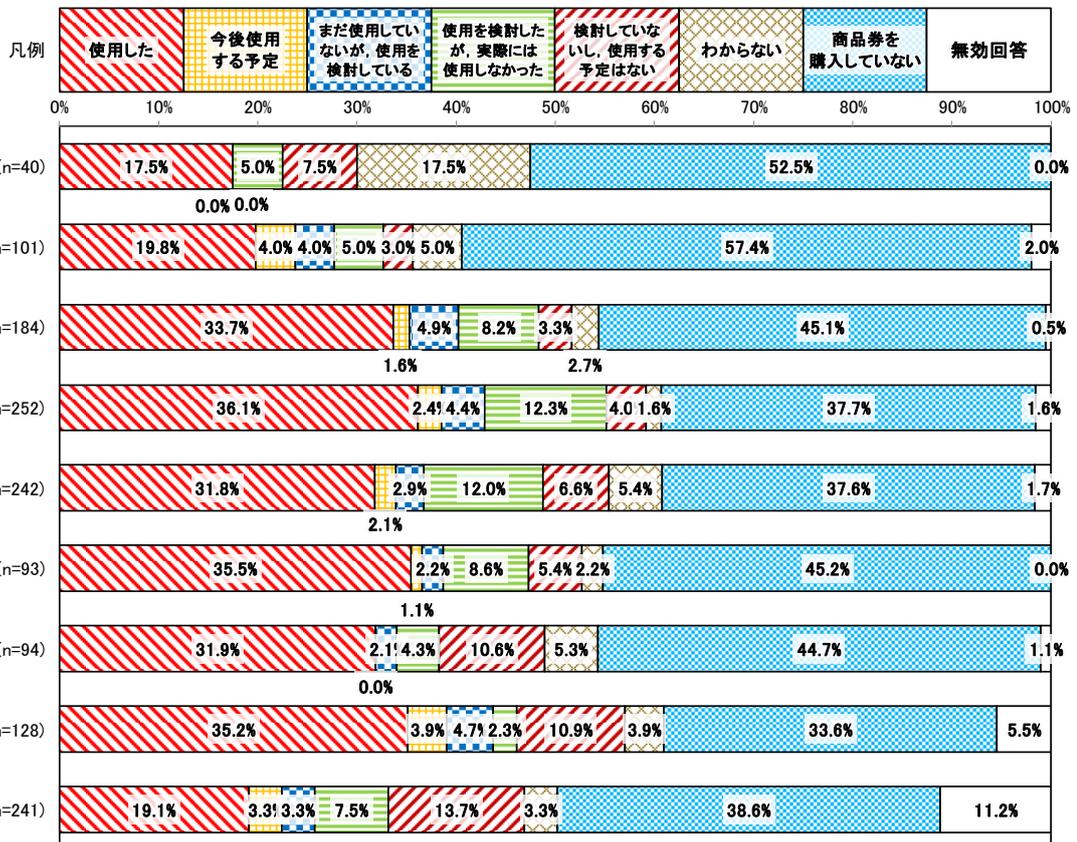
○「使用した」は 29.8%、「今後使用する予定」は 2.3%で合計は 32.1%となっています。

○また、「商品券を購入していない」は 41.4%となっています。



<年齢層別>

○「使用した」と「今後使用する予定」の合計は、70～74 歳が 39.1%で最も高く、次いで 40～49 歳が 38.5%、60～64 歳が 36.6%の順となっています。



<自由記述>主な意見を原文のまま抜粋

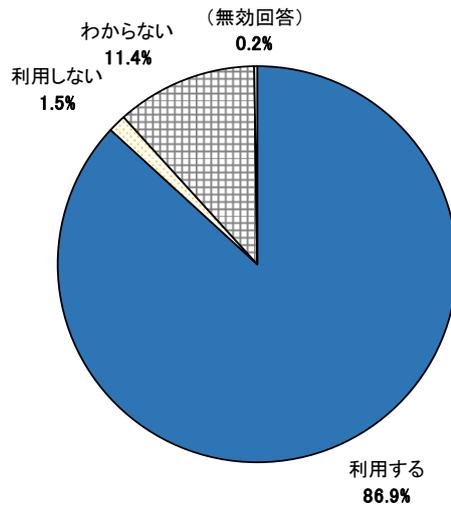
【図表 産業振興に関する施策についてのご意見・ご提案】(38件)

- ・申し込んだが、当たらず購入できなかった。当たりやすくしてほしい。
- ・プレミアム商品券、とてもよかったです。普段利用しているお店にしか行ってませんが、行く回数がふえました。

問 43-1) 今後も同店舗を利用したいですか。

<全体 (n=411) >

○「利用する」は86.9%、「利用しない」は1.5%となっています。



<年齢層別>

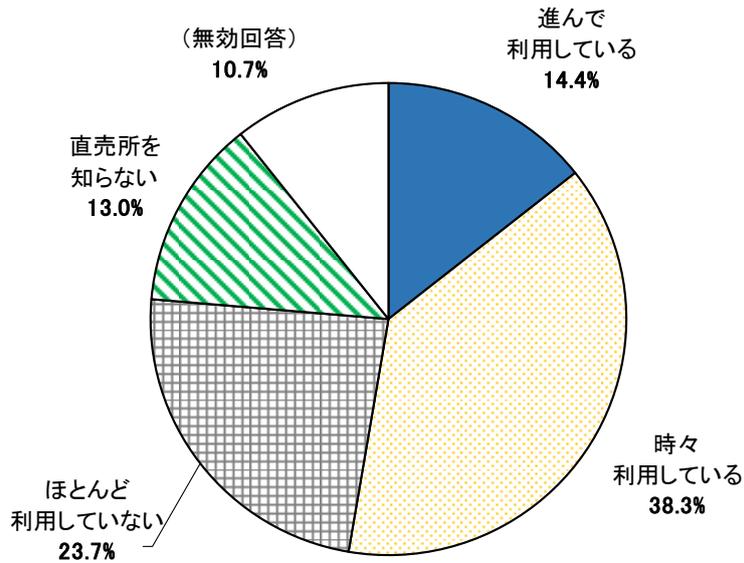
○16~19歳を除くいずれの年齢層でも「利用する」は80%を超えています。



問 44) あなたは、市内農家の農産物直売所（市内スーパーの直売コーナー、農協直売コーナーを含む）を利用していますか。

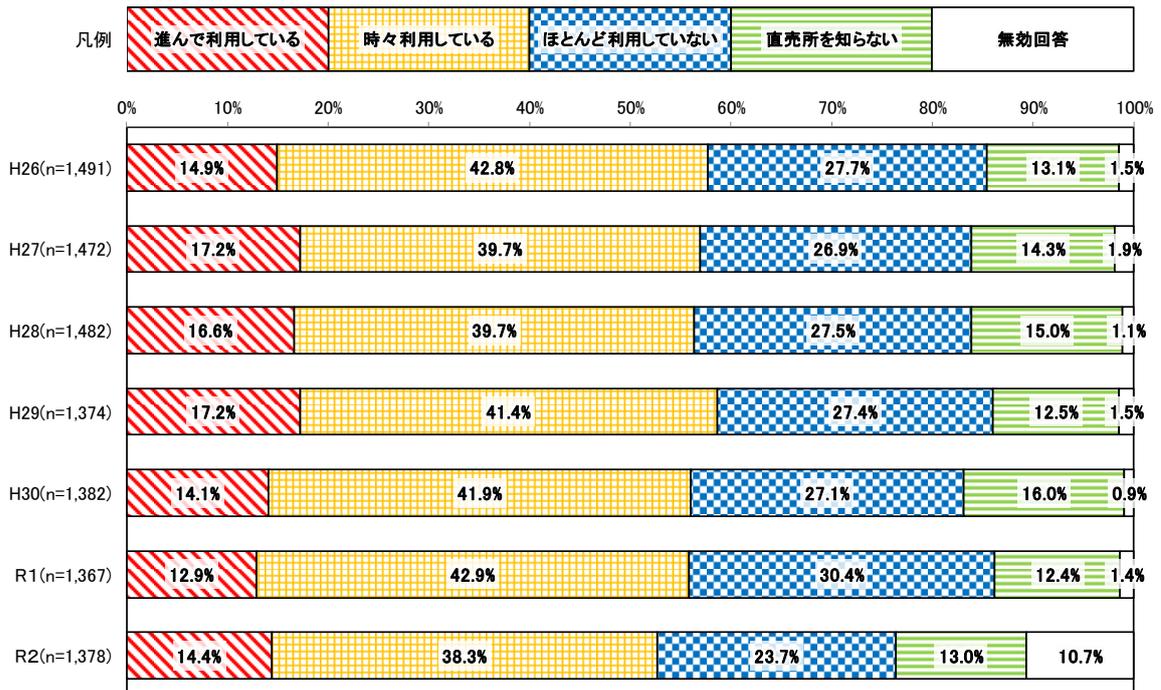
<全体 (n=1378) >

- 「進んで利用している」は 14.4%、「時々利用している」は 38.3%となっており、合計で 52.7%を占めています。
- 「ほとんど利用していない」が 23.7%、「直売所を知らない」が 13.0%で、合計すると 36.7%となっています。



<経年比較>

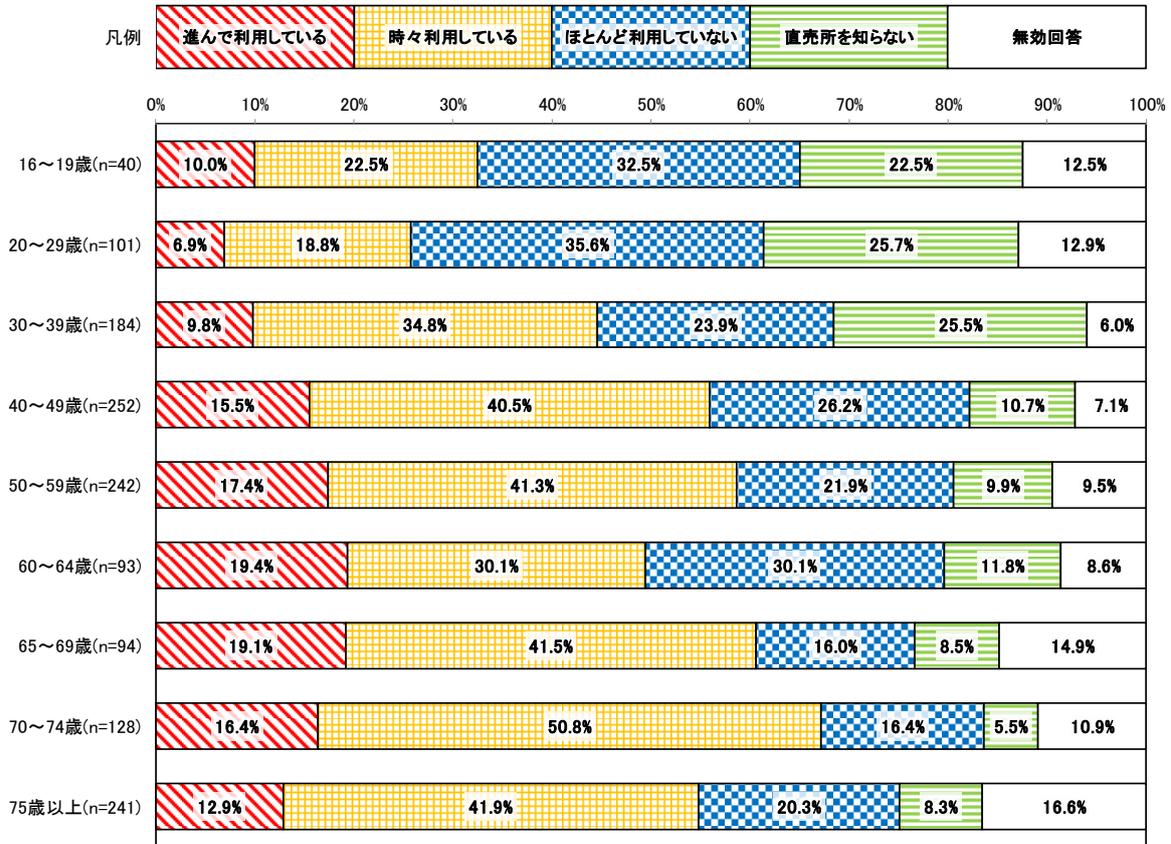
- 「進んで利用している」と「時々利用している」の合計は、平成 26 年度以降減少傾向で推移しており、令和 2 年度では 52.7%で、令和元年度の 55.8%に比べて 3.1 ポイント減少しています。



<年齢層別>

○おおむね年齢を重ねるごとに「進んで利用している」と「時々利用している」の合計が高くなっています。

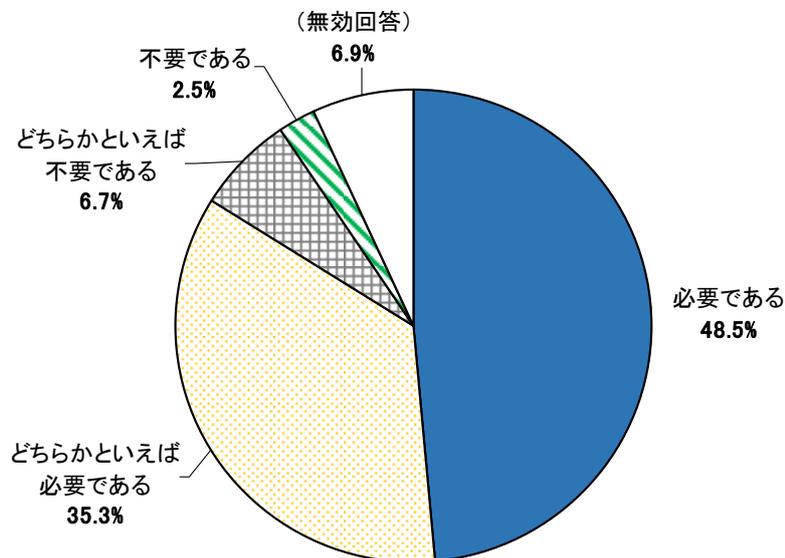
○20～29歳では、「ほとんど利用していない」と「直売所を知らない」の合計が61.3%となっています。



問 45) あなたは、市内に農地が必要だと思いますか。

<全体 (n=1378) >

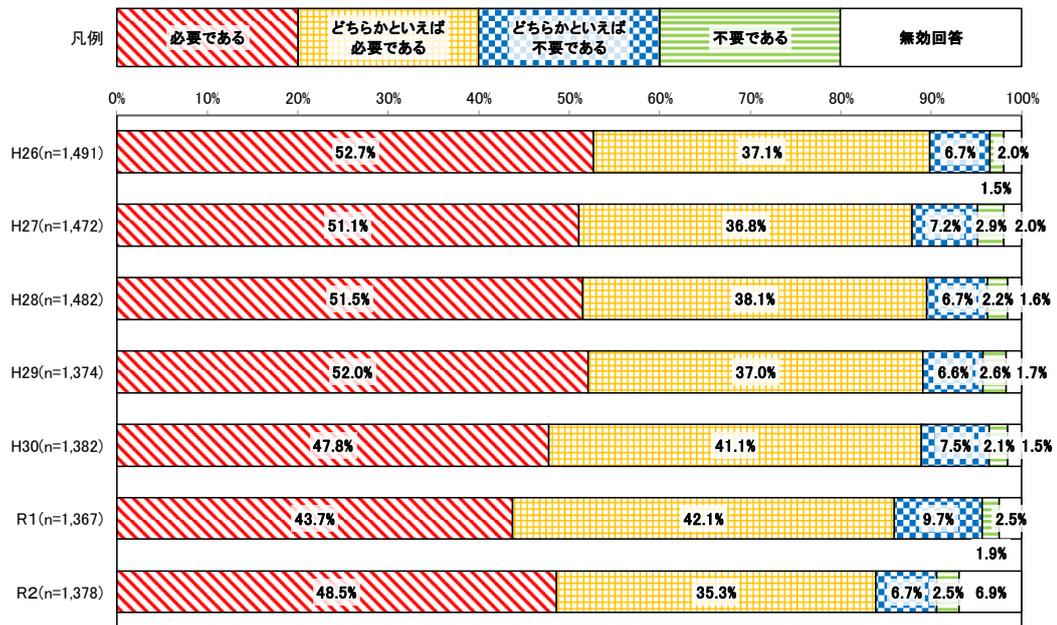
○市内に農地が「必要である」は48.5%,「どちらかといえば必要である」は35.3%であり、合計で83.8%を占めています。



第3章 調査結果<日ごろの意識や行動>

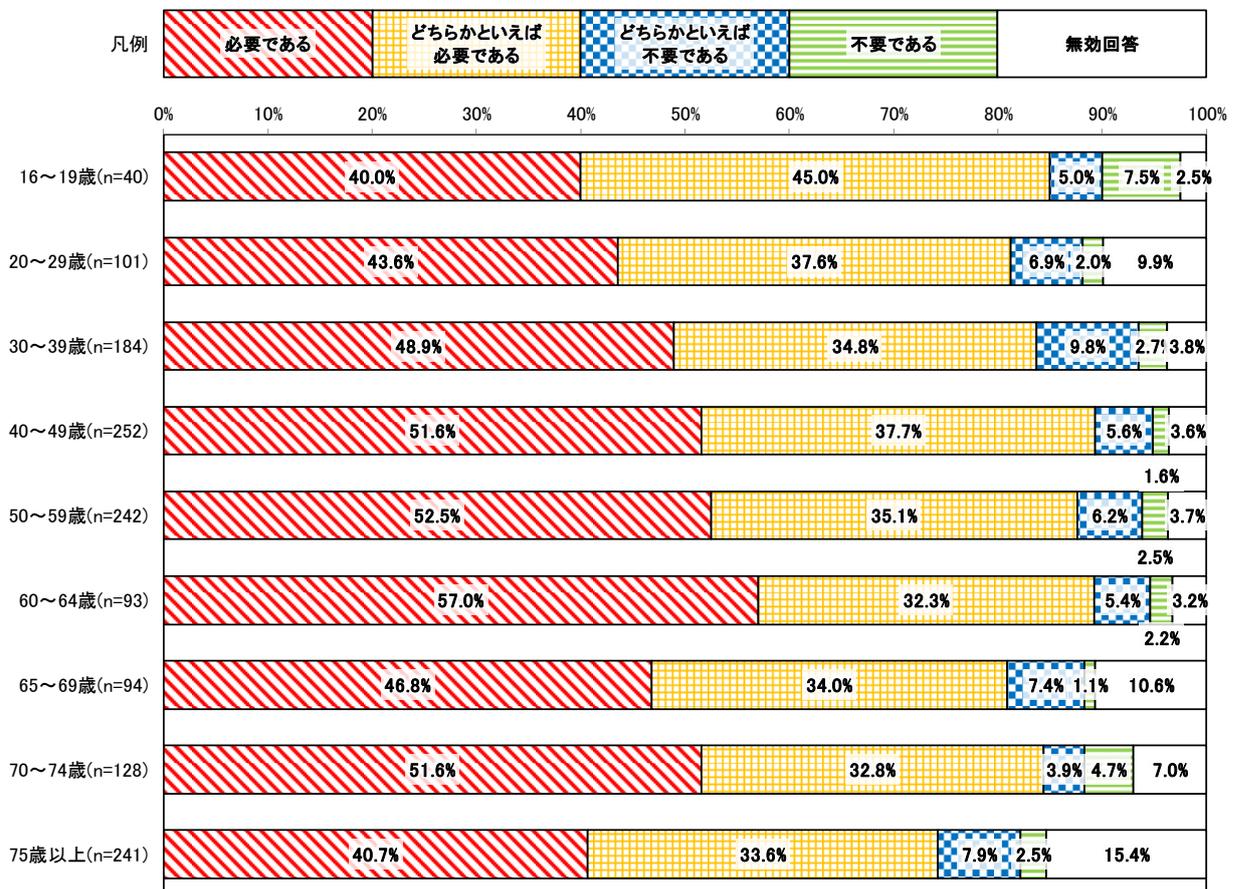
<経年比較>

○平成26年度以降、「必要である」と「どちらかといえば必要である」の合計は、一貫して80%台で推移しています。



<年齢層別>

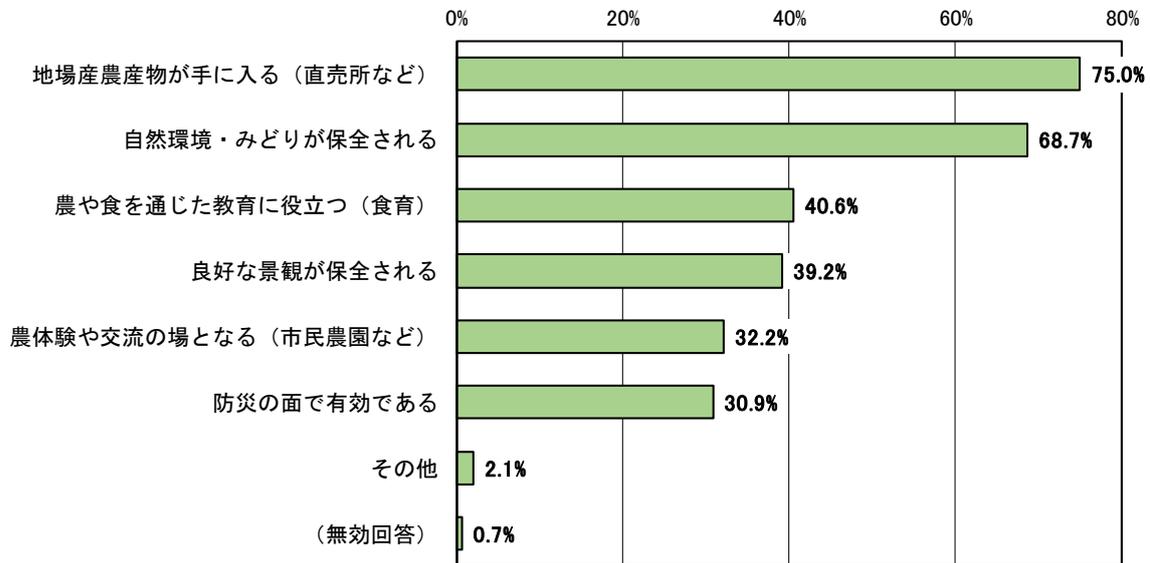
○75歳以上を除いていずれの年齢層でも「必要である」と「どちらかといえば必要である」の合計は、80%台となっています。



問 45-1) 市内に農地が必要だと思う理由は何ですか。

<全体 (n=1378) >

○「地場産農産物が手に入る（直売所など）」が75.0%で最も高く、次いで「自然環境・みどりが保全される」の68.7%の順となっています。



<年齢層別>

○いずれの年齢層も、「地場産農産物が手に入る（直売所など）」または「自然環境・みどりが保全される」が高くなっています。

| 選択肢 | 合計 | 16～19歳 | 20～29歳 | 30～39歳 | 40～49歳 | 50～59歳 | 60～64歳 | 65～69歳 | 70～74歳 | 75歳以上 |
|---------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 全体 | 1,156 | 34 | 82 | 154 | 225 | 212 | 83 | 76 | 108 | 179 |
| | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
| 地場産農産物が手に入る（直売所など） | 867 | 16 | 46 | 106 | 171 | 176 | 64 | 57 | 88 | 141 |
| | 75.0% | 47.1% | 56.1% | 68.8% | 76.0% | 83.0% | 77.1% | 75.0% | 81.5% | 78.8% |
| 自然環境・みどりが保全される | 794 | 23 | 47 | 108 | 154 | 153 | 56 | 54 | 77 | 121 |
| | 68.7% | 67.6% | 57.3% | 70.1% | 68.4% | 72.2% | 67.5% | 71.1% | 71.3% | 67.6% |
| 農や食を通じた教育に役立つ（食育） | 469 | 11 | 31 | 88 | 117 | 86 | 24 | 23 | 34 | 54 |
| | 40.6% | 32.4% | 37.8% | 57.1% | 52.0% | 40.6% | 28.9% | 30.3% | 31.5% | 30.2% |
| 良好な景観が保全される | 453 | 15 | 34 | 62 | 81 | 89 | 33 | 37 | 35 | 67 |
| | 39.2% | 44.1% | 41.5% | 40.3% | 36.0% | 42.0% | 39.8% | 48.7% | 32.4% | 37.4% |
| 農体験や交流の場となる（市民農園など） | 372 | 11 | 27 | 60 | 96 | 79 | 23 | 18 | 23 | 35 |
| | 32.2% | 32.4% | 32.9% | 39.0% | 42.7% | 37.3% | 27.7% | 23.7% | 21.3% | 19.6% |
| 防災の面で有効である | 357 | 10 | 12 | 36 | 53 | 64 | 36 | 28 | 40 | 78 |
| | 30.9% | 29.4% | 14.6% | 23.4% | 23.6% | 30.2% | 43.4% | 36.8% | 37.0% | 43.6% |
| その他 | 24 | 0 | 5 | 1 | 6 | 5 | 1 | 2 | 1 | 3 |
| | 2.1% | 0.0% | 6.1% | 0.6% | 2.7% | 2.4% | 1.2% | 2.6% | 0.9% | 1.7% |
| （無効回答） | 8 | 0 | 0 | 0 | 2 | 3 | 1 | 1 | 0 | 0 |
| | 0.7% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.9% | 1.4% | 1.2% | 1.3% | 0.0% | 0.0% |

（上段：実数（人），下段：構成比）

回答割合が最も高い： 0.0%

回答割合が2番目に高い： 0.0%

<自由記述> 主な意見を原文のまま抜粋

【図表 農業に関する施策についてのご意見・ご提案】(22件)

- ・ 相続問題，後継者問題に具体的，効果的な施策を行ってほしい。これ以上の農地減少を止めてほしい。
- ・ 直売所の野菜はスーパーで購入するものより美味しいのでずっと続いてほしい。
- ・ 市民農園を増やして。